

2014(平成26)年度

事業報告書

学校法人 麻布獣医学園



2014 (平成26) 年度 事業報告書

目次

I 法人の概要	
1. 建学の精神	1
2. 設置する学校	1
3. 沿革	2
4. 将来に向けてのビジョン[学校法人麻布獣医学園中期目標・中期計画]	4
5. 機構図	6
6. 役員・評議員	7
(1) 役員	7
(2) 評議員	8
7. 学生・生徒の状況	9
(1) 入学定員, 収容定員, 学生・生徒数, 収容定員充足率	9
(2) 専任教員一人当たりの学生数	10
(3) 留学生数	10
(4) 社会人学生数	10
(5) 非正規課程履修者	10
8. 教職員の状況	11
(1) 大学教員(常勤)	11
(2) 高等学校教員(常勤)	11
(3) 職員(常勤)	11
(4) 非常勤教職員	12
(5) 年齢別大学教員数(常勤)	12
(6) 専任教員と非常勤教員の比率	12
II 事業の概要	
1. 平成26年度事業計画の実施状況	13
2. 教育研究の概要	20
(1) 平成26年度の教育実施体制	20
(2) 教育に関する情報	21
① 入学者の選抜	21
② 教育課程	28
③ 学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっての基準	32
④ 平成26年度卒業生・修了者数及び進路状況	37
⑤ 国家試験合格率の推移	39
⑥ 退学者数・中退率・留年者数	40
⑦ 学習環境	41
⑧ 学生納付金	43
⑨ 学生支援と奨学金	45
⑩ 学生表彰制度	47
⑪ 学生の課外活動の状況	47
⑫ 国際交流	48
⑬ 大学間等の連携	49
⑭ 高大連携協定校	49

(3) 研究に関する情報	50
①競争的資金等受入状況	50
②学内競争的資金の状況	51
③知的財産データ	51
④受託研究等の受入状況	52
(4) 麻布大学附属高等学校に関する情報	53
3. 管理運営の概要	57
(1) 学園運営に係る会議等	57
(2) 会議等の開催状況	57
(3) 平成26年度 行事報告	66

III 財務の概要

1. 財務状況の推移	74
2. 財務比率の推移	76
3. 寄附金収入の推移	78
4. 経常費補助金の推移	78
5. 動物病院収入の推移	79
6. 資金残高	79

I 法人の概要

法人名	学校法人 麻布獣医学園
理事長名	柏崎 直巳
所在地	神奈川県相模原市中央区淵野辺 1-1 7-7 1
目的	教育基本法及び学校教育法に従い、大学教育及び高等学校教育を行う。

1. 建学の精神

学理の討究と誠実なる実践

本学は、創設者與倉東隆先生の建学の精神である、学理を討究し実践を重んじる誠実なる校風を受け継ぎ、人と動物との共存及び人と自然環境との調和の途を探求することを目的として、獣医学、動物応用科学及び生命環境科学に関する専門の知識を教授研究し、その応用力の展開をはかるとともに、進んで学術の進歩と国民生活の向上に寄与し、平和社会の建設に貢献することとしています。

2. 設置する学校

◆ 麻布大学

設置認可年月	昭和25(1950)年 2月
学 長 名	浅利 昌男
所 在 地	神奈川県相模原市中央区淵野辺 1-1 7-7 1
目 的	[大 学]

◆ 教育研究の理念 ◆
地球共生系
～人と動物と環境の共生をめざして～

獣医学、畜産学、動物応用科学、生命科学及び環境科学に関する専門の学術を教授研究し、その応用能力の展開をはかるとともに、人格の完成につとめ、進んで学術の進歩と人類の生活向上に寄与し、平和社会の建設に貢献する。

[大学院]

学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与する。

◆ 麻布大学附属高等学校

設置認可年月	昭和36(1961)年 5月□
校 長 名	高木 敬彦
所 在 地	神奈川県相模原市中央区淵野辺 1-1 7-5 0
目 的	教育基本法及び学校教育法に基づき、中学校における教育の基礎の上に、心身の発達及び進路に応じて高度な普通教育を施す。

3. 沿革

明治23 (1890) 年	9 月	東京獣医講習所開所 (現 東京都港区南麻布)
明治27 (1894) 年	4 月	麻布獣医学校開設
明治45 (1912) 年	3 月	麻布獣医畜産学校と改称
大正 9 (1920) 年	9 月	財団法人麻布獣医畜産学校設立
昭和 9 (1934) 年	4 月	実業専門学校令による麻布獣医専門学校の設置
		財団法人麻布獣医専門学校と校名変更
昭和19 (1944) 年	12 月	麻布獣医畜産専門学校と改称
昭和22 (1947) 年	6 月	現在地 (神奈川県相模原市) に移転
昭和25 (1950) 年	2 月	新学制による麻布獣医科大学の設置認可 財団法人麻布獣医学園
	4 月	麻布獣医科大学として開学
昭和26 (1951) 年	3 月	財団法人から学校法人へ改組, 学校法人麻布獣医学園となる
昭和27 (1952) 年	3 月	麻布獣医畜産専門学校廃止
昭和32 (1957) 年	4 月	麻布獣医科大学獣医学部獣医学専攻科開設
昭和35 (1960) 年	4 月	麻布獣医科大学大学院修士課程開設
昭和36 (1961) 年	5 月	麻布獣医学園渕野辺高等学校開校
昭和37 (1962) 年	4 月	麻布獣医科大学大学院博士課程開設
昭和40 (1965) 年	4 月	麻布公衆衛生短期大学開学
昭和51 (1976) 年	4 月	麻布獣医科大学獣医学部家畜環境学科開設
昭和53 (1978) 年	4 月	麻布獣医科大学環境保健学部 (環境保健学科及び衛生技術学科) 開設
	11 月	麻布獣医科大学獣医学部獣医学専攻科廃止
昭和54 (1979) 年	6 月	麻布公衆衛生短期大学廃止
昭和55 (1980) 年	4 月	麻布獣医科大学を麻布大学に名称変更
		獣医学部家畜環境学科を獣医学部環境畜産学科に名称変更
昭和59 (1984) 年	4 月	獣医学教育6年制発足 (学校教育法の一部改正による)
昭和60 (1985) 年	10 月	渕野辺高等学校を麻布大学附属渕野辺高等学校に名称変更認可
昭和63 (1988) 年	4 月	麻布大学附置生物科学総合研究所設置
平成元 (1989) 年	12 月	獣医学部環境畜産学科, 環境保健学部 臨時定員増認可
平成 2 (1990) 年	4 月	麻布大学大学院獣医学研究科博士課程 (4年制) 開設
平成 5 (1993) 年	4 月	麻布大学大学院獣医学研究科動物応用科学専攻 (修士課程) 開設
平成 6 (1994) 年	4 月	麻布大学大学院環境保健学研究科環境保健科学専攻 (修士課程) 開設
		麻布大学獣医学部環境畜産学科を獣医学部動物応用科学科に改組
		麻布大学獣医学部環境畜産学科募集停止
		麻布大学大学院環境保健学研究科環境保健科学専攻 (修士課程) 開設
平成 7 (1995) 年	4 月	麻布大学大学院獣医学研究科動物応用科学専攻 (博士課程) 開設
平成 8 (1996) 年	4 月	麻布大学大学院環境保健学研究科環境保健科学専攻 (博士課程) 開設
平成 9 (1997) 年	7 月	麻布大学附属動物管理センター設置
		麻布大学大学学生部保健課を麻布大学健康管理センターに組織変更

平成10 (1998) 年	4 月	麻布大学環境保健学部環境保健学科を環境保健学部健康環境科学科に名称変更
	12 月	麻布大学獣医学部動物応用科学科，環境保健学部健康環境科学科・衛生技術学科の期間付入学定員増に係る学則認可（平成11年度まで）
平成11 (1999) 年	3 月	麻布大学獣医学部環境畜産学科廃止認可
	4 月	麻布大学環境保健学部環境政策学科開設
	7 月	麻布大学獣医学部動物応用科学科，環境保健学部健康環境科学科・衛生技術学科の期間付入学定員増に係る学則認可（平成16年度まで）
		麻布大学獣医学部動物応用科学科，環境保健学部健康環境科学科・衛生技術学科の期間付入学定員の廃止に伴う収容定員増に係る学則変更認可
10 月	麻布大学環境保健学部健康環境科学科・衛生技術学科の編入学定員設定認可	
平成12 (2000) 年	4 月	麻布大学附属図書館と麻布大学附属情報処理センターを統合し，麻布大学附属学術情報センターを設置
平成15 (2003) 年	4 月	麻布大学大学院環境保健学研究科環境衛生政策専攻（修士課程）開設
平成18 (2006) 年	7 月	麻布大学獣医学部動物応用科学科の入学定員増に係る学則変更認可
平成19 (2007) 年	4 月	麻布大学獣医学部附属動物病院を麻布大学附属動物病院に組織及び名称変更
		麻布大学附属教育推進センター設置
平成20 (2008) 年	4 月	麻布大学環境保健学部を改組し，生命・環境科学部臨床検査技術学科，食品生命科学科及び環境科学科を開設（環境保健学部健康環境科学科，衛生技術学科及び環境政策学科は募集停止）
		麻布大学研究推進・支援本部を設置
平成25 (2013) 年	3 月	麻布大学環境保健学部（健康環境科学科，衛生技術学科及び環境政策学科）を廃止
平成26 (2014) 年	4 月	麻布大学附属淵野辺高等学校を麻布大学附属高等学校に名称変更
平成27 (2015) 年	4 月	麻布大学地域連携センター設置

4. 将来に向けてのビジョン

◆ 学校法人麻布獣医学園 中期目標・中期計画 [平成21年度～平成26年度]

- 中期目標・中期計画は、「学校法人」「大学」「高等学校」が、平成21年度から平成26年度までに達成すべき事項を掲げたものである。
【平成21年5月28日理事会・評議員会決定、平成21年9月29日 理事会一部改定】
- 中期目標・中期計画は、学校教育法に規定する認証評価機関が定めた大学における評価項目を基に取りまとめたものである。また、高等学校については、文部科学省が定めた学校評価ガイドラインに基づいた評価項目を基に取りまとめたものである。

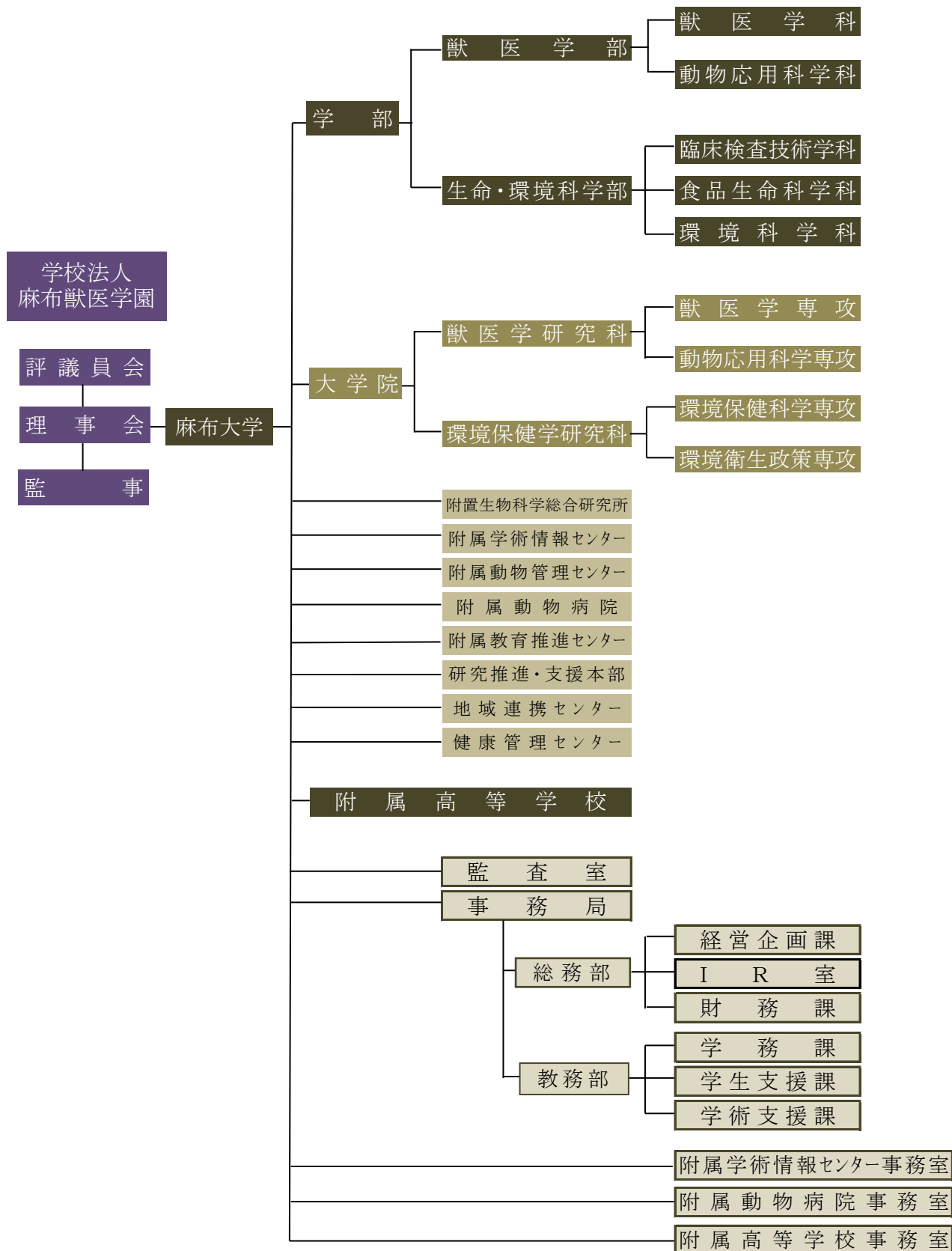
● 概要

中期目標	中期計画
(1) 法人の経営管理について	
<p>■ 大学及び高等学校を取り巻く経営環境の悪化と社会環境の変化に迅速に対応するために、機動的な意思決定と着実な業務執行を可能とする管理運営体制の構築を目指すものとする。</p>	<p>▶ 法人の経営方針は、大学及び高等学校の教学方針に基づいた経営管理を行うものとし、そのために経営側と教学側の意思疎通を図るための連絡調整組織を置く。</p> <p>▶ 国の私立大学等経常費補助金の予算額が前年比1%削減されるのに合わせて、本学においても一般管理経費を毎年度1%の削減を行い、日本私立学校振興・共済事業団が示す経営指標において、良好な財務状況であることを維持する。</p> <p>▶ 教職員の職責に係る利益相反・責務相反に関する規則を整備し、併せて教職員研修内容の充実・強化を図る。</p>
(2) 大学の教育について	
<p>■ 本学は、「学理の討究と誠実なる実践」の理念の下、大学学則及び大学院学則に基づき、人と動物と環境の共生を目指して「地球共生系」という標語を掲げ、生態系と人間社会の接点で生じる諸問題、特に動物及び生活環境を介して生じる人と動物の健康影響について、動物側あるいは環境因子側から教育研究し、人及び動物の健康社会に貢献する高度専門職業人（研究者養成を含む。）及び幅広い職業人の人材養成を教育成果の目標とする。</p>	<p>▶ 文部科学省中央教育審議会答申から、大学は、機能別に分化することが望ましいとの提言があることを踏まえ、本学は、「高度専門職業人養成」又は「幅広い職業人養成」の機能を担う大学として、個性化及び特色化を図るものとする。</p> <p>▶ この個性化及び特色化へ取り組むに当たり、大学は、教学方針として「学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」「入学者受入れの方針」をそれぞれ明確に定め、もって教学方針を確立する。</p> <p>▶ 現行の教育研究体制を改め、平成25年度から新教育研究体制で新たな教育研究を行う。</p>
(3) 大学の学術研究及び社会貢献について	
<p>■ 人と動物と環境の共生を目指して「地球共生系」という考えの下、本学の特徴的・個性的な研究を発掘及び顕在化させ、研究面でのブランド化を目指す。また、地域社会との連携推進の充実を図り、教育研究成果を社会に還元することをもって、本学が広く社会に貢献することを目指す。</p>	<p>▶ 経常的な研究条件の更なる整備に努める。</p> <p>▶ 本学の研究内容の可視化（研究マップの作成）を図り、共同研究及び大型研究プロジェクトを構築し、研究成果を知的財産として保護し、活用する。</p> <p>▶ 地域社会及び産学官連携並びに国際・文化交流に努め、教育研究成果を社会への還元に寄与する。</p>

中期目標	中期計画
(4) 高等学校について	
<p>本校は、「学理の討究と誠実なる実践」の理念の下、高等学校学則に基づき、次に掲げる事項を人材育成目標及び教育成果目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 学力の向上及び高校生としての学力の保証 ■ 学習の場には積極的に参加し自ら学ぶ意欲を持った人材育成 ■ 秩序、良識、礼儀を尊重し、他人を思いやる心を持った人材育成 ■ 夢を持ち未来を拓く強い精神力と健康な身体を持つ人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 文部科学省学習指導要領（平成20年度改訂，平成25年度入学者から適用）の改訂に伴い，新教育課程を編成し，原則として，平成25年度入学者から，新たな教育を実施する。 ▶ 生徒，保護者に選ばれる高等学校を作り，学校評価等を通じて社会からの評価及び認知度を高め，もって安定した生徒数を確保する。 ▶ 学力受験偏差値が「60」以上と評価されることを目指す。

5. 機構図

平成27年5月1日現在



6. 役員・評議員

平成27年5月1日現在

	任期	定数	現員
理事	4年	10～11人	11人
監事	4年	2人	2人
評議員	4年	28～34人	33人

(1)役員

理事・監事 の区別	担当職務等	氏名	就任	選任区分等		常勤/ 非常勤	備考
			就任年月日 (重任年月日)	寄附行為	選任区分		
理事	理事長	柏崎直巳	平成21年6月1日 (平成24年6月1日)	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	常勤	平成26年6月25日 理事長就任
理事		浅利昌男	平成26年6月25日	第8条第1号	大学長	常勤	
理事	総務担当	村上 賢	平成24年6月1日	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	常勤	
理事	財務担当	福山正文	平成12年6月1日 (平成24年6月1日)	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	常勤	
理事	改革, 教育・研究, 高校担当	山本雅子	平成24年6月1日	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	常勤	
理事	総務副担当	高橋 徹	平成15年6月1日 (平成24年6月1日)	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	非常勤	
理事	財務副担当	宮澤 宏	平成24年6月1日	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	非常勤	
理事	改革, 教育・研究, 高校副担当	田中克明	平成21年6月1日 (平成24年6月1日)	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	非常勤	
理事	改革, 教育・研究, 高校副担当	横尾清文	平成24年6月1日	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	非常勤	
理事		市川正雄	平成15年6月1日 (平成24年6月1日)	第8条第3号	学識経験者 (理事会選任)	非常勤	平成15年6月1日～平成 21年5月31日 寄附行為第8条第2号 理事
理事		谷口隆良	平成18年6月1日 (平成24年6月1日)	第8条第3号	学識経験者 (理事会選任)	非常勤	
監事		小野口勝巳	平成24年6月1日	第9条		非常勤	
監事		宮島成郎	平成22年6月1日 (平成24年6月1日)	第9条		非常勤	

平成27年5月1日現在

(2) 評議員

氏名	就任	選任区分等		備考
	就任年月日 (重任年月日)	寄附行為	選任区分	
武本成十	平成24年6月1日	第18条第2号	卒業者	議長
白石政美	平成21年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第2号	卒業者	副議長
猪股智夫	平成24年6月1日	第18条第1号	法人職員	
柏崎直巳	平成18年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第1号	法人職員	評議員会選任理事
加藤政博	平成24年6月1日	第18条第1号	法人職員	
川上泰	平成24年6月1日	第18条第1号	法人職員	
田中秀和	平成24年6月1日	第18条第1号	法人職員	
土屋亮	平成18年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第1号	法人職員	
福山正文	平成12年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第1号	法人職員	評議員会選任理事
三宅太	平成24年6月1日	第18条第1号	法人職員	
村上賢	平成24年6月1日	第18条第1号	法人職員	評議員会選任理事
村山洋	平成24年6月1日	第18条第1号	法人職員	
柳原新太郎	平成24年6月1日	第18条第1号	法人職員	
山本雅子	平成12年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第1号	法人職員	評議員会選任理事
高橋徹	平成12年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第2号	卒業者	評議員会選任理事
勝見晟	平成21年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第2号	卒業者	
保坂広	平成24年6月1日	第18条第2号	卒業者	
有賀誠	平成18年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第2号	卒業者	
横尾清文	平成24年6月1日	第18条第2号	卒業者	評議員会選任理事
宮澤宏	平成21年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第2号	卒業者	評議員会選任理事
田中克明	平9年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第2号	卒業者	評議員会選任理事
松家芳実	平成24年6月1日	第18条第2号	卒業者	
長友士郎	平成24年6月1日	第18条第2号	卒業者	
谷川力	平成24年6月1日	第18条第2号	卒業者	
佐藤泰	平成24年6月1日	第18条第2号	卒業者	
市川正雄	平成15年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)	理事会選任理事
加山俊夫	平成21年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)	
三東崇秀	平成21年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)	
塩田浩平	平成21年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)	
谷口隆良	平成15年6月1日 (平成24年6月1日)	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)	理事会選任理事
中村滋	平成24年6月1日	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)	
浅利昌男	平成24年6月1日 (平成26年6月25日)	第18条第4号	大学長	兼理事 平成24年6月1日～平成26年6月24日 寄附行為第18条第1号評議員
高木敬彦	平成27年4月1日	第18条第5号	高等学校長	

7. 学生・生徒の状況

平成27年5月1日現在

(1) 入学定員，収容定員，学生・生徒数，収容定員充足率

(人)

学部・学科等		入学定員	収容定員	学生・生徒数							収容定員充足率		
				1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	合計			
学部	獣医学部	獣医学科	120	720	143	155	148	149	153	143	891	123.8%	
		動物応用科学科	120	480	146	146	129	137	—	—	558	116.3%	
		小計	240	1,200	289	301	277	286	153	143	1,449	—	
	生命・環境科学部	臨床検査技術学科	80	305	100	98	88	79	—	—	365	119.7%	
		食品生命科学科	80	305	102	96	82	80	—	—	360	118.0%	
		環境科学科	80	364	91	113	103	117	—	—	424	116.5%	
		小計	240	974	293	307	273	276	—	—	1,149	—	
	学部計		480	2,174	582	608	550	562	153	143	2,598	—	
	研究科	獣医学専攻 博士課程	博士前期課程	10	40	10	2	5	7	—	—	24	
			動物応用科学専攻	博士前期課程	12	24	16	25	—	—	—	—	41
博士後期課程				4	12	3	3	3	—	—	—	9	
小計			26	76	29	30	8	7	—	—	74		
環境保健学専攻		博士前期課程	7	14	2	6	—	—	—	—	8		
		博士後期課程	2	6	1	0	0	—	—	—	1		
		環境衛生政策専攻 専攻修士課程	7	14	0	0	—	—	—	—	0		
		小計	16	34	3	6	0	—	—	—	9		
研究科計		42	110	32	36	8	7	—	—	83			
附属高等学校		258	774	508	344	252	—	—	—	1,104			
総合計		780	3,058	1,122	988	810	569	153	143	3,785			

※ 平成26年度から生命・環境科学部の各学科の入学定員を変更するとともに、編入学定員を廃止したことから、同学部各学科の平成27年度の収容定員は次のとおり。

臨床検査技術学科及び食品生命科学科：1年次 80人，2年次 80人，3年次 70人，4年次 75人 [4年次は編入学定員を含む]

環境科学科：1年次 80人，2年次 80人，3年次 100人，4年次 104人 [4年次は編入学定員を含む]

平成27年5月1日現在

(2) 専任教員一人当たりの学生数

学部・学科		専任教員一人当たりの学生数	
		(学生数/教員定数※1)	
学部 獣医	獣医学科 ※2	14.9 人	(13.9 人)
	動物応用科学科	32.8 人	(29.4 人)
生命 学部 環境科	臨床検査技術学科	24.3 人	(22.8 人)
	食品生命科学科	40.0 人	(27.7 人)
	環境科学科	30.3 人	(26.5 人)

※1 教員定数は、本学における教育研究上必要な教員数

※2 獣医学科専任教員は、附属動物病院及び附置生物科学総合研究所の専任教員を含む。

※ 特任教員は除く。

(3) 留学生数

獣医学科 0人、動物応用科学科 0人、
臨床検査技術学科0人、食品生命科学科0人、環境科学科0人

獣医学研究科獣医学専攻 2人
獣医学研究科動物応用科学専攻 3人

環境保健学研究科環境保健科学専攻 0人
環境保健学研究科環境衛生政策専攻 0人

(4) 社会人学生数 ※

学部・学科		社会人学生数
学部 獣医	獣医学科	88
	動物応用科学科	3
生命 学部 環境科	臨床検査技術学科	6
	食品生命科学科	2
	環境科学科	2
合計		101

※ 平成27年4月1日現在で、満25歳以上の者
(入試区分の社会人選抜による入学者とは異なる。)

研究科・専攻		社会人学生数
研究 獣医 科学	獣医学専攻博士課程	23
	動物応用科学専攻 博士前期課程	6
	動物応用科学専攻 博士後期課程	8
環 境 研 究 保 健 学	環境保健科学専攻 博士前期課程	1
	環境保健科学専攻 博士後期課程	0
	環境衛生政策専攻 修士課程	0
合計		38

(5) 非正規課程履修者

区 分	獣医学部	獣医学研究科	動物病院	生命・環境科学部	環境保健学研究科	合計
研究生	30	0	0	3	0	33
研修生	0	0	0	0	0	0
研修獣医師	—	—	70	—	—	70
聴講生	2	0	0	2	0	4
科目等履修生	1	0	0	0	0	1
外国人研究生	0	0	0	0	0	0
特別聴講学生(受入)	0	0	0	0	0	0
特別研究学生(受入)	0	0	0	0	0	0
聴講生徒	0	0	0	0	0	0
研究室体験生徒	0	0	0	0	0	0
合計	33	0	70	5	0	108

【注】

- 特別聴講学生、特別研究学生として各協定大学大学院研究科に派遣する大学院学生は、両研究科ともになし
- 聴講生徒及び研究室体験生徒の受入れの決定時期については、7月上旬を予定。
[平成26年度の実績は、聴講生徒0人、研究室体験生徒113人(獣医学部60人、生命・環境科学部47人、附属動物病院6人)]

8. 教職員の状況

平成27年 5月 1日 現在

(1) 大学教員 (常勤)

(人)

学部・学科等	学長		教授		准教授		講師		助教		助手		特任教員		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
学長	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
獣医学部	獣医学科	—	—	15(1)	3	14	2	10	5	3	1	0	0	0	0	53(1)
	動物応用科学科	—	—	8	1	7	0	0	1	0	0	0	0	0	0	17
	基礎教育系	—	—	1	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	6
	小計	0	0	24	4	23	2	13	6	3	1	0	0	0	0	76(1)
生命・環境科学部	臨床検査技術学科	—	—	5(1)	0	4	1	3	2	0	0	0	0	0	0	15(1)
	食品生命科学科	—	—	3	2	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	9
	環境科学科	—	—	3(1)	0	4	1	6	0	0	0	0	0	0	0	14(1)
	教職・学芸員課程	—	—	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	寄附講座	—	—	(2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1(2)
小計	0	0	12(4)	2	9	2	12	2	1	0	0	0	0	0	1	41(4)
大学院	獣医学研究科	—	—	(24)	(4)	(19)	(2)	(2)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(52)
	環境保健学研究科	—	—	(10)	(2)	(5)	(2)	(4)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(23)
	小計	(0)	(0)	(34)	(6)	(24)	(4)	(6)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(75)
附置生物科学総合研究所	—	—	(2)	0	1(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1(3)
附属学術情報センター	—	—	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1)
附属動物管理センター	—	—	0	0	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1)
附属動物病院	—	—	1(1)	0	2	0	2	0	1	0	0	0	7	5	18(1)	
附属教育推進センター	—	—	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1)
研究推進・支援本部	—	—	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1)
健康管理センター	—	—	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1)
合計	1	0	37	6	35	4	27	8	5	1	0	0	7	6	137	

【注】 ()は、兼務者を表す。ただし、同一部門内兼務者を除く。

(2) 高等学校教員 (常勤)

(人)

	校長		教頭		教諭		契約講師		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
附属高等学校	(1)	0	1	0	23	12	3	1	40

(3) 職員 (常勤)

(人)

校名等	事務局長		部長		課長 事務長 室長・主監		補佐		主査		主任		一般職		契約職員		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
麻布大学	1	0	2	0	9	1	5	3	6	3	10	4	19	8	2	6	79
附属高等学校	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	1	1	0	6
合計	1	0	2	0	10	1	5	3	7	3	11	4	20	9	3	6	85

常勤教職員

男 198 人 女 64 人 総合計 262 人

【注】 常勤教職員の合計欄は、実人数である。

平成27年5月1日現在

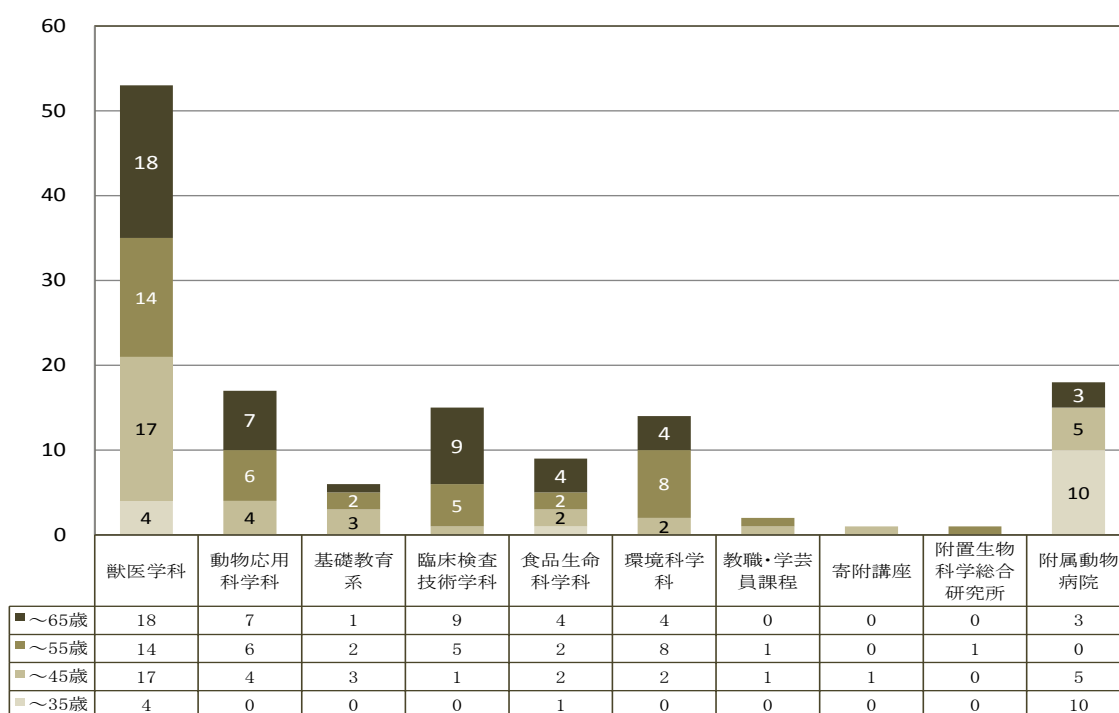
(4) 非常勤教職員

(人)

学部等	非常勤講師	非常勤職員	合計
獣医学部	57	24	81
生命・環境科学部	75	4	79
附属高等学校	33	1	34
事務組織	0	14	14
合 計	165	43	208

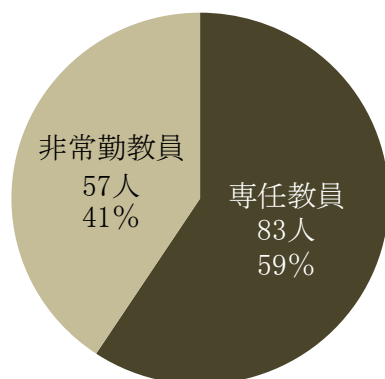
- 【注】1.非常勤講師欄は、獣医学部、生命・環境科学部及び附属高等学校を兼務する者を含む延べ人数である。
 2.非常勤講師には、業務委託による講師を含む。
 3.非常勤職員には、派遣職員を含む。

(5) 年齢別大学教員数（常勤）

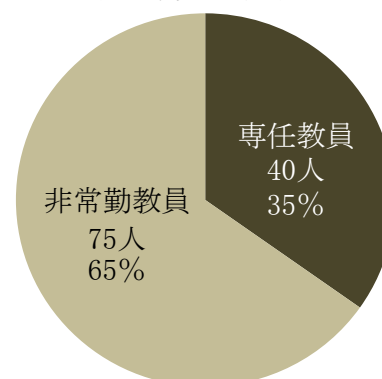


(6) 専任教員と非常勤教員の比率

■ 獣医学部



■ 生命・環境科学部



- 【注】1.獣医学部の教員には、獣医学科、動物応用科学科、基礎教育系、附置生物科学総合研究所、附属動物病院を含み、特任教員を除く。
 2.生命・環境科学部の教員には、臨床検査技術学科、食品生命科学科、環境科学科を含み、特任教員を除く。

II 事業の概要

1. 平成26年度事業計画の実施状況

- 平成26年度事業計画〔平成26年2月25日開催の理事会及び評議員会で承認〕は、平成26年度に学園全体として事業を推進するに当たり、学園の中期目標・中期計画〔平成21年度～平成26年度〕を基に、本学園の役員及び教職員が共通の認識に立って内外ともに明確にしておかなければならない事項を取り上げたもので、その実施状況は、次のとおりである。

決算額・予算額(単位:百万円)

平成26年度事業計画	実施状況	
1. 優秀な教職員の確保	決算額 3,189	予算額 3,408
(1) 将来展望を見据えた教職員の計画的採用と人材の適正配置	教育研究組織の構成を見据えながら、教育及び研究活動の質等を安定的に維持できるよう、人員の配置及び退職者の補充・確保に努めた。	
(2) 獣医学教育モデルコアカリキュラムに基づく参加型臨床実習に対応した附属動物病院人員体制の充実	平成26年度に新たな職種として特任教員Ⅱ種(特任副手)を設け、附属動物病院において獣医師として獣医臨床の研鑽を目的に所定の臨床プログラムに参加し、専任教員等の指示の下で診療及び臨床実習教育の補助を担当する者として6人を採用し、附属動物病院の人員体制の強化に努めた。	
(3) 学園職員に相応しい資質の向上に向けた人材育成の推進 (「職場内外の各種研修への積極的参加、高等学校における教員能力の向上と組織の活性化の継続実施」ほか)	<p>【職場内外の各種研修】</p> <p>大学教員におけるFD活動については、各研究科ごとに全5回研修会等を開催し、積極的な資質向上に努めた。</p> <p>学生による授業評価とその結果の教員へのフィードバックにより、授業改善の意識向上につなげるとともに、授業に関する様々な工夫の共有化や、教員のモチベーション向上等を通じた教育の質向上に資するため、優れた授業科目に対しグッドティーチング賞を授与し、表彰教員による講演会を開催した。</p> <p>全学的にハラスメント防止に関する問題意識を喚起するよう、教育講演会及び研修会を3回開催し、ハラスメント防止に関する資質向上に努めた。</p> <p>事務職員においては、主任及び一般職員を対象に、若年層のマネジメント力を高めることを目的とし、外部講師による研修会を開催した。</p> <p>【高等学校における教員能力向上への取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修、十年経験者研修、免許状更新に対する計画及び対応を行った。 ・独立行政法人教育研修センターへの派遣を行った。 ・他校との情報交換会を実施した。 ・各教科での研究授業を実施した。 <p>【高等学校における組織活性化への継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週開催される部長会議にて各分掌の密なる連携を図った。 ・責任体制を整備した。 ・危機管理に関するマニュアルの周知徹底を図った。 <p>個人情報等、本校が保有する情報の適切な管理推進した。</p>	
2. 教育事業の見直し・活発化	決算額 809	予算額 872
(1) 大学(学生の質保証の取組)		
① 教員組織の一元化(教育学術院の設置)の検討・推進	前年度に引き続き、教員組織の一元化の推進及びそれに係る新たな教育執行体制の構築について検討したが、任期満了に伴う学長の交代などがあり、前学長の下で課題整理が行われ、新学長に引き継いだ。	
・教育執行体制の刷新(大学教育機構等の設置)検討		
・大学共通の教員評価基準(指標)の策定の推進		

決算額・予算額(単位:百万円)

平成26年度事業計画	実施状況
② 平成22年度実施の大学評価(認証評価)結果に対する改善の推進	公益財団法人大学基準協会から、平成22年度実施の大学評価(認証評価)結果に付された「勧告」及び「助言」に対する改善状況について、「改善報告書」として取りまとめ、平成26年7月30日付けで公益財団法人大学基準協会に提出し、平成26年9月1日に受理された。
③ 初年次教育の見直しと充実 ・全学共通のコアカリキュラム=麻布スタンダードの構築	前年度に引き続き、全学における麻布スタンダード科目の構築のため、初年次教育の共通教育科目を考案し、働きかけを行った。その結果、平成26年度については、次のとおり実施することとなった。 ・動物応用科学科の選択科目に「環境・食糧・生命操作問題」を導入 ・獣医学部の体育科目に「馬術」を導入 ・臨床検査技術学科の必修科目に「基礎科学英語」を導入 また、平成26年度の活動により、平成27年度から次のとおり実施することとなった。 ・「環境・食糧・生命操作問題」については、麻布大学が教育理念としている「地球共生系」の講義内容であることから、科目名称を「地球共生論」に変更し、臨床検査技術学科以外の4学科で導入 なお、臨床検査技術学科は、平成27年度においては、他学科履修にて対応 ・「基礎科学英語」については、獣医学科、動物応用科学科、食品生命科学科、環境科学科の1年次に導入し、全ての学科に導入
④ FD活動の推進	各部署が主体となって、次のFD講演会及び研修会を開催した。 ①教育推進センター ・講演会『グッドティーチング賞受賞者から学ぶ”授業の工夫”』 (平成26年5月12日(月)開催) ②大学院獣医学研究科 ・研究倫理啓発セミナー『CITI Japanプロジェクトから見る研究倫理教育』 (平成26年11月19日(水)開催) ・研修会『医学と獣医学が完全に連携した大学院、医学獣医学総合研究科の紹介』 (平成27年1月14日(水)開催) ③大学院環境保健学研究科 ・講演会『理系とは何か -学問の構造, 高校生の意識, 今後この分類はどうなっていくのか-』 (平成26年10月29日(水)開催) ・研究倫理啓発セミナー『CITI Japanプロジェクトから見る研究倫理教育』 (平成26年11月19日(水)開催) ・講習会『食品衛生分野で求められる教育及び人材 -現場からの助言-』 (平成27年1月30日(金)開催)
⑤ 学生支援体制の整備拡充	学生支援については、学生を取り巻く環境の多様化と複雑化に伴い、学内外の関係機関による連携・協力が重要であるため、教学に影響を及ぼす種々の原因の追及とその対処に関して、それぞれの学生支援に係る関係機関の役割・機能を明確化することを目的として、平成27年度を目途として新たに学生支援に関する規則の策定を行った。
⑥ 就職支援の強化・充実	就職支援として、講義形式の就職活動講座、実習形式の模擬グループディスカッション、模擬面接等を実施。公務員を志望する学生を対象に公務員対策講座も実施した。全学的なキャリア形成支援としては、学生の就業観の醸成を目的として、本学学生の主要な就職先となる業界の企業人事担当者を招へいし、業界研究セミナーやキャリア形成支援セミナーを開催した。 また、ハローワーク相模原を協議会事務局とする「相模原・町田地区大学等就職支援連絡協議会」を活用し、地元企業の求人情報の収集及びジョブサポーターの派遣を依頼し、出張相談という形式で未内定学生の個別相談対応を学内で行った。

平成26年度事業計画	実施状況
(2) 学部	
① 入学定員超過率・編入学者数比率の改善 ・入学定員超過率を全学部で1.20以下に抑制	事業計画に基づき、全学部の平成27年度入学者について、入学定員超過率を1.20以下になるよう取り組み、改善された。 「地域産産業動物獣医師育成特別入学試験」及び「獣医学科 卒業生後継者特別入学試験」を導入することに伴い獣医学部獣医学科の「AO入学試験」及び「推薦等入学試験」の入学定員を変更した。
② 入学前・入学時修学指導の充実	推薦等入学許可者と父母を対象にした学科説明会を開催。入学前準備教育の説明、入学前教育の課題、専任教員の紹介、学科・教育課程の概要説明等を実施。併せて、教育推進センターと2学部の協働により、高校での主要科目について全体的に復習する教育プログラムを10日間にわたって実施した。 入学時には、4月3日～4月7日に、入学者オリエンテーションを実施し、カリキュラム、学生生活、科目履修、各学科の進級基準、卒業要件等大学生活に必要な事項の説明を行った。 また、初年次を対象とした授業内でもカリキュラムや履修方法等の説明を行った。
③ 附属高等学校との高大一貫教育及び他校との高大連携教育の推進	【高大一貫教育の推進】 附属高等学校生徒に対し、例年行っている高大一貫授業(165人受講)及び夏期体験実習(83人参加)を開講した。また、同校生徒及び父母を対象とした学内見学会並びに1年生全員を対象とした施設見学会を開催し、附属高等学校生徒として、大学を身近に感じられるよう取り組んだ。 【高大連携教育の推進】 例年どおり、高大連携協定校7校(県立相原高等学校、県立麻溝台高等学校、県立川崎工科高等学校、県立相模原高等学校、県立座間高等学校、県立城山高等学校、県立大和東高等学校)と、協定に基づき、研究室体験生徒の受入れ(30人参加)及び演習講座・教養講座(108人受講)の開講を実施し、協定校からは、高校教諭による教職課程科目への講師派遣に協力いただき、相互に教育交流を行った。
④ 各学部の取組 【獣医学部】 ・獣医学部教育モデルコアカリキュラムに基づく新教育課程の推進 ・参加型臨床実習への準備対応 ・四大連携事業の推進 ・動物応用科学科の新カリキュラム構築に向けた取組 【生命・環境科学部】 ・新たな教育課程の実現に向けた取組の推進	1. 獣医学科及び動物応用科学科にあつては、教育内容の充実を図ることを目的に、平成27年度入学者適用カリキュラムを改正。 2. 麻布スタンダード科目(地球共生論、基礎科学英語)の開設。 3. 獣医学科の英語教育の見直しを行い、既存の英語科目を廃止し、新たに外国語に英語2科目と人文系科目に英語1科目を新規開設。 4. 動物応用科学科の教育内容の充実に伴い、科目名称の変更、新規科目の開設及び科目の廃止並び統合を実施。 5. 単位制の厳格化及び学修の質保証を確保する観点から、国家試験取得に関わる学科を除き、年間履修科目登録の上限単位を50単位未満とした。(四大連携事業の推進) 平成25年度に引き続き、平成26年度は、オープンスキルラボを4回企画し(8月:小動物歯科、12月:鶏の臨床、2月:豚の臨床、2月:馬の臨床)、連携大学の学生に実習を提供。 1. 食品生命科学科及び環境科学科にあつては、教育内容の充実を図ることを目的に、平成27年度入学者適用カリキュラムを改正。 2. 食品生命科学科及び環境科学科の教育内容の充実に伴い、科目名称の変更、新規科目の開設及び科目の廃止並び統合を実施。 3. 単位制の厳格化及び学修の質保証を確保する観点から、国家試験取得に関わる学科を除き、年間履修科目登録の上限単位を50単位未満とした。

決算額・予算額(単位:百万円)

平成26年度事業計画	実施状況
<p>(3) 大学院</p> <p>① シラバスの充実(大学院に関する事項)</p> <p>年間の授業計画, 研究計画, 学位論文審査基準等の内容等を明記し, 掲載内容の充実を図る。</p> <p>② 大学院教育の一元化に向けた検討の推進</p>	<p>獣医学研究科にあつては, 学位論文審査基準の充実を図り, 平成26年度からの実施及び内容の掲載を履修ガイドやホームページ上で行った。環境保健学研究科にあつては, 平成27年度の実施を目処に学位論文審査基準の改善及び論文発表の改善に向けた取組の検討を行った。</p> <p>「麻布獣医学園・麻布大学・附属淵野辺高等学校 新体制に関する基本的な考え方」に基づく改革への取組と関連するため, 同改革の進捗状況に応じて検討することとして, 検討保留とした。</p>
<p>(4) 高等学校</p> <p>① 入学定員の確保と全教員による募集活動の推進</p> <p>② 習熟度別学習の実施</p> <p>③ 平成25年度からの学習指導要領改訂に伴う新教育課程の実施</p> <p>④ 大学との高大一貫教育及び他大学との高大連携教育の推進</p>	<p>学校長を中心に, 全教員で募集活動を行った。また, 入試基準や学校説明会を根本的に見直し, 選ばれる学校を目指して取り組んだ結果, 受験者数で1750名余, 入学者で508名を確保するに至った。また昨年度以前に比べて, 入学者の学力レベルは飛躍的に向上した。</p> <p>習熟度別教育導入2年目を迎え, 概ね良好な運用ができています。特に特進クラスは偏差値やセンター試験の得点数値目標を設定し, 目標が達成できるよう鋭意努力中である。</p> <p>概ね良好な運用ができていますが, 細かい点について改善が必要な部分もあり, 引き続き検討を続けている。</p> <p>麻布大学との高大一貫教育は, 校内及び学内で委員会が開催され, 生徒の受講数も概ね良好である。他大学との連携については, 全ての連携大学について, 本校生徒が受講するのは非現実的であり, 制度自体に問題があることから, 今後は高大連携教育については縮小又は廃止も含めて検討していくこととする。</p>
<p>(5) 学生・生徒募集のための広報活動の効果的実施</p> <p>・学生募集強化のための全学体制の構築</p>	<p>【大学】</p> <p>平成26年度学生募集のための広報活動として, 主に神奈川県及び東京都を中心とした高校訪問の強化並びに関東エリアで開催される高校内進路相談会, 高校内模擬授業等の要請に対して積極的に参加することにより, 志願者数の確保と同時に, 次年度以降の志願者の獲得につなげた。</p> <p>【附属高等学校】</p> <p>生徒募集に関する教員組織のガバナンス強化により, 統一した募集活動が可能となり, その結果中学生・保護者の信頼を得るに至った。今後も, 組織的な活動により, 効果的・効率的な業務の推進が可能となると考える。</p>
<p>(6) 社会貢献活動の推進</p> <p>・学外からの要請に基づく教職員の派遣</p> <p>(非常勤講師・各種審議会委員等)</p>	<p>学外との交流として, 日本養豚協会との学術協定に基づき, 同協会及び日本養豚開業獣医師協会と連携し, 次世代を担う養豚業者育成のため「日本養豚大学校」を実施した。</p> <p>学外からの要請に基づき, 平成26年度は次のとおり本学教職員を派遣した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常勤講師としての派遣: 28人[獣医学部教員18人, 生命・環境科学部教員8人, 動物病院教員2人] ・各種外部委員会等への派遣: 95件(実人数50人)[学長3件(1人), 獣医学部教員58件(32人), 生命・環境科学部教員33件(16人), 動物病院教員1件(1人)] ・講演会, 特別講義等への派遣: 122件(実人数49人)[学長2件(1人), 獣医学部教員98件(35人), 生命・環境科学部19件(10人), 動物病院教員3件(3人)]

平成26年度事業計画	実施状況							
(7) 地域・国際交流								
① さがまちコンソーシアムにおける生涯学習、近隣大学と地域との連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・市民大学講座 2講座 <ul style="list-style-type: none"> ①『野生動物と共に生きる』 (平成26年7月30日～9月3日 毎週水曜日, 全5回) ②『長寿社会を健やかに過ごすための知識 -生活習慣病・老年病の臨床と病理-』 (平成26年7月31日～9月4日 毎週木曜日, 全5回) ・さがまちカレッジ 6講座 <ul style="list-style-type: none"> ①『沙漠化を防ぎ,生活を豊かに…～皆さんと考える,身近な緑化～』 (平成26年6月1日(日)) ②『命と食をつなぐ,養豚産業と獣医師～日本農業の未来を担うのは私たち～』 (平成26年8月10日(日)) ③『もりのたんけんたい!～えっ!?あれもこれも森からきているの!?～』 (平成26年8月12日(火)) ④『理系への夢を育てよう!人の健康のために働く動物の専門家の仕事を探る』 (平成26年8月18日(月)) ⑤『これできみもいきものハカセ!?～たのしく研究しよう～』 (平成26年8月22日(金)) ⑥『あなたの愛犬にもできる!～ゲームを通じた科学的ドッグトレーニングを体験～』 (平成26年10月18日(土)) ・オーサースカフェ 2講座 <ul style="list-style-type: none"> ①『沙漠化を防ぎ,生活を豊かに…～皆さんと考える,身近な緑化～』 (平成26年4月5日(土)) ②『熱帯林プランテーションとわたしたちの生活』 (平成26年5月17日(土)) 							
② 国際交流協定校との連携の実施	協定校2大学(ペンシルヴァニア大学・国立中興大学)へ22人の学生を派遣した一方で,協定校5大学(国立台湾大学・国立中興大学・北京農学院・ペンシルヴァニア大学・チェンマイ大学)から16人の学生及び研究者の受入れを行い,充実した学術交流を行った。 また,協定が少ない欧米圏にあるスイス連邦のベルン大学との間で学術交流締結に向けた交渉を行った。							
3. 研究活動の活発化		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: center;">決算額</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">356</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">予算額</td> <td style="text-align: center;">373</td> </tr> </table>		決算額	356		予算額	373
	決算額	356						
	予算額	373						
(1) 研究推進・支援本部を中心に,学術研究・産学官連携等の活動の推進								
① 支援計画の策定と活動の点検・評価	学園の補助金の有効活用及び外部競争的資金の獲得に向けた支援計画を策定し,年間スケジュールに基づき,随時,活動状況を点検・評価した。							
② 本部機能の充実・強化	本学の研究上の特徴や個性の顕在化のため,学内外競争的資金獲得のためのインセンティブの提供を行った。また,知財を軸とした産学連携においては,学内の知的資産(研究成果全般と知財)の有効活用のための仕組み作りや,外部から専門的知識を有する人材を産学連携コーディネーター及び知的財産コーディネーターとして登用し,これらと協同して本学発の研究成果の技術移転を積極的に進めた。							
③ 学内競争的資金の効果的活用	麻布大学(研究推進・支援本部取扱)補助金として,「知財展開研究」,「若手育成研究」,「研究科分」及び「学生分」の公募を行った。「知財展開研究」及び「若手育成研究」において採択した課題は,それぞれ研究に進展が見られた。また,「研究科分」については,本学独自のポイント制に基づき順位付けを行い,研究費を傾斜配分した。							
④ 外部資金獲得の推進	国の補助金である私立大学戦略的研究基盤形成支援事業及び学術研究振興資金が継続して採択された。 科学研究費補助金については,採択率向上のためのセミナーを開催した。 なお,企業からの共同研究・受託研究については,手続等を含めた本部機能が周知され,年々外部資金の獲得件数及び金額は増加している。							

決算額・予算額(単位:百万円)

平成26年度事業計画		実施状況	
⑤ 知的資産の蓄積及び活用と産学官連携の推進	国内特許出願及び海外特許出願を行い、有償での技術移転(ライセンス、譲渡等)も実施した。また、卒論発表会や大学院論文発表会等を活用し、学内知財専門家(知的資産コーディネータ及び産学官連携コーディネータ)を中心にシーズ発掘を実施し、本学の知的な資産としての展開を図った。さらに、外部専門家とのプロジェクト課題が、活用に向けて大きく進展した。産学連携イベント(BIOexpo, アグリビジネス創出フェア)に出展し、本学の知財を広くアピールした。		
⑥ セミナーの実施	教職員を対象とした研究推進・支援本部主催セミナーを開催し、外部資金獲得や著作権、大学発ベンチャーの体験談等、研究推進活動への積極的な取組の意識付けを行った。また、研究倫理啓発セミナーも開催し、競争的資金の適正な執行、研究行為における不正行為防止への取組を実施した。		
⑦ 知財教育及び企業活動の啓蒙の推進	両学部学生及び大学院生を対象に講義の一部に知財教育を取り入れた。なお、起業家セミナーは、実施しなかった。また、大学発新産業創出拠点プロジェクト(プロジェクト支援型)に応募し、本学発ベンチャーの育成に取り組んだが、採択されなかった。		
⑧ ピッグリサーチセンター構想の検討	外部機関を活用し、同センター構想の収益性について検討した。併せて、協力企業の開拓、学内設備の予算要望を行い、ピッグリサーチセンター構想実施に向けた準備を行った。		
4. 附置・附属施設の充実		決算額	875
		予算額	909
(1) 生物科学総合研究所の機器・設備の更新(購入・修繕)	事業計画に基づき、空調設備中央監視装置の更新及び老朽化に伴う施設・設備の修繕を実施した。また、当初計画に無かったが、オートウェルッカウンターを更新した。		
(2) 学術情報センターの機能の充実等	事業計画に基づき、情報セキュリティへの取組、事務組織業務の円滑化及び安全性の向上並びにWiFiサービス環境改善を図るため、(1)セキュリティポリシーの策定、(2)事務ファイルシステムのリプレイス、(3)WiFiサービスエリアの拡張を行った。		
(3) 動物病院の医療用器具・機械の計画的整備	医療用機器備品の整備計画にあわせて、耐用年数を越えた磁気共鳴断層撮影装置(MRI)の入替を行った。この際、設置工事費は特殊事業経費であった。また、動物用内視鏡システム(VES)を導入したことによって、開腹しての手術に比べ患者に対する負担の軽減、及び飼主様の不安の解消に役立てることができた。更に、汎用超音波画像診断装置(Vivid E9 4Dエコー)を導入し、1回の送信ビームで幅広い領域のボリュームデータを収集することが可能となり、疾病の早期発見・早期治療につなげた。なお、施設全体に経年劣化と思われる箇所が多くみられることから、患者数を増やしより良質な獣医療を提供することを目的とした診療室等の整備拡充工事について検討を行った。		
5. 教育研究環境の整備		決算額	1,786
		予算額	1,758
(1) 安全・良質な施設の構築			
① 新キャンパス・マスタープラン第Ⅱ期計画に基づく施設整備の推進[(仮称)新5号館・新食堂等の整備]	平成25年度から3か年計画で着手した新キャンパス・マスタープランにおけるⅠ期事業の残りとして(仮称)新5号館・新食堂等の整備計画のうち、平成26年度には、産業動物臨床教育センター、テラスいちょうなどが完成した。		
② 教育研究機器備品の整備	平成26年度の事業計画に基づき、全学共用機器としてライブセル蛍光イメージングシステムの整備、動物病院における汎用超音波画像診断装置及び磁気共鳴断層撮影装置(MRI)等、生物科学総合研究所におけるオートウェルッカウンター等の機器の更新を実施した。		

決算額・予算額(単位:百万円)

平成26年度事業計画		実施状況	
6. 業務運営の改善・効率化		決算額 223	予算額 254
(1) 法人運営の改善			
① 学園の今後の在り方委員会 答申に基づく各種制度改革 (案)の企画検討及び推進	平成26年2月12日付けで中央教育審議会大学分科会において取りまとめられた「大学のガバナンス改革の推進について(審議まとめ)」を基に、学校教育法及び国立大学法人法の一部を改正する法律案(以下「改正法」という。)が、平成26年6月20日に国会において可決・成立された。これを受け、本学では、法改正に対応するためのガバナンス改革を優先することとし、平成25年5月28日付けで理事会において取りまとめた「新体制に関する基本的な考え方〔原案〕」における改革の推進については、法改正への対応後に行うこととした。		
② 新たな教育研究組織の発足 に向けた企画検討及び推進	この結果、これまで全学における協議・調整機関であった評議会を、平成27年度から「部局長連絡会議」及び「教学会議」に改組すること、新たな教育研究組織として、「地域連携センター」を平成27年度から発足させることを取りまとめた。		
③ 評議員選任規程等の見直し	平成23年度から平成24年度にかけて行われた学園評議員選挙において示されていた懸念事項や学識経験者評議員の選任方法の改善要望に対応するため、理事会において「評議員選任規程等改正検討委員会」を設置し、平成26年11月から平成27年1月の間、評議員選任規程等の見直しについての検討が行われた。検討結果は、委員会答申としてまとめられ、平成27年1月30日付けで理事長に答申された。		
④ 第3期中期目標・中期計画 (平成27年度～平成32年 度)の策定	第3期中期目標・中期計画(平成27年度～平成32年度)の策定に向けて、「中期目標・中期計画検討委員会」を設置し、平成26年10月から具体的検討に着手し、平成32年までの教育研究に関する今後の方向性について、理事長からの諮問に基づき、学長及び校長において取りまとめた。		
(2) 創立125周年記念事業への取 組・推進	創立125周年記念事業委員会の下に設置した実行委員等において、支援業者の協力を得ながら、各周年事業の詳細検討を行った。平成26年度は、記念式典出席者に配付する記念品や記念行事の検討が進められ、卒業者を対象に毎年実施しているホームカミングデーにおいて名誉教授による講義の開催した。このほか、沿線の駅におけるポスター掲示や特設のホームページサイトにおける歴史コンテンツの公開等の広報活動、年史の編纂や創立125周年募金を取り進め、「麻布大学いのちの博物館」にあっては、設立に係る基本構想を検討の上、設立後の運営に係る必要事項及び設立・展示計画を検討するとともに、大型動物の骨格標本の製作に取り掛かった。		
合 計		決算額 7,238	予算額 7,574

2. 教育研究の概要

(1) 平成26年度の教育実施体制

平成26年5月1日現在

①教員及び学生数

(人)

学部・学科等	教員								学生						
	大学設置基準上の教員数		常勤教員数		常勤教員の学位取得状況			非常勤教員数	入学定員	編入学定員	収容定員	学生数			
	総数	内 教授(学部) 内 研究指導教員 教授(大学院)	総数	内 教授(学部) 内 研究指導教員 教授(大学院)	博士	修士 (6年制含む)	学士								
獣医学部	獣医学科	19	10	54	20	54	0	0	54	120	—	720	912		
	動物応用科学科	10	5	20	12	20	0	0		120	—	480	566		
	基礎教育系	—	—	6	2	3	3	0		—	—	—	—		
	小計	—	—	80	34	77	3	0		54	240	—	1,200	1,478	
生命・環境科学部	臨床検査技術学科	8	4	16(1)	6(1)	13(1)	0	3	76	80	3年次 5	305	361		
	食品生命科学科	8	4	9	4	9	0	0		80	3年次 5	305	355		
	環境科学科	10	5	12(1)	4(1)	6(1)	6	0		80	3年次 4	392	466		
	教職・学芸員課程	2	1	2	1	2	0	0		—	—	—	—		
	寄附講座	—	—	1(2)	(2)	1(2)	0	0		—	—	—	—		
	小計	—	—	40(4)	15(4)	31(4)	6	3		76	240	3年次 14	1,002	1,182	
大学設置基準上、大学全体で必要な教員数		23	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
学部 計		80	43	120	49	108	9	3	130	480	—	2,202	2,660		
研究科	獣医学専攻博士課程	8	4	(37)	(19)	—	—	—	0	10	—	40	17		
	動物応用科学専攻	博士前期課程	6	3	(19)	(12)	—	—		—	12	—	24	52	
		博士後期課程	8	3	(19)	(12)	—	—		—	4	—	12	10	
	小計	22	10	—	—	—	—	—		0	26	—	76	79	
	環境保健科学専攻	博士前期課程	12	4	(19)	(7)	—	—		—	0	7	—	14	8
		博士後期課程	12	4	(17)	(7)	—	—		—		2	—	6	0
	環境衛生政策専攻修士課程	3	2	(5)	(2)	—	—	—		7	—	14	2		
小計	27	10	—	—	—	—	—	0	16	—	34	10			
研究科 計		49	20	—	—	—	—	—	0	42	—	110	89		
附属動物病院		—	—	15	1(1)	6	9	0	—	—	—	—	—		
附置生物科学総合研究所		—	—	1(3)	(3)	1(3)	0	0	—	—	—	—	—		
総合計		—	—	136	50	115	18	3	130	522	—	2,312	2,749		

②職員数

(人)

	常勤職員	非常勤職員	合計
麻布大学	81	48	129

- 【注】 1. ()は、兼務者を表す。
 2. 非常勤教員は、獣医学部、生命・環境科学部、大学院、附属高等学校を兼務するものを含む延べ人数である。
 3. 非常勤教員には、業務委託による講師を含む。
 4. 非常勤職員には、派遣職員を含む。

(2) 教育に関する情報

① 入学者の選抜

◆ 麻布大学

○ 各学部学科の「アドミッション・ポリシー(求める学生像)」に基づき、入学者選抜を行った。

■ 獣医学部

◇ 獣医学科

本学科の教育は、獣医師として高い倫理観を有し、高度な専門知識・技術を身に付けて社会に貢献できる人材を養成することを目的にしているため、次のような人物を求めている。

1. 人や動物、自然が好きの人
2. 獣医学に強い関心を持ち、獣医師となることについて明確な問題意識を持っている人
3. 学習意欲が旺盛で、獣医学を学ぶ上で必要な生物・化学など理科の素養を含む基礎学力が十分に備わっている人
4. 獣医師になるための情熱及び他者への思いやりと奉仕の心、高い倫理観を持っている人

◇ 動物応用科学科

本学科の教育理念を理解し、自ら学ぶ姿勢を持ち、本学での学習を通して人間と動物と社会の接点で通用するキャリアを身に付け、動物応用科学の諸領域で活躍したいという強い意志と意欲を持った人物を募集する。なかでも次のような人物を求めている。

1. 高等学校までの基礎学力、特に生物・化学を含む理科の学力が十分にある人
2. 問題意識を持ちチャレンジ精神が旺盛である人
3. リーダーシップと協調性を有し、動物応用科学の社会的使命をよく認識している人

■ 生命・環境科学部

◇ 臨床検査技術学科

本学科の教育理念を十分に理解し、最後まで目標に向かって努力できる強い意志と意欲を持った次のような人を求めている。

1. 臨床検査技師として医療分野において活躍したい人
2. 臨床検査値と疾病についての関係について広く興味がある人
3. 臨床検査学を学ぶために必要な基礎学力(特に数学、化学、生物)を有する人

◇ 食品生命科学科

高等学校までの中等教育で学んだ基礎学力、特に化学、生物、英語の学力を有し、次のような人を求めている。

1. 本学科の教育理念を理解するとともに、食品に関する問題とその改善に強い関心を持っている人
2. 自ら考えて問題解決に積極的に挑戦する意欲を持った人
3. 食の安全・安心確保の見地から、正義感と責任感にあふれている人

◇ 環境科学科

高等学校までの中等教育で学んだ化学、生物、英語などの基礎学力を有し、次のような志向を持つ人を求めている。

1. 環境保全や環境問題に強い関心がある人
2. 環境科学やその対策技術について学習意欲がある人
3. 環境科学科の教育理念、教育方針、教育内容等を理解し、環境保全や環境問題解決に貢献する強い意欲を持っている人

● 入学者の推移(過去5年) *

(人)

学部・学科		平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
学 獣 部 医	獣医学科	138	139	138	146	149
	動物応用科学科	144	143	144	144	144
生 命 科 学 部 環 境	臨床検査技術学科	94	96	85	90	90
	食品生命科学科	96	97	84	91	90
	環境科学科	89	96	120	128	128
合計		561	571	571	599	601

* 編入学者は除く。

■ 獣医学部

(人)

学部	学科等	区分	募集人員	平成27年度												平成26年度			平成25年度		
				志願者			受験者			合格者			入学者			志願者					
				男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
獣医学部	獣医学科	推薦	25	36	55	91	36	55	91	8	15	23	8	15	23	43	68	111	33	75	108
		附属	5人程度(推薦内)	4	6	10	4	6	10	3	1	4	3	1	4	6	2	8	1	5	6
		帰国子女	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		社会人	若干名	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3	3
		外国人	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1
		地域枠	若干名	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		卒業生後継者	若干名	15	14	29	15	14	29	2	3	5	2	3	5	—	—	—	—	—	
		AO	8	43	78	121	43	78	121	4	4	8	4	4	8	61	91	152	46	85	131
		一般	75	782	731	1,513	757	713	1,470	102	83	185	47	40	87	819	792	1,611	778	727	1,505
		センター利用	12	147	193	340	144	193	337	39	43	82	7	4	11	204	248	452	197	204	401
		計	120	1,027	1,078	2,105	999	1,060	2,059	158	149	307	71	67	138	1,134	1,202	2,336	1,055	1,100	2,155
獣医学部	動物応用科学科	推薦	25	5	25	30	5	25	30	2	20	22	2	20	22	6	15	21	7	35	42
		附属	10人程度(推薦内)	5	8	13	5	8	13	5	8	13	5	8	13	4	5	9	1	4	5
		帰国子女	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		社会人	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		外国人	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		AO	15	7	41	48	7	41	48	1	14	15	1	14	15	7	34	41	11	35	46
		一般	55	159	253	412	152	240	392	59	86	145	31	42	73	185	256	441	186	308	494
		センター利用(第Ⅰ期)	25	126	236	362	122	231	353	57	116	173	5	15	20	151	234	385	142	222	364
		センター利用(第Ⅱ期)	若干名	3	4	7	0	2	2	0	2	2	0	1	1	1	3	4	3	6	9
		計	120	305	567	872	291	547	838	124	246	370	44	100	144	354	547	901	350	610	960
		獣医学部	合計	推薦	50	41	80	121	41	80	121	10	35	45	10	35	45	49	83	132	40
附属	15人程度(推薦内)			9	14	23	9	14	23	8	9	17	8	9	17	10	7	17	2	9	11
帰国子女	若干名			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会人	若干名			0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3	3
外国人	若干名			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	
地域枠	若干名			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
卒業生後継者	若干名			15	14	29	15	14	29	2	3	5	2	3	5	—	—	—	—	—	
AO	23			50	119	169	50	119	169	5	18	23	5	18	23	68	125	193	57	120	177
一般	130			941	984	1,925	909	953	1,862	161	169	330	78	82	160	1,004	1,048	2,052	964	1,035	1,999
センター利用(第Ⅰ期)	37			273	429	702	266	424	690	96	159	255	12	19	31	355	482	837	339	426	765
センター利用(第Ⅱ期)	若干名			3	4	7	0	2	2	0	2	2	0	1	1	1	3	4	3	6	9
計	240	1,332	1,645	2,977	1,290	1,607	2,897	282	395	677	115	167	282	1,488	1,749	3,237	1,405	1,710	3,115		

□ 獣医学部編入学

(人)

学部	学科	区分	募集人員	選抜区分	平成27年度												平成26年度		平成25年度	
					志願者			受験者			合格者			入学者			志願者		志願者	
					男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	計	計		
獣医学部	獣医学科	若干名	第1次選抜	29	17	46	29	17	46	17	13	30	—	—	—	52	56			
				17	13	30	17	13	30	4	1	5	3	1	4					
	動物応用科学科	若干名	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0			
合計		若干名	—	—	—	46	30	76	46	30	76	21	14	35	3	1	4	52	56	

■ 生命・環境科学部

(人)

学部	区分 学科等	募集 人員	平成27年度												平成26年度			平成25年度		
			志 願 者			受 験 者			合 格 者			入 学 者			志 願 者			志 願 者		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
臨床 検査 技術 学 科	推薦	20	11	28	39	11	28	39	8	22	30	8	22	30	6	35	41	4	28	32
	附属	5	3	9	12	3	9	12	1	7	8	1	7	8	5	1	6	4	2	6
	帰国子女	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	社会人	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般A	55	60	148	208	56	136	192	14	45	59	5	23	28	43	137	180	65	152	217
	一般B		35	103	138	30	89	119	8	27	35	3	12	15	43	101	144	39	94	133
	一般C		26	76	102	24	66	90	7	22	29	3	7	10	42	122	164	58	133	191
	シナ-利用(第I期)	5	31	84	115	31	83	114	6	24	30	0	2	2	60	134	194	62	113	175
	シナ-利用(第II期)	若干名	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1						
	計	80	167	448	615	156	411	567	45	147	192	21	73	94	199	530	729	232	523	755
食 品 生 命 科 学 科	推薦	25	5	5	10	5	5	10	5	4	9	5	4	9	4	2	6	14	6	20
	附属	7	6	4	10	6	4	10	5	4	9	5	4	9	2	0	2	1	4	5
	指定校	7	7	7	14	7	7	14	7	7	14	7	7	14	4	8	12	5	6	11
	帰国子女	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	社会人	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般A	50	73	68	141	70	60	130	19	31	50	9	11	20	66	65	131	90	78	168
	一般B		50	29	79	49	29	78	20	10	30	9	6	15	42	33	75	25	27	52
	一般C		100	99	199	96	93	189	27	45	72	11	11	22	57	67	124	37	33	70
	一般II期	若干名	8	7	15	8	7	15	3	4	7	1	3	4	6	9	15	16	16	32
	シナ-利用(第I期)	5	70	95	165	68	94	162	15	25	40	1	1	2	106	110	216	90	100	190
シナ-利用(第II期)	若干名	3	2	5	3	2	5	2	4	6	0	1	1	3	4	7	7	16	23	
計	80	322	316	638	312	301	613	103	132	235	48	48	96	290	298	588	285	286	571	
環 境 科 学 部 学 科	推薦	25	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	4	5	9	6	1	7
	附属	7	2	1	3	2	1	3	1	1	2	1	1	2	0	6	6	1	1	2
	指定校	7	10	6	16	10	6	16	10	6	16	10	6	16	5	11	16	9	9	18
	環境特別	5	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	5	1	6	7	4	11
	帰国子女	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	社会人	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般A	45	55	17	72	53	16	69	36	6	42	21	4	25	74	29	103	77	42	119
	一般B		47	18	65	45	16	61	31	11	42	10	3	13	46	20	66	26	25	51
	一般C		79	31	110	75	30	105	56	22	78	17	7	24	62	30	92	37	21	58
	一般II期	若干名	2	2	4	2	2	4	2	2	4	1	1	2	9	9	18	6	13	19
シナ-利用(第I期)	5	84	36	120	82	35	117	25	17	42	2	2	4	129	66	195	100	77	177	
シナ-利用(第II期)	若干名	2	0	2	2	0	2	2	0	2	2	0	2	13	3	16	10	7	17	
計	80	283	111	394	273	106	379	164	65	229	65	24	89	347	180	527	279	200	479	
合 計	推薦	70	17	33	50	17	33	50	14	26	40	14	26	40	14	42	56	24	35	59
	附属	19	11	14	25	11	14	25	7	12	19	7	12	19	7	14	21	6	7	13
	指定校	17	17	13	30	17	13	30	17	13	30	17	13	30	9	19	28	14	15	29
	環境特別	5	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	5	1	6	7	4	11
	帰国子女	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	社会人	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般A	150	188	233	421	179	212	391	69	82	151	35	38	73	183	231	414	232	272	504
	一般B		132	150	282	124	134	258	59	48	107	22	21	43	131	154	285	90	146	236
	一般C		205	206	411	195	189	384	90	89	179	31	25	56	161	219	380	132	187	319
	一般II期	若干名	10	9	19	10	9	19	5	6	11	2	4	6	15	18	33	22	29	51
シナ-利用(第I期)	15	185	215	400	181	212	393	46	66	112	3	5	8	295	310	605	252	290	542	
シナ-利用(第II期)	若干名	6	2	8	6	2	8	5	2	7	3	1	4	16	7	23	17	23	40	
計	240	772	875	1,647	741	818	1,559	312	344	656	134	145	279	836	1,008	1,844	796	1,009	1,805	

□ 生命・環境科学部編入学

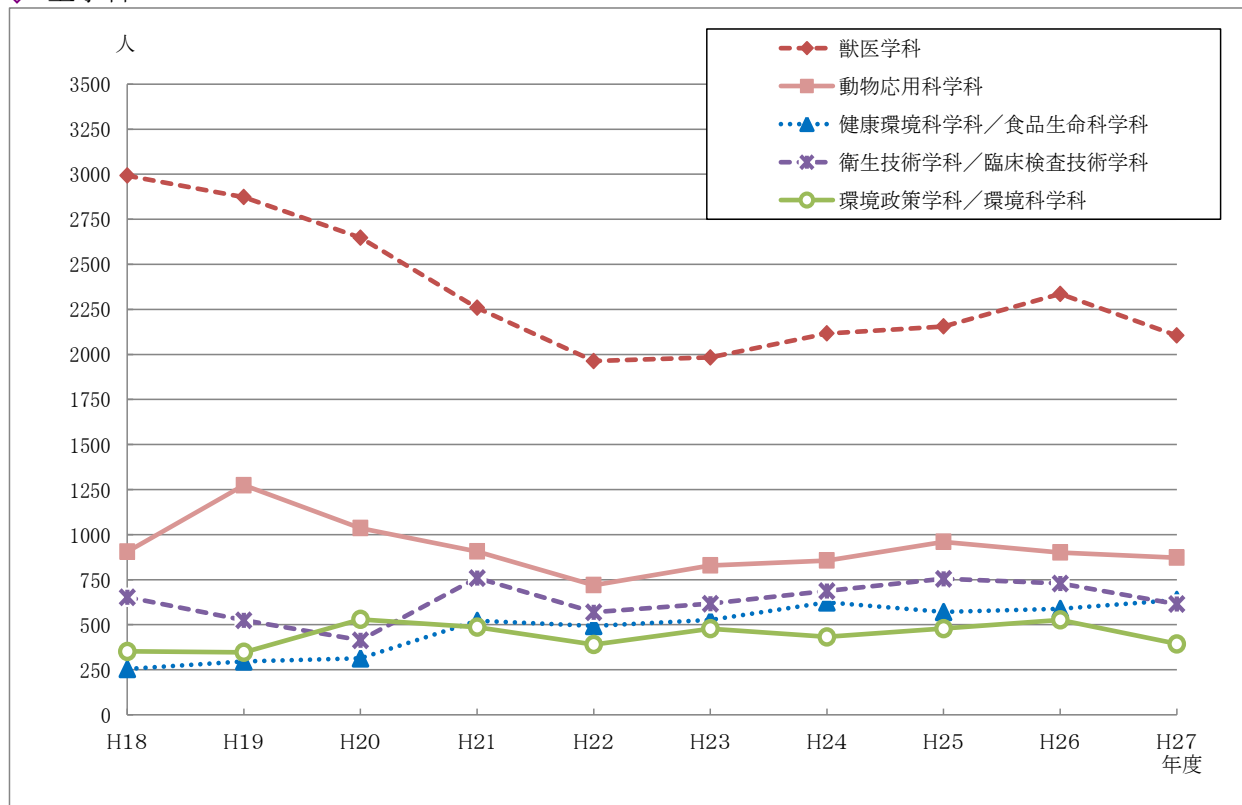
(人)

学部	区分 学科等	募集 人員	平成27年度												平成26年度	平成25年度		
			志 願 者			受 験 者			合 格 者			入 学 者			志 願 者	志 願 者		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	計	計		
生 命 ・ 環 境 科 学 部	臨床検査技術学科	2 年 次	若干名	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	食品生命科学科		若干名	0	2	2	0	2	2	0	2	2	0	2	2	0	3	2
	環境科学科		若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	小計			0	3	3	0	3	3	0	2	2	0	2	2	0	4	3
	臨床検査技術学科	3 年 次	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	食品生命科学科		若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	環境科学科		若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2
	小計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2
	合計		若干名	0	3	3	0	3	3	0	2	2	0	2	2	0	7	5

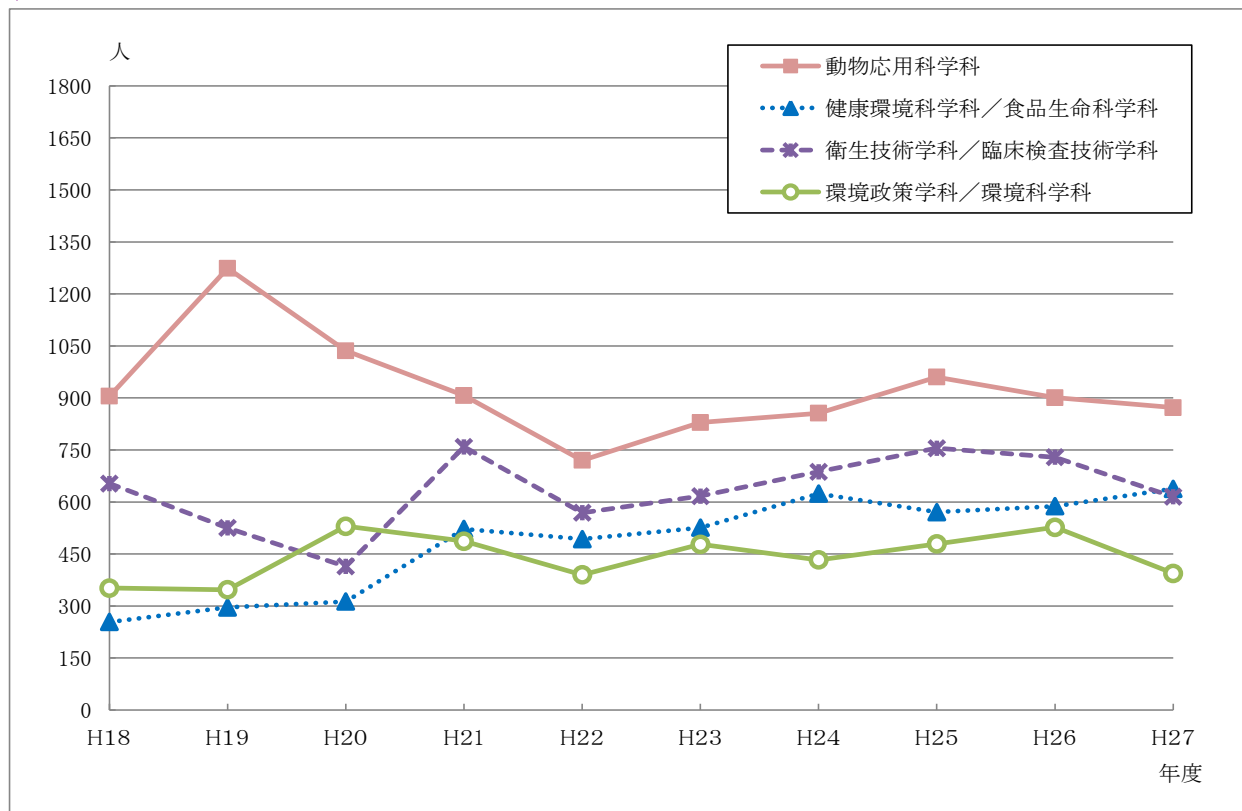
● 志願者の推移【麻布大学 過去10年】

■ 一般入学試験・推薦等入学試験・大学入試センター試験利用入学試験

◇ 全学科

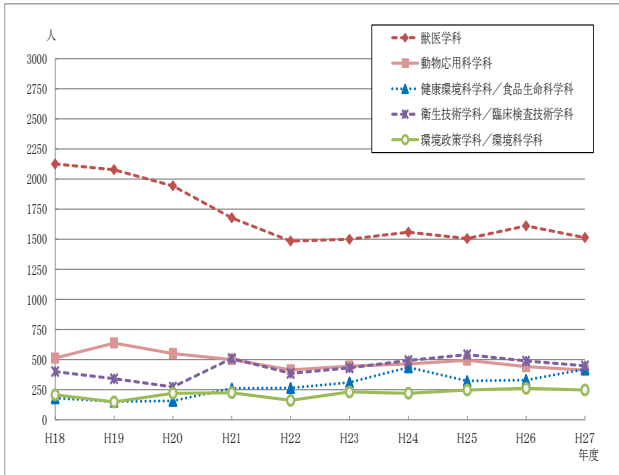


◇ 獣医学科を除く学科

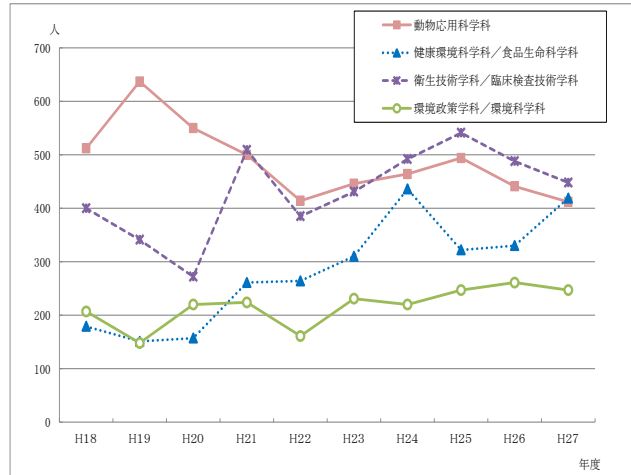


■ 一般入学試験

◇ 全学科

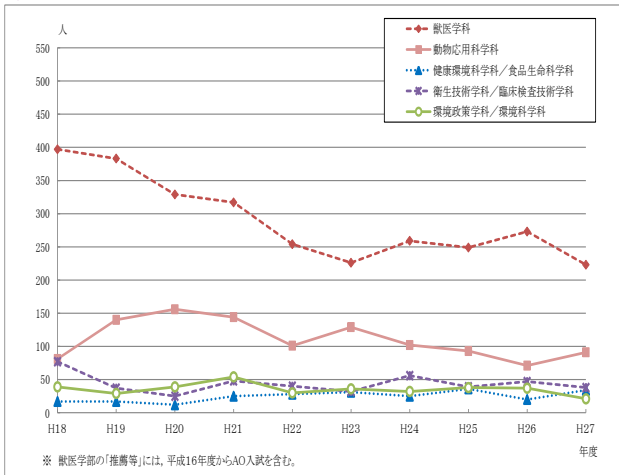


◇ 獣医学科を除く学科

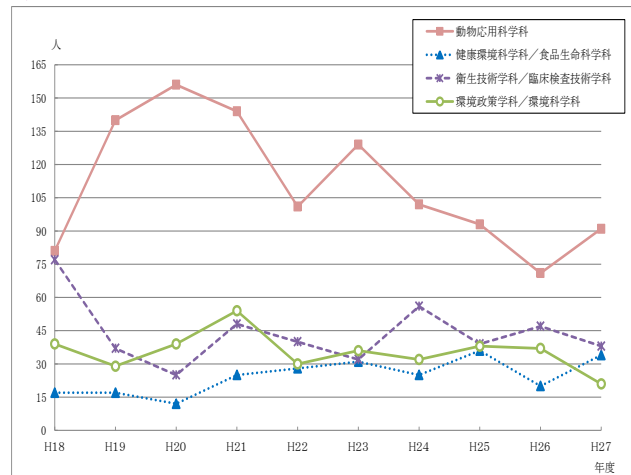


■ 推薦等入学試験

◇ 全学科

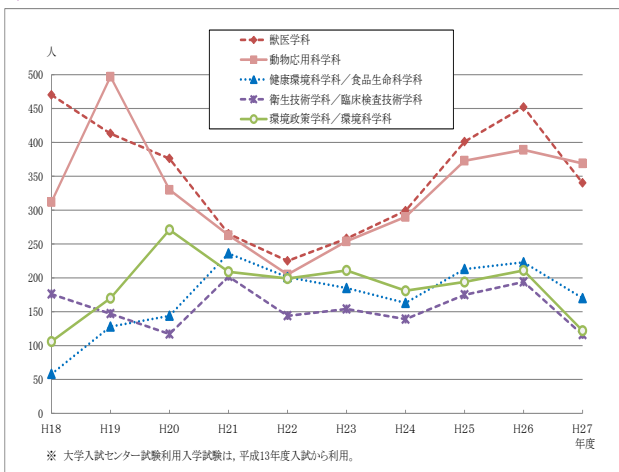


◇ 獣医学科を除く学科



■ 大学入試センター試験利用入学試験

◇ 全学科



◆ 麻布大学大学院

○ 各研究科・専攻の「アドミッション・ポリシー(求める学生像)」に基づき、入学者選抜を行った。

■ 獣医研究科

◇ 獣医学専攻 博士課程

獣医学専攻博士課程では、より高度な専門性を持つ職業人、研究者及び教育者の養成を目指す。そのために次のような人物を求めている。

1. 獣医学に関連する諸科学の基礎知識を持ち、かつ国際的な視点を持ち合わせている人
2. 獣医学に関する新たな知識の創造及び新技術の開発に取り組み、それによって人類と動物の健康維持に貢献しようとする意識のある人
3. 獣医学にとどまらず、新たな学際的な研究領域に対しても果敢に挑戦しようとする意欲を持っている人

◇ 動物応用科学専攻 博士前期課程

博士前期課程(修士課程)では、人と動物の健康社会を科学する高度な専門性職業人の養成を目指す。そのために次のような人物を求めている。

1. 学部の専門にかかわらず、人と動物の健康を科学する動物応用科学の基礎となる生物学、化学の基礎知識を持ち、かつ国際化に対応できるだけの語学力を備えている人
2. 動物応用科学に強い関心を持ち、新しい知識の吸収意欲があり、かつそれらの知識を科学的発見及び問題解決に結びつけようとする意識のある人
3. 動物応用科学の社会的使命をよく認識し、リーダーシップと協調性を持って問題解決に果敢に挑戦しようとする意欲を持っている人

◇ 動物応用科学専攻 博士後期課程

博士後期課程では、博士前期課程で修得した広い視野に立って、より高度な専門性を持つ職業人、研究者及び教育者の養成を目指す。そのために次のような人物を求めている。

1. 動物応用科学に関連する諸科学の基礎知識を持ち、かつ国際的な視点を持ち合わせている人
2. 動物応用科学に関する新たな知識の創造及び新技術の開発に取り組み、それによって人類と動物の福祉、社会の平和、生物としての共生並びに文化の進展に貢献しようとする意識のある人
3. 動物応用科学にとどまらず、新たな学際的な研究領域に果敢に挑戦しようとする意欲を持っている人

■ 環境保健学研究科

◇ 環境保健科学専攻 博士前期課程

博士前期課程では、国の内外を問わず、またこれまでの大学・学部での専攻学科にとらわれず高い基礎学力と、将来に対する明確な目標とそれぞれの各研究分野に対して強い興味を持った人物を求めている。

1. 環境保健科学に強い関心を持ち学習意欲に富んだ人
2. 社会人等でこれらの分野にかかわる業務に就いている人

◇ 環境保健科学専攻 博士後期課程

博士後期課程では、7つの専門分野あるいは関連する研究分野で修士号を取得した者又は取得見込みの者を求めている。

1. 高度な研究者、技術者あるいは統括指導者として活躍したい人
2. 社会人等でこれら分野にかかわる業務に就いている人

◇ 環境衛生政策専攻 修士課程

大学までに学んだ様々な分野の知見を踏まえて、更に環境衛生に関する専門的知見を身に付け社会全体の環境衛生レベルの向上について取り組みたい人物を求めている。

1. 人間社会にとって、人の健康と環境保全に関する、最も身近な政策である環境衛生政策に強い関心のある人
2. 自然科学・社会科学・人文科学など学問の全分野と深くかかわった政策を検討しようとする意欲を持っている人

● 入学者の推移（過去5年）

(人)

研究科	専攻	年度等	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度	
			4月入学	10月入学	4月入学	10月入学	4月入学	10月入学	4月入学	10月入学	4月入学	10月入学
獣医学	獣医学専攻博士課程		9	3	1	3	2	6	2	1	1	
	動物応用科学専攻博士前期課程		16	25	0	23	0	24	3	38	0	
	動物応用科学専攻博士後期課程		3	2	0	3	1	2	0	5	0	
環境保健学	環境保健科学専攻博士前期課程		2	6	0	2	0	3	0	7	0	
	環境保健科学専攻博士後期課程		1	0	0	1	0	0	0	1	0	
	環境衛生政策専攻修士課程		0	0	0	2	0	0	0	3	0	
合計			31	36	1	34	3	35	5	55	1	

■ 獣医学研究科

(人)

研究科	専攻	区分	募集人員	平成27年度												平成26年度	平成25年度
				志願者			受験者			合格者			入学者			志願者	志願者
				男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	計	計
獣医学	獣医学専攻博士課程	1期	10	4	1	5	4	1	5	4	1	5	3	0	3	4	3
		2期	若干名	3	3	6	3	3	6	3	3	6	3	3	6	2	3
		計	10	7	4	11	7	4	11	7	4	11	6	3	9	6	6
	動物応用科学専攻博士前期課程	1期	12	9	8	17	8	8	16	6	5	11	6	5	11	24	26
		2期	若干名	2	5	7	2	5	7	0	5	5	0	5	5	10	2
		計	12	11	13	24	10	13	23	6	10	16	6	10	16	34	28
	動物応用科学専攻博士後期課程	1期	4	1	1	2	1	1	2	1	1	2	1	1	2	2	2
		2期	若干名	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	2
		計	4	2	1	3	2	1	3	2	1	3	2	1	3	3	4
合計			20	18	38	19	18	37	15	15	30	14	14	28	43	38	

平成27年度第1期合格者のうち、平成26年度10月期入学希望者は、平成27年度志願者、受験者及び合格者に含まれているが、平成27年度入学者に含まれていない。(獣医学専攻博士課程・・・男性1人)

平成27年度第1期合格者のうち、獣医学専攻博士課程の女性1人は、辞退者。

平成27年度第2期合格者のうち、獣医学専攻博士課程の男性1人は、長期履修学生申請(6年)許可者。また、獣医学専攻博士課程の女性1人は、長期履修学生申請(8年)許可者。

■ 環境保健学研究科

(人)

研究科	専攻	区分	募集人員	平成27年度												平成26年度	平成25年度
				志願者			受験者			合格者			入学者			志願者	志願者
				男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	計	計
環境保健学	環境保健科学専攻博士前期課程	1期	7	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	6	2
		2期	若干名	1	1	2	1	1	2	1	1	2	1	0	1	0	2
		計	7	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	1	2	6	4
	環境保健科学専攻博士後期課程	1期	2	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	1
		2期	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	2	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	1
	環境衛生政策専攻修士課程	1期	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		2期	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合計			2	2	4	2	2	4	2	2	4	2	1	3	6	7	

平成27年度第2期合格者のうち、環境保健科学専攻博士前期課程の女性1人は、辞退者。

②教育課程

◆ 麻布大学

- 各学部学科の「カリキュラム・ポリシー(教育の実施に関する基本的な方針)」に基づき、教育を実施した。

■ 獣医学部

◇ 獣医学科

本学科の教育理念・目的に基づき、以下のような特徴あるカリキュラムとなっている。

1. 初等年次では、教養から基礎獣医学まで幅広い知識や倫理観を身に付けるために基礎系教員と獣医学系教員の協力による総合的なカリキュラムの設定や選択科目を増やした学生の自主性を尊重したカリキュラムを設定している。
2. 中等年次では、基礎獣医学から臨床獣医学、応用獣医学まで獣医師として必要な要素を身に付けるために獣医学系教員による専門的なカリキュラムを設定している。このため専門教育を基礎獣医学系、病態獣医学系、生産獣医学系、臨床獣医学系及び環境獣医学系の5系のカテゴリーに分け、系内及び系外教員との協力体制の下に教育を展開している。
3. 高等年次では、小動物臨床獣医師、産業動物臨床獣医師あるいは公衆衛生獣医師などの獣医師としての専門性を身に付け、実践力を体得するためのカリキュラムを設定している。
4. 獣医師として、社会に巣立つための獣医師ライセンスの取得を目的とした獣医師国家試験対策のために、専門教育5系に属する獣医学系全教員の連携による総合的なカリキュラムを設定している。

◇ 動物応用科学科

動物生命科学コースでは、分子、細胞、組織、器官、個体及び生態系と様々な段階における生命現象について、その機能を解析し、動物資源の利用・開発とその保全・増殖並びに人と動物に対する安全の観点から学際的な分野を含む広範な動物生命科学の総合的な知識と技術、バイオテクノロジーの多様な応用領域について幅広い知識と技術を身に付けた人材の育成を目標とする。

動物人間関係学コースでは、自然科学と人文科学・社会科学の境界領域の学問分野として、全ての動物を対象に人と動物のより良い関係を学び、動物と人の健康・福祉・教育への貢献、また人と野生動物とのより良い関係及び野生動物の生息地管理などについて幅広い知識を備えた人材の育成を目標とする。

このような基本方針に基づき、以下のような特徴あるカリキュラムを用意した。

1. 初年次教育から卒業時まで在学期間全体を通して、社会人・職業人として必要な知識・技術の習得が可能となるようにキャリア形成科目を各年次に計画的に配分した。
具体的には、人文科学・社会科学など一般教養や英語を主とした語学力並びにコミュニケーション能力、情報処理能力などである。
2. 動物科学の基礎学力の向上を起点とし、2年次までに動物応用科学が目指す人と動物とのより良い共利共生につながる幅広い教育科目群を配当した。
1年次前期から生物学、化学、生態学などの科目配当で基礎学力を身に付け、その後段階的に専門基礎科目を配当し、動物の形態と機能、動物の特性及び基本的な病態について教育する。
また、本学科の全教員による動物応用科学概論、基礎ゼミなどを通じて、動物応用科学の広がりを認識し、その中で自らの修学意欲を高める教育を行っている。
3. 3年次以降においては、拡大・深化した動物応用科学の諸領域を動物の生命活動とその資源の利用・開発に関わる動物生命科学コースと、人と動物のより良い共利共生関係を目指す動物人間関係学コースの2コースの教育科目を設けた。

動物生命科学コースでは、遺伝子から、細胞、組織・臓器、微生物、個体、群集、生態系までの種々の段階における生命現象を、保全・増殖、機能解析、利用・開発並びに人と動物に対する安全の観点から、分子から個体までの多様なレベルで総合的に学ぶ。

動物人間関係学コースでは、伴侶動物、介在動物、野生動物を対象に、人の福祉や教育の現場に活用できるような、これらの動物の特性とその応用及び人と動物と環境の共生について総合的に学ぶ。

4. 4年次には、卒業論文や科学の伝達によってそれぞれの領域における動物応用科学の専門性の追求と、それを基礎とした人間社会への貢献の在り方を学ぶ。
具体的には、社会最先端の実験手法、それを基にした動物機能性製品や新たな動物飼育法、社会調査、フィールド・ワークの実場面を体験し、そのデータ解析やレポート作成などを通じて、最新の研究情報を社会へ発信する能力、逆に社会ニーズに対応するための問題発見・解決能力を兼ね備える人材の教育を目指す。

■ 生命・環境科学部

◇ 臨床検査技術学科

本学科の教育理念と教育目標を具体化したカリキュラムは、「臨床検査技師学校養成所指定規則」第2条第3号に規定されている「臨床検査技師養成教育」に必要な専門科目80単位を基本とし、これに本学科独自の科目を加えて構成されている。すなわち、高い倫理観を養うための生命倫理学、科学英語論文を理解するための基礎科学英語や医学英語を取り入れた教養科目、及び疾病や遺伝的疾患を理解させるために臨床医学概論や基礎遺伝学、臨床遺伝学、遺伝子検査学を配当した。さらに、履修した科目の内容を総合的に理解させるとともに、早い時期から国家試験を意識させ、合格率を高めるために、教育の進行に合わせて総合臨床検査学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、総合臨床検査学演習を開講する。

1. 1～2年次において教養科目のほか、解剖学、組織学、生理学、微生物学、生化学、病理学、免疫学、医動物学などの専門基礎科目(必修)及び臨床化学、病理検査学、検査管理総論などの専門科目(必修)を配当し、基礎学力並びに専門基礎学力を身に付ける。
2. さらに、3～4年次において臨床医学概論、衛生・公衆衛生学、医用工学概論などの専門基礎科目(必修、選択)のほか、臨床病理学、臨床血液学、臨床微生物学、臨床免疫学、臨床生理学、臨床遺伝学、そして医療の安全についての科目として臨床検査リスクマネジメントを含め、専門科目(必修、選択)を配当し、臨床検査技師教育の専門分野を展開する。
3. 卒業論文は、2～4年次の3年間で履修する選択科目とした。学生は各研究室に所属し、研究テーマの決定、研究活動に必要な知識と実験手技の習得、文献の講読、実験の実施、データの解析・考察、論文作成などを通じて、問題に取り組む能力、必要な情報を収集する能力及びプレゼンテーション能力など社会で要求される幅広いコミュニケーション能力を身に付ける。

◇ 食品生命科学科

本学科の教育目標を達成するためのカリキュラムの設定方針としては、次のようなカリキュラム(教育課程)を組み立てている。

1. 高等学校までの基礎学力があることを前提として、1年次前期に生物学、有機化学などの自然科学系科目を配当する。また、1年次前期から専門基礎科目を配当し、食の安全及び生命科学について学ぶ専門基礎学力を育成する。一方、学生の学習意欲を増進させるために、1年次前期に社会の第一線で活躍する企業人などによる各専門分野のエキスパートを講師としたフード・バイオビジネス概論及び専門教育を担当する教員による食環境論などの導入科目を配当する。さらに、学生として必須の自学自習の習慣付けの強化、資料の読解とレポート作成能力を強化するために基礎科目の実習も1年次前期より配当し、さらにローテーション方式による少人数のプレ専門ゼミを1年次後期に配当する。
2. 社会人・職業人として最低限必要な教養とスキルの習得については、1年次から2年次にかけての人文科学、社会科学などの一般教養、食生活と健康科学等を通して、多面的・倫理的に物事を考察できる能力が身に付くように配慮している。また、1年次から2年次にわたり、英語を主とした語学力の向上を図るとともに情報処理及びデータ解析能力の基礎を身に付ける。
3. 2年次以降においては、食の安全及びバイオの科学コースの2コースを設けて、それぞれのコースにおいて専門教育を十分に展開する。2コースに共通する科目は専門共通科目群として2、3年次に配当する。
4. 4年次には、専門ゼミや卒業論文に取り組むことより、食品生命科学領域の深さと広がり認識し、最新の必要情報を収集する能力と問題発見・解決能力及びプレゼンテーション能力を身に付ける。

◇ 環境科学科

持続可能な社会の担い手を養成するために、以下のポリシーに従ってカリキュラムを編成している。

1年次には、教養科目・基礎専門科目として経済学・社会学・法学などの社会科学の基本的な科目を置くほか、大気環境学、水環境学、土壌環境学、廃棄物リサイクル論などの環境の基礎に関する科目を配置する。また、コース選択の指針を与える環境科学概論を配置し、1年次終了時点で適切なコース選択が行えるよう配慮する。

2年次以降のコース別教育では、次のような教育カリキュラムを編成している。

「環境技術コース」

1. 2年次に、水質衛生学、食品衛生学などの保健衛生に関する科目、機器分析化学、病原微生物学など、環境に悪影響を及ぼす因子やその分析に関する科目などを配置して、「環境の分析・調査能力」を養成する。
2. 3年次には、化学物質毒性評価学、農薬化学、環境リスク評価論など環境の評価に関する科目を配置し、分析結果に基づいて「環境の質を評価」する能力を養う。

3. 2年次後期から3年次後期にかけて、化学物質管理学、衛生管理学、水質汚染制御学、水処理工学・同演習など環境の維持・改善及び環境管理に関する科目を配置し、「環境の保護・保全に必要な技術やシステムを提案」できる能力を高める。
4. 4年次では卒業論文の完成とその発表を通して、情報の整理、伝達、プレゼンテーションの能力を培う。

「環境と社会コース」

1. 2年次に、環境社会学、環境統計学、社会調査法などを配置し、「環境の社会的分析・調査に必要な能力」を養成する。
2. 3年次には環境影響評価論、リスクコミュニケーション論、環境管理論などを配置し、「社会調査等に基づく環境の質の評価手法」や「環境の維持・改善のための対策立案」する能力を養う。
3. 2, 3年次には、まちづくり論、ビオトープ論、市民環境活動論、都市計画論、エネルギー環境論など、持続可能性の観点から社会を分析・評価し、政策を提言する方法論を学ぶ。さらに「使える英語」教育の徹底を図り、グローバル化した社会における新しいライフスタイルの確立に向けた実践的なコミュニケーション能力を高める。
4. 4年次では卒業論文の完成とその発表を通して、情報の整理、伝達、プレゼンテーションの能力を培う。

◆ 麻布大学大学院

- 各研究科・専攻の「カリキュラム・ポリシー(教育の実施に関する基本的な方針)」に基づき、教育を実施した。

■ 獣医学研究科

◇ 獣医学専攻 博士課程

1. 獣医学に関する専攻科目の専門的知識を、各専攻科目に担当された授業科目の講義、演習並びに実験・実習により習得させる。
2. 各研究室において、それぞれの指導教員との討論の基、自ら主体的に各分野の先端的な研究課題に取組、博士論文としてまとめる。これにより、課題解決方法、論理的思考、発展的な課題設定方法についてより深く学ばせる。
3. 研究成果を学内の課程博士論文中間発表会及び論文発表会で発表させるとともに、国内外の学会及び学術誌において発表することを支援する。これにより、日本語のみならず、英語を始めとする外国語でのプレゼンテーション及び質疑応答能力を養わせる。また、対外的な評価を受けることで、自己の研究能力を客観的に評価する機会を与える。

◇ 動物応用科学専攻 博士前期課程

1. 動物応用科学に関する専攻科目の専門的知識を、各専攻科目に担当された授業科目の講義、演習並びに実験・実習により習得させる。
2. それぞれの指導教員の下、研究指導を受けながら研究課題に積極的に取組、修士論文としてまとめる。これにより、科学的な課題設定方法、論理的思考、各分野の先端的知識及び実験手法について学ばせる。
3. 研究成果を学内の課程修士論文中間発表会及び論文発表会で発表させるとともに、学外の学会等において発表することを支援する。これにより、プレゼンテーション及び質疑応答能力を養わせる。

◇ 動物応用科学専攻 博士後期課程

1. それぞれの指導教員との討論の基、自ら主体的に各分野の先端的な研究課題に取組、博士論文としてまとめる。これにより、課題解決方法、論理的思考、発展的な課題設定方法についてより深く学ばせる。
2. 研究成果を学内の課程博士論文中間発表会及び論文発表会で発表させるとともに、国内外の学会及び学術誌において発表することを支援する。これにより、日本語のみならず、英語を始めとする外国語でのプレゼンテーション及び質疑応答能力を養わせる。また、対外的な評価を受けることで、自己の研究能力を客観的に評価する機会を与える。

■ 環境保健学研究科

◇ 環境保健科学専攻 博士前期課程

1. 6つの専門分野のいずれかに所属し、必修科目として開講されている授業科目の講義、実験及び実習により、その専門分野の基礎となる幅広い知識を習得させる(22単位)。
2. 他の専門分野の講義を4単位及び共通科目として開設されている「科学英語」(ネイティブスピーカーが担当)及び「科学者・研究者論」を含め8単位を修得させる(合計30単位)。
3. 授業科目の修得を通じて、環境保健科学分野の幅広い基礎知識を習得させる。
4. 授業科目を2年間で修得するとともに、修士論文を完成させるために入学後、早期に1人の研究指導教員及び2人の副研究指導教員を決定し、3人の指導教員による総合的で綿密な指導を行う。

◇ 環境保健科学専攻 博士後期課程

1. 各専門分野及び環境保健科学分野の基礎となる幅広い知識を土台に、更に高度な専門的知識を習得させる。
2. 所属する専門分野の「特別演習」及び「特別実験」を3年間にわたって履修させる(合計12単位)。
3. 授業科目の修得を通じて、高度で専門的な博士(学術)にふさわしい学識を習得させる。
4. 授業科目を3年間で修得させるとともに、博士論文を完成させるために入学後、早期に1人の研究指導教員及び2人の副研究指導教員を決定し、3人の指導教員による総合的で綿密かつ高度な研究指導を行う。

◇ 環境衛生政策専攻 修士課程

1. 環境衛生政策を立案するために必要な自然科学的知識、社会科学的知識及び人文科学的知識に関わる授業科目の講義及び演習により習得させる(合計30単位)。
2. 世界の最新情報を身に付けるためのネイティブ教員による科学英語を開講する。
3. これらの学問を2年間で修得し、修士論文を完成させるために入学後、早期に1人の研究指導教員及び2人の副研究指導教員を決定し、3人の指導教員による綿密な指導を行う。
4. 研究成果を学内の課程修士論文中間発表会で発表させるとともに、大学院を担当する全教員による総合的指導を行う。

③学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっての基準

◆ 麻布大学

● ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標），必要単位修得数及び取得可能学位

■ 獣医学部

◇ 獣医学科

本学科の定められた教育課程を修了することで、次のような人材が育成されることを目標とする。

1. 獣医師としての専門分野の学問内容についての知識を習得している。
2. 獣医師として、臨床・予防衛生・公衆衛生に対応できる専門家としての実践能力を習得している。
3. 獣医師としての高い倫理観を有し、高度な専門職業人として責任をもった行動をとることができる。
4. 獣医師である高度な専門職業人として、課題発展能力・問題解決能力を習得し、獣医療の進歩や生命科学に関する社会のニーズの変化に、持続的に対応できる柔軟さと学習意欲を持つ。

◇ 動物応用科学科

本学科の定められた教育課程に在籍し、本学科の教育理念・教育目標に沿って設定した授業科目を履修し、基準となる単位数を修得することが学位授与の要件である。修得すべき授業科目には、講義科目のほか、演習や実習、フィールド・ワークや卒業論文作成等の科目が含まれる。この卒業要件を満たすことで、次のような人物が育成されることを目標とする。

1. 社会から求められる幅広い知識、教養と高い社会倫理を習得した人物
2. 社会から求められる語学力、コミュニケーション能力、問題発見・解決能力を習得した人物
3. 動物応用科学の領域の特性、その社会的責任、また動物応用科学の知識と技術を基に人間社会への貢献に寄与する人物
4. 動物応用科学における最新の科学技術に立脚した生命科学と社会の発展に貢献する、論理的で科学的な思考を習得した人物

□ 獣医学科（平成26年度入学者）

区分	単位数
基礎教育科目	
必修	5
選択必修	12
選択	23
専門科目	
必修	144
選択	5
計	189

取得可能学位 学士(獣医学)

□ 動物応用科学科（平成26年度入学者）

区分	単位数
基礎教育系科目群	
必修	22
選択必修	6
選択	7
専門共通科目群	}
動物生命科学コース科目群	
動物人間関係学コース科目群	
必修	72
選択	17
計	124

取得可能学位 学士(動物応用科学)

■ 生命・環境科学部

◇ 臨床検査技術学科

本学科は、次のような能力・知識を有する卒業生を輩出する。

1. 臨床検査技師国家資格を取得できる学力
2. 医療従事者としての高い倫理観
3. 臨床検査成績と疾患との関連性を深く把握できる能力
4. チーム医療を理解し、実践できる能力
5. 自分の考えを論理的に表現できる総合的コミュニケーション能力

上記の能力・知識の習得について、定期試験・追再試験などを行い、厳格な単位認定を行う。また、必修科目108単位、選択科目16単位の計124単位を卒業要件とし、これを修得した者に対して卒業認定を行う。

◇ 食品生命科学科

本学科では、多くの実習・演習を通じて、食品衛生学・食品生命科学分野の諸領域における幅広い知識と専門技術に加え、高度なバイオ技術を用いた研究方法を修得し、以下のとおり、社会で活躍できる人材の育成を目指している。そのため卒業要件として、基礎科目と専門教育科目からそれぞれ19単位及び105単位、合計124単位以上を修得することが義務付けられていて、目標を達成した学生に対して単位を認定する。

1. 生物学的及び化学的な分析の知識・技術に精通し、得られた実験・調査成績に基づいて適切な評価・解決策を講じられる。
2. 食の安全・安心分野でリーダーシップを発揮し、問題の追求と解決に情熱を持って取り組む。
3. 広い識見と創造性に富み、人の健康にかかわる専門分野で実践・活躍できる実力を身に付ける。

◇ 環境科学科

卒業要件として、環境技術コースでは必修95単位、選択29単位以上、環境と社会コースでは必修66単位、選択58単位以上、合計124単位以上の修得を義務付けている。これらの単位の認定に当たって、それぞれの科目担当者は、学生の学力を十分考慮しつつ一定レベルの到達目標を定め、その目標に達した学生にのみ単位を与えることとしている。

本学科の教育課程は次のような人材の育成を目標としている。

1. さまざまな環境問題に遭遇した時に、その問題の本質がどこにあるのかを自然科学的あるいは社会科学的に正しく捉えることのできる問題発見能力と問題解決能力を身に付ける。
2. 環境技術コース履修者にあつては、対象となる環境の理化学的、生物的分析・評価と環境の維持・改善のための技術的な提案を通して、社会に貢献できる。
3. 環境と社会コース履修者にあつては、社会科学的な視点に立って、環境問題に対する政策的な立案と実践を通して、社会に貢献できる。

□ 臨床検査技術学科(平成26年度入学者)

区分	単位数
必修科目	108
選択科目	16
┌ 教養科目	4
└ 専門科目	12
計	124

取得可能学位 学士(保健衛生学)

□ 食品生命科学科(平成26年度入学者)

区分	単位数
必修科目	114
選択科目	10
┌ 基礎・教養科目	4
└ 専門科目	6
計	124

取得可能学位 学士(保健衛生学)

□ 環境科学科(平成26年度入学者)

コース	区分	単位数
環境技術 コース	必修科目	95
	選択科目	29
	┌ 教養科目	10
	└ 専門科目	19 ※1
計		124
環境と社会 コース	必修科目	66
	選択科目	58
	┌ 教養科目	18
	└ 専門科目	40 ※2
計		124

※1 4年次に6単位以上を修得し、うち、2単位以上は、4年次後期で修得すること。

※2 4年次後期に2単位以上を修得すること。

取得可能学位 学士(環境科学)

◆ 麻布大学大学院

● ディプロマ・ポリシー（修了時の到達目標），必要単位修得数及び取得可能学位

■ 獣医研究科

◇ 獣医学専攻 博士課程

1. 博士課程にあつては、所定の修業年限である4年以上在学し、必修20単位、選択10単位計30単位以上を修得し、必要な研究指導を受け、かつ博士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者に、博士（獣医学）の学位を与える。
2. ただし、博士課程に3年以上在学し、定められた授業科目につき課程修了必要単位を修得し、かつ、特に優れた研究業績を上げ、指導教員を含む3人以上の本研究科委員会委員が推薦し、博士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者には、修業年限の特例により博士（獣医学）の学位を与える。
3. また、博士課程修了にあつては、以下の水準に到達していることを目安とする。
 - 1) それぞれの専門領域における高度な学識（専門的知識と見識）並びに研究技術を習得している。
さらに、その学識と研究技術に基づいて独自に課題を設定し、それを解決・展開できる能力を身に付けている。
 - 2) 必要に応じて他の研究者及び研究機関との連携を図ることができる能力を身に付けている。
 - 3) 研究成果を国際的に公表するために必要な英語でのプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力及び論文作成能力を身に付けている。

上記3点の能力を通じて、獣医学における高度な専門性を持つ職業人、研究者及び教育者として社会に貢献できるようにする。

◇ 動物応用科学専攻 博士前期課程

1. 博士前期課程（修士課程）にあつては、所定の修業年限である2年以上在学し、必修・選択両科目を併せて30単位以上を修得し、必要な研究指導を受け、かつ修士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者に、修士（動物応用科学）の学位を与える。
2. ただし、博士前期課程（修士課程）に1年以上在学し、所定の課程修了必要単位数を修得し、かつ特に優れた研究業績を上げ、指導教員を含む3人以上の本研究科委員会委員が推薦し、修士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者には、修業年限の特例により修士（動物応用科学）の学位を与える。
3. 博士前期課程（修士課程）修了に当たっては、以下の水準に到達していることを目安とする。
 - 1) 動物、微生物などに由来する遺伝子、細胞、タンパク質などの機能解析とその応用、食品科学における危険要因の低減、除去及び生理活性マテリアルとしての環境改善への応用、更に「健康な動物」の持つ機能の人間生活への活用、野生動物の保全・人間社会との軋轢の軽減などの研究領域に関する高度な専門知識を習得している。
 - 2) それぞれの専門領域における科学的な課題設定方法、論理的思考、各分野の先端的知識の収集及び実験手法など基本的な研究技術を習得している。
 - 3) それぞれの研究成果を学会等において公表するために必要なプレゼンテーション能力及びコミュニケーション能力を身に付けている。

◇ 動物応用科学専攻 博士後期課程

1. 博士後期課程にあつては、所定の修業年限である3年以上在学し、必修科目12単位以上を修得し、必要な研究指導を受け、かつ博士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者に、博士（学術）の学位を与える。
2. ただし、博士後期課程に2年以上在学し、所定の課程修了必要単位数を修得し、かつ特に優れた研究業績を上げ、指導教員を含む3人以上の本研究科委員会委員が推薦し、博士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者には、修業年限の特例により博士（学術）の学位を与える。
3. 博士後期課程修了に当たっては、以下の水準に到達していることを目安とする。
 - 1) それぞれの専門領域における高度な学識（専門的知識と見識）並びに研究技術を習得している。
さらに、その学識と研究技術に基づいて独自に課題を設定し、それを解決・展開できる能力を身に付けている。
 - 2) 必要に応じて他の研究者及び研究機関との連携を図ることができる能力を身に付けている。
 - 3) 研究成果を国際的に公表するために必要な英語でのプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力及び論文作成能力を身に付けている。
4. 上記3点の能力を通じて、人と動物の健康社会に貢献する高度な専門性を持つ職業人、研究者及び教育者としての資質を備えている。

□ 獣医学専攻 博士課程

区分	単位数
必修	20
選択	10
計	30

取得可能学位 博士(獣医学)

* 所要科目及び単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、学位論文を提出した者に最終試験を行い、最終試験に合格した者に学位を授与する。

□ 動物応用科学専攻 博士前期課程

区分	単位数
必修	26
選択	4
計	30

取得可能学位 修士(動物応用科学)

* 所要科目及び単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、学位論文を提出した者に最終試験を行い、最終試験に合格した者に学位を授与する。

□ 動物応用科学専攻 博士後期課程

区分	単位数
必修	12
計	12

取得可能学位 博士(学術)

* 所要科目及び単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、学位論文を提出した者に最終試験を行い、最終試験に合格した者に学位を授与する。

■ 環境保健学研究科

◇ 環境保健科学専攻 博士前期課程

1. 博士前期課程にあつては、高い倫理観を養うとともに、コメディカルな分野に新しいバイオテクノロジーを導入した臨床検査技術学と生命科学及び環境科学にかかわる諸問題を解明する基礎的かつ応用的能力を身に付けて修了させる。
2. 高度な専門知識と技術を備えた有能な中堅研究者、技術者又は統括指導者を育てる。
3. 教育研究職等で活躍できる能力を持った人材を養成する。

◇ 環境保健科学専攻 博士後期課程

1. 博士後期課程にあつては、独創性の高い研究能力を培い、関連する分野で自立した研究者、技術者又は統括指導者になる能力を身に付けて修了させる。
2. 自立した研究者、技術者又は指導者として活躍できる人材を養成する。

◇ 環境衛生政策専攻 修士課程

1. 人間社会の身近な環境衛生政策分野に関連する自然科学・社会科学の両方の専門知識を備えた能力を身に付けて修了させる。
2. 環境衛生政策を直接担当する地方公共団体等の行政機関や環境衛生に関する一般企業において活躍できる能力を持った人材を養成する。

□ 環境保健科学専攻 博士前期課程

区分	単位数
必修	26
選択	4
計	30

取得可能学位 修士(環境保健科学)

* 所要科目及び単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、学位論文を提出した者に最終試験を行い、最終試験に合格した者に学位を授与する。

□ 環境保健科学専攻 博士後期課程

区分	単位数
必修	12
計	12

取得可能学位 博士(学術)

* 所要科目及び単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、学位論文を提出した者に最終試験を行い、最終試験に合格した者に学位を授与する。

□ 環境衛生政策専攻 修士課程

区分	単位数
必修	22
選択	8
計	30

取得可能学位 修士(環境衛生政策)

* 所要科目及び単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、学位論文を提出した者に最終試験を行い、最終試験に合格した者に学位を授与する。

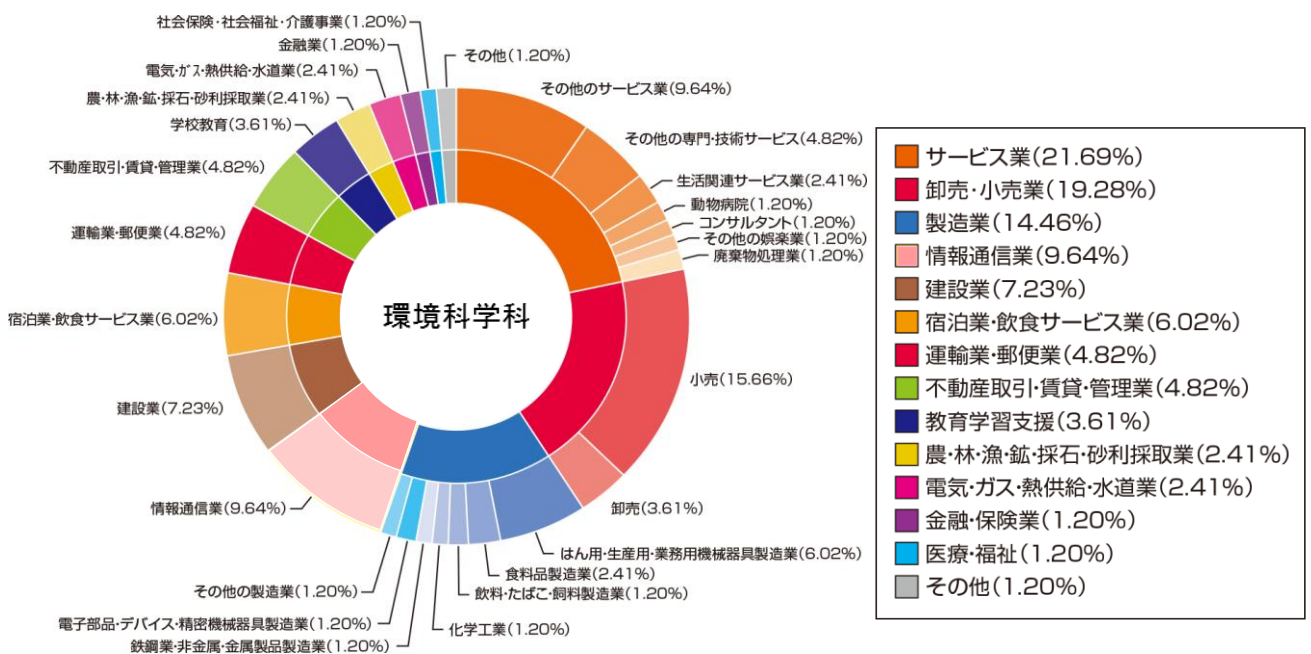
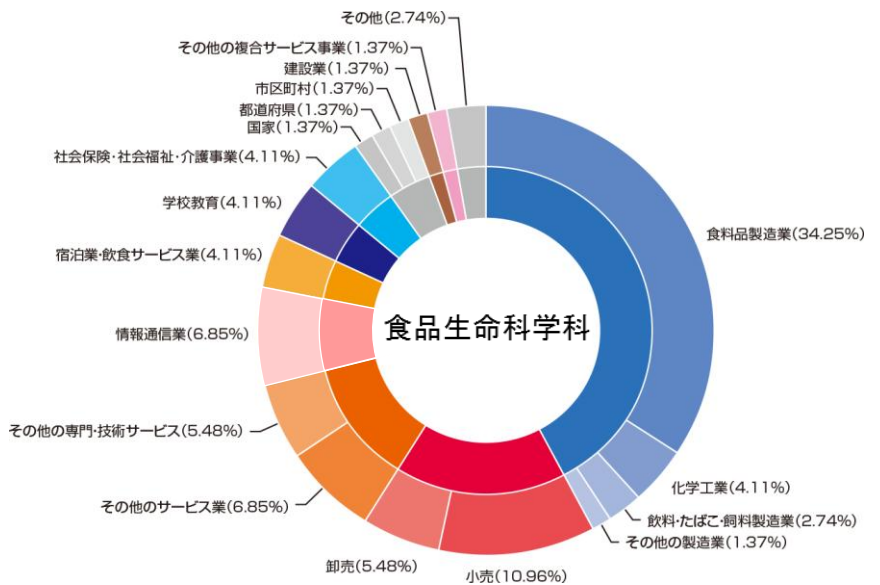
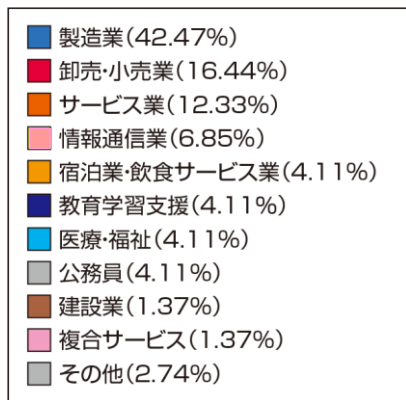
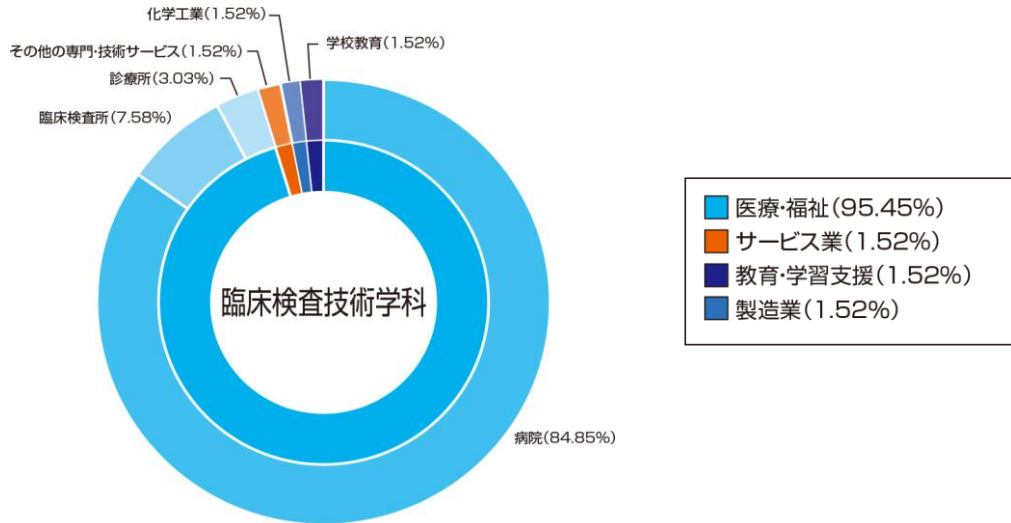
● 博士・修士学位授与数 (平成26年度)

平成27年3月31日現在

研究科・専攻等	学位授与数			
	修士	博士(獣医学)	博士(学術)	
獣医学研究科	獣医学専攻	-	1	-
	動物応用科学専攻	26	-	4
	麻布大学学位規則第3条第3項に該当する者※	-	1	0
	小計	26	2	4
環境保健学研究科	環境保健科学専攻	2	-	0
	環境衛生政策専攻	2	-	-
	麻布大学学位規則第3条第3項に該当する者※	-	-	2
	小計	4	-	2
合計	30	2	6	

※【麻布大学学位規則】第3条

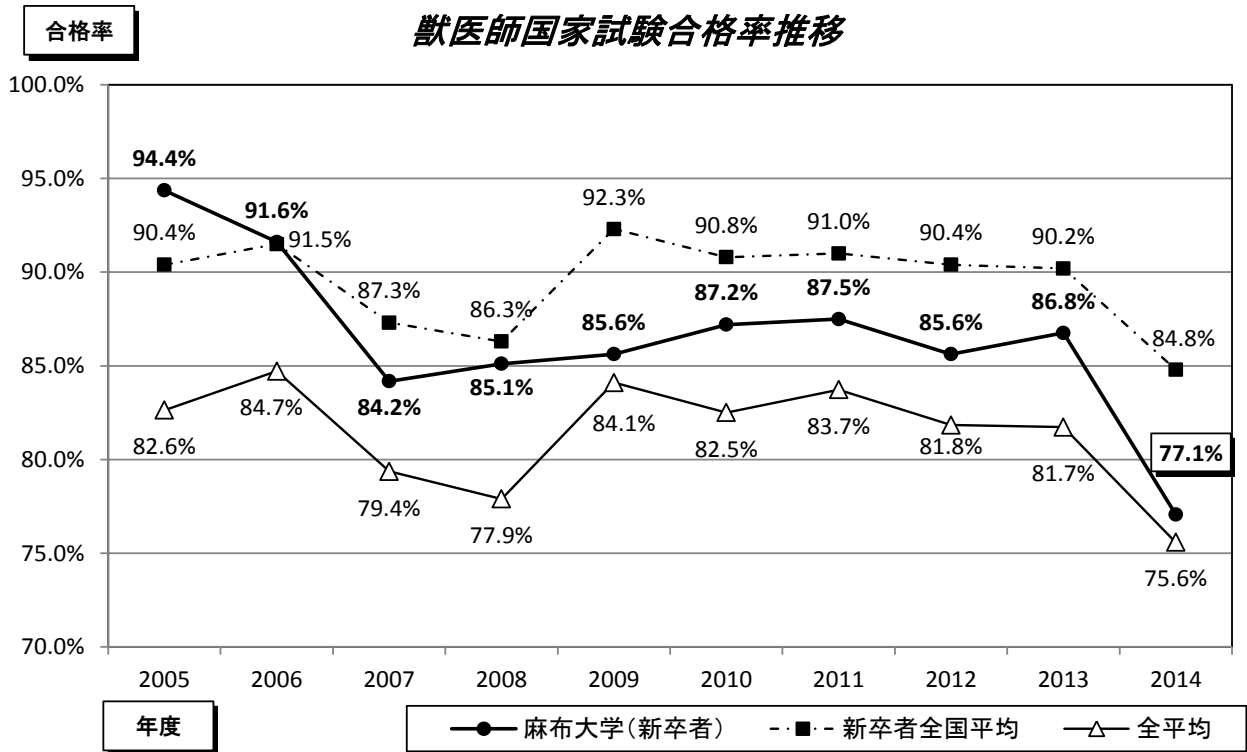
- 3 博士の学位は、本学大学院の博士課程を経ない者であっても、論文を提出して、その審査に合格し、かつ、前項に該当する者と同等以上の学力があることを確認された場合には授与することができる。



⑤ 国家試験合格率の推移

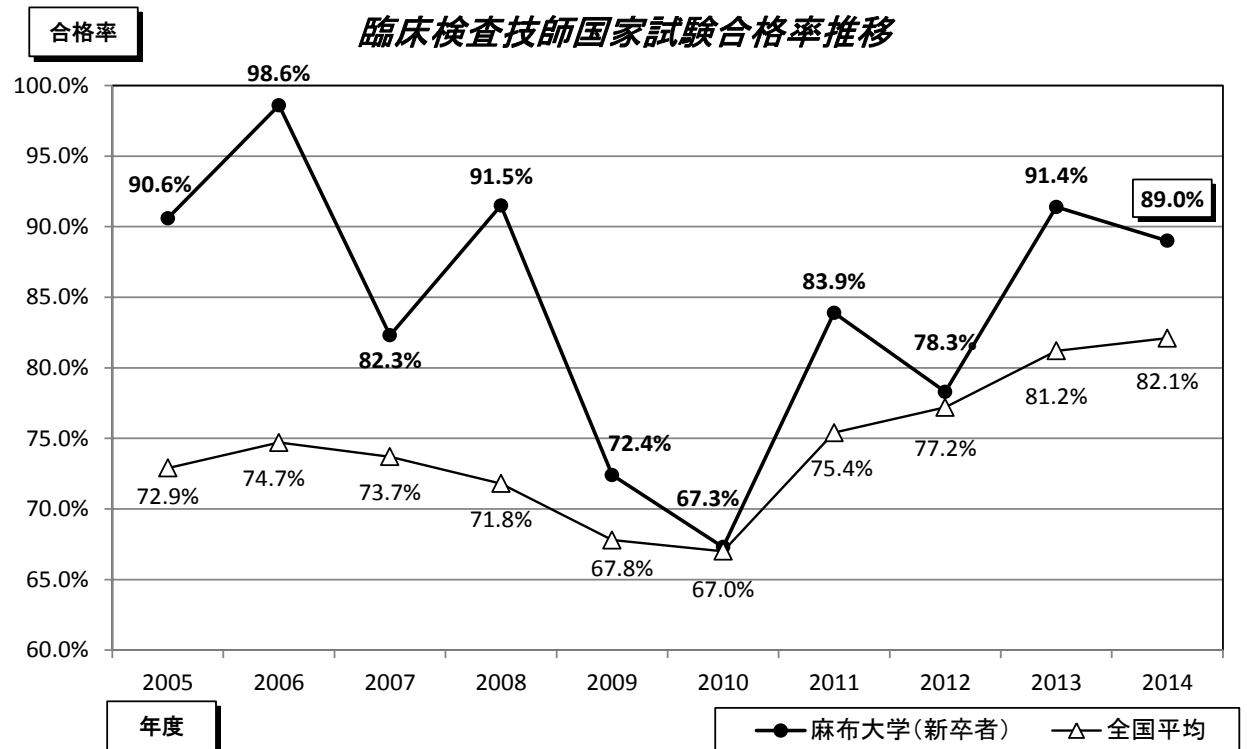
◆ 獣医師国家試験

(麻布大学 獣医学部獣医学科)



◆ 臨床検査技師国家試験

(麻布大学 環境保健学部衛生技術学科, 生命・環境科学部臨床検査技術学科)



※ 2011(平成23)年度受験者から生命・環境科学部 臨床検査技術学科入学者が受験

⑥退学者数・中退率・留年者数

◆ 麻布大学

平成27年5月1日現在

● 退学者数

(人)

学部		獣医学部									生命・環境科学部					
区分	学科	獣医学科			動物応用科学科			臨床検査技術学科			食品生命科学科			環境科学科		
年度		平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
1年次	男	1	1	4	4	4	0	0	1	1	5	1	6	5	7	7
	女	0	0	1	3	1	1	3	2	3	0	2	1	1	3	2
	計	1	1	5	7	5	1	3	3	4	5	3	7	6	10	9
2年次	男	1	2	0	2	0	0	5	0	1	0	2	0	2	2	6
	女	0	0	1	1	1	0	1	2	3	0	1	0	2	1	2
	計	1	2	1	3	1	0	6	2	4	0	3	0	4	3	8
3年次	男	1	2	0	0	1	0	0	1	0	1	1	2	0	0	1
	女	0	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	3	0	0	2	2	0	1	0	1	1	2	0	0	1
4年次	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	4
	女	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	4
5年次	男	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6年次	男	0	0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	0	0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計		5	6	8	10	8	3	9	6	8	6	7	10	12	15	22

● 中退率 (平成26年度)

学部・学科	中退率
学 獣医学科	0.5%
部 動物応用科学科	1.8%
境 臨床検査技術学科	2.5%
生 食品生命科学科	1.7%
科 環境科学科	2.6%

※ 中退率=平成27年5月1日現在での平成26年度(平成26年4月1日～平成27年3月31日)退学者数÷平成26年度在籍学生数(平成26年5月1日現在)×100

● 留年者数 (平成26年度)

(人)

学部・学科	留年者数
学 獣医学科	28
部 動物応用科学科	9
境 臨床検査技術学科	20
生 食品生命科学科	8
科 環境科学科	19

◆ 麻布大学大学院

平成27年5月1日現在

● 退学者数

(人)

研究科		獣医学研究科									環境保健学研究科								
区分	専攻	獣医学専攻博士課程			動物応用科学専攻博士前期課程			動物応用科学専攻博士後期課程			環境衛生政策専攻修士課程			環境保健科学専攻博士前期課程			環境保健科学専攻博士後期課程		
年度		平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
1年次	男	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	女	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
2年次	男	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3年次	男	0	0	0	—	—	—	0	0	0	—	—	—	—	—	—	0	0	0
	女	0	0	0	—	—	—	0	0	0	—	—	—	—	—	—	0	0	0
	計	0	0	0	—	—	—	0	0	0	—	—	—	—	—	—	0	0	0
4年次	男	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計		2	1	1	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0

● 中退率 (平成26年度)

研究科・専攻	中退率
研 獣医学専攻博士課程	11.8%
究 動物応用科学専攻 博士前期課程	0.0%
医 動物応用科学専攻 博士後期課程	0.0%
学 環境保健科学専攻 博士前期課程	0.0%
環 環境保健科学専攻 博士後期課程	0.0%
境 環境衛生政策専攻修士課程	0.0%

※ 中退率=平成27年5月1日現在での平成26年度(平成26年4月1日～平成27年3月31日)退学者数÷平成26年度在籍学生数(平成26年5月1日現在)×100

● 留年者数 (平成26年度)

(人)

研究科・専攻	留年者数
研 獣医学専攻博士課程	0
究 動物応用科学専攻 博士前期課程	1
医 動物応用科学専攻 博士後期課程	0
学 環境保健科学専攻 博士前期課程	0
環 環境保健科学専攻 博士後期課程	0
境 環境衛生政策専攻修士課程	0

⑦学習環境

平成26年5月1日現在

● キャンパス等

区分		敷地面積(㎡)
淵野辺キャンパス	神奈川県相模原市中央区淵野辺1-17-71	110,078.31
信濃研修場	長野県佐久市布施字御牧原15-156	4,339.30
敷地面積合計		114,417.61

● 建物

区分	建物名称	建物の主な内容	床面積(㎡)	構造・階建
淵野辺キャンパス 麻布大学	獣医学部棟	獣医学部実習室, 研究室, 実験サポート室, 共用機器室	19,348.37	鉄筋コンクリート・鉄骨造陸屋根7階建
	生命・環境科学部棟	生命・環境科学部実習室, 研究室, 高大共用講義室, 共用機器室, 自習室	1,032,325	鉄筋コンクリート・鉄骨造陸屋根6階建
	4号館	学生食堂, 留学生研修室	1,605.73	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建
	5号館	実習室, 標本室	2,656.39	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建地下1階
	6号館	研究室, 食肉加工場, 水生生物飼育室	2,685.03	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建
	7号館	研究室, 手術室, X線室	1,233.86	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建
	8号館	講義室, コンピュータ・LL教室, 百周年記念ホール, 事務局各課	6,387.84	鉄骨鉄筋コンクリート造亜鉛メッキ鋼板葺8階建
	9号館	メディアステーション, 講義室, 研究室	4,704.40	鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根4階建
	大教室		468.22	鉄筋コンクリート造陸屋根平家建
	生物科学総合研究所	事務室, 飼育室, 実験室	3,423.22	鉄筋コンクリート造陸屋根5階建
	本館	事務局各課, 学生相談室, 就職相談室, 会議室	1,656.95	鉄筋コンクリート造陸屋根2階建
	学術情報センター(図書館)	図書館	1,846.96	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建地下1階
	獣医臨床センター	附属動物病院, 小動物飼育施設, ハイテク・リサーチセンター	5,583.43	鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根地下1階付6階建
	コンパニオン・ドッグ・ラボラトリ	「動物トレーニング実習」を本格的に行う施設	214.11	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建
	教育用動物繋留施設		164.03	軽量鉄骨プレハブ造平家建
	学生ホール	生協, 部室	1,276.08	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建
	クラブハウス1	部室, 音楽練習場, 土俵, ボクシング練習場	729.75	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建
	クラブハウス2	部室, 多目的ルーム	207.36	鉄骨造鉄板葺2階建
	百十周年記念会館	学生食堂, 同窓会事務室, 会議室	764.01	鉄骨造ルーフィング葺2階建
	空手道場		197.55	軽量鉄骨プレハブ造平家建
	馬術部部室		99.00	軽量鉄骨プレハブ造2階建
	小動物舎1		280.50	鉄骨造陸屋根平家建
	小動物舎2	手術室, 飼育室	213.84	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
	鶏舎1		51.84	軽量鉄骨プレハブ造平家建
	鶏舎2		25.92	軽量鉄骨プレハブ造平家建
	厩舎		476.97	鉄骨造鉄板葺一部2階建
	厩舎(小)		18.90	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建
	豚舎		597.34	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建
	羊舎		40.71	軽量鉄骨プレハブ造平家建
	牛舎		728.72	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
	危険物倉庫		7.68	コンクリートブロック造波スレート葺平家建
	ボイラー室		49.20	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建(平家建)
	倉庫(守衛所横)		38.66	鉄筋コンクリート造陸屋根平家建
正門守衛所		28.57	鉄筋コンクリート造平家建	
東門守衛所		20.12	軽量鉄骨プレハブ造平家建	
特別高圧変電所		22,323.00	鉄骨造合金メッキ鋼板葺平家建	
床面積小計			1,112,479.26	

区分	建物名称	建物の主な内容	床面積(㎡)	構造・階建
淵野辺キャンパス	附属高等学校			
	高校1号棟	教室, 食堂, 売店	4,325.82	鉄筋コンクリート造陸屋根5階建
	高校2号棟	教室, 事務室	3,026.29	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建
	麻布獣医学園アリーナ		354,781	鉄骨鉄筋コンクリート造ステンレス鋼板葺2階建
	武道館		777.49	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建
	高校部室	部室	337.60	鉄骨造鉄板葺2階建
	高校倉庫		138.80	鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建
	総合グラウンド管理棟	体育教員室, 更衣室	222.31	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建
	総合グラウンド倉庫棟	倉庫	280.80	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建
	床面積小計		363,890.11	
信濃研修場	研究棟		559.54	鉄骨造ルーフィング葺2階建
	職員棟		165.62	木造ルーフィング葺平家建
	床面積小計		725.16	
床面積合計			1,477,094.53	

● 厚生補導施設等

施設等	概要
学生ホール	1階には談話室, シャワー室, 生協店舗(売店)等があり, 2階にはクラブ部室(25室)がある。学生は, 憩いとコミュニケーションの場として活用している。
クラブハウス1	学生ホールに隣接して建設しており, 1階には防音設備完備の音楽練習場, 弓道場, 相撲部土俵, ボクシング練習場があり, 2階には学生自治会及びクラブ部室(11室)がある。学生は, クラブ活動の拠点として大いに活用している。
クラブハウス2	クラブハウス1の北側に建設しており, 1階にはクラブ部室(4室), 2階には筋力トレーニングやミーティングといった様々な用途に利用可能な多目的ルーム(3室)がある。クラブハウス1と同様, 学生は, クラブ活動の拠点として大いに活用している。
麻布総合グラウンド	敷地面積は15,906㎡。各種球技(野球, サッカー, ラグビー等)及び陸上競技に使用できる総合グラウンドである。学生は, クラブ活動等で利用するほか, 大学祭などの各種イベントの会場として活用している。また, 附属高等学校では, 授業や部活動等で大いに利用している。
麻布総合グラウンドの管理棟・倉庫棟	麻布総合グラウンド西側に大学と附属高等学校の共同施設として建設。管理棟2階には, 多目的室(2室)があり, クラブハウス2と同様の設備がそろう, 筋力トレーニングやミーティング等に利用できる。倉庫棟には広い収納スペースがある。
4号館	1階には生協が運営するカフェテリア方式の学生食堂(300席)があり, 2~3階には教員室や留学生研修室等がある。学生は, 食堂利用のほか, 授業の合間の休憩, 自主学習やコミュニケーションの場として活用している。
百十周年記念会館	創立百十周年を記念し, 平成14年10月に竣工した。1階にはカフェテリア方式の食堂(150席)があり, 2階には多用途に利用できる会議室や麻布大学同窓会の事務室がある。
バーベキュー場	4号館横に設置しており, 学生はルールを厳守の上, 懇親の場として活用している。
ラウンジ	獣医学部棟1階の一部を, ラウンジとして開放している。学生は, 授業の合間の休憩や懇親の場として利用するほか, 放課後の自主学習の場としても活用している。
自習室	生命・環境科学部棟の自習室に加え, 獣医学部棟1階115室, 116室及び117室を学生用自習室として開放している。なお, 116室及び117室については, 11月初旬から2月下旬にかけて, 獣医師国家試験を控えた獣医学科6年次学生優先の自習室としている。
大学テニスコート	敷地面積は1,517.7㎡, 設置コートは2面。学生ホールの北側に設置しており, 学生は, クラブ活動等で利用している。
附属高等学校テニスコート	敷地面積は1,424.5㎡, 設置コートは2面。附属高等学校2号棟の北側に設置しており, 主に附属高等学校の授業やクラブ活動で利用される。
武道館	床面積は, 777.49㎡。1階には柔道場があり, 2階には剣道場がある。主に附属高等学校の授業やクラブ活動で利用されるほか, 大学の学生も, クラブ活動等で使用している。
附属高等学校食堂・売店	附属高等学校1号棟1階に設置しており, 食堂の収容数は120席である。また, 食堂の隣には生協が運営する売店を設置している。生徒等は, 昼食時に利用するほか, 憩いの場として活用している。
信濃研修場	昭和52年6月, 学生・生徒等の学外教育施設として開設した。研修棟には宿泊室(7室), 宿泊室兼研修室(1室), 研修室兼食堂があり, 職員棟には宿泊室(4室)及び応接室兼会議室(1室)がある。
カフェテリアさくら	創立125周年記念事業の一環として, 平成26年3月に竣工した学生食堂(214席)であり, 昼食のほかに朝食や午後の喫茶を利用することができる。また, 授乳室を設けており, 教職員や来客への福利厚生にも寄与している。

⑧ 学生納付金

◆ 麻布大学

● 平成20年度以降入学に係る学納金

(単位 円)

学部・学科・コース		年次	1年次		2年次以降		
			前期	後期	前期	後期	
獣医学部	獣医学科	入学金	250,000	—	—	—	
		施設設備費	200,000	200,000	200,000	200,000	
		授業料	625,000	625,000	625,000	625,000	
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000	
		教育充実費	150,000	150,000	150,000	150,000	
	合計	1,325,000	1,075,000	1,075,000	1,075,000		
	動物応用科学科	入学金	250,000	—	—	—	
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000	
		授業料	425,000	425,000	425,000	425,000	
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000	
教育充実費		50,000	50,000	50,000	50,000		
合計	975,000	725,000	675,000	675,000			
生命・環境科学部	臨床検査技術学科	入学金	250,000	—	—	—	
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000	
		授業料	425,000	425,000	425,000	425,000	
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000	
		教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000	
	合計	975,000	725,000	675,000	675,000		
	食品生命科学科	食の安全コース	入学金	250,000	—	—	—
			施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
			授業料	425,000	425,000	425,000	425,000
			実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000
			教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000
	合計	975,000	725,000	675,000	675,000		
	バイオ科学科	バイオ科学コース	入学金	250,000	—	—	—
			施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
			授業料	425,000	425,000	425,000	425,000
			実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000
			教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000
	合計	975,000	725,000	675,000	675,000		
	環境科学部	環境技術科	入学金	250,000	—	—	—
			施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
授業料			350,000	350,000	425,000	425,000	
実験実習費			—	—	100,000	100,000	
教育充実費			50,000	50,000	50,000	50,000	
合計		800,000	550,000	675,000	675,000		
環境と社会科		環境と社会コース	入学金	250,000	—	—	—
			施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
			授業料	350,000	350,000	350,000	350,000
			実験実習費	—	—	—	—
	教育充実費		50,000	50,000	50,000	50,000	
合計	800,000	550,000	500,000	500,000			

【注】 1 入学金は、入学年度のみ適用する。ただし、附属高等学校特別入学試験に合格して入学した場合の入学金は、免除とする。
 2 編入学者の初年度の学納金については、「2年次以降」の金額に入学金を加えた金額を適用する。

● 平成19年度以前入学に係る学納金

(単位 円)

学部・学科		年次	1年次		2年次以降	
			前期	後期	前期	後期
獣医学部	獣医学科	入学金	250,000	—	—	—
		施設設備費	200,000	200,000	200,000	200,000
		授業料	625,000	625,000	625,000	625,000
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000
		教育充実費	150,000	150,000	150,000	150,000
	合計	1,325,000	1,075,000	1,075,000	1,075,000	
	動物応用科学科	入学金	250,000	—	—	—
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
		授業料	425,000	425,000	425,000	425,000
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000
教育充実費		50,000	50,000	50,000	50,000	
合計	975,000	725,000	675,000	675,000		
環境保健学部	健康環境科学科	入学金	250,000	—	—	—
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
		授業料	425,000	425,000	425,000	425,000
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000
		教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000
	合計	975,000	725,000	675,000	675,000	
	衛生技術学科	入学金	250,000	—	—	—
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
		授業料	425,000	425,000	425,000	425,000
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000
		教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000
	合計	975,000	725,000	675,000	675,000	
	環境政策学科	入学金	250,000	—	—	—
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
		授業料	350,000	350,000	350,000	350,000
実験実習費		—	—	—	—	
教育充実費		50,000	50,000	50,000	50,000	
合計	800,000	550,000	500,000	500,000		

【注】 1 入学金は、入学年度のみ適用する。
 2 編入学者の初年度の学納金については、「2年次以降」の金額に入学金を加えた金額を適用する。

◆ 麻布大学大学院

(単位 円)

項目	区分 年度	動物応用科学専攻 博士前期課程		獣医学専攻博士課程・ 動物応用科学専攻博士後期課程		環境衛生政策専攻 (修士課程)		環境保健科学専攻 博士前期課程		環境保健科学専攻 博士後期課程	
		初年度	次年度以降	初年度	次年度以降	初年度	次年度以降	初年度	次年度以降	初年度	次年度以降
学納金	入学金	250,000	—	250,000	—	250,000	—	250,000	—	250,000	—
	授業料	600,000	600,000	600,000	600,000	500,000	500,000	600,000	600,000	600,000	600,000
	実験・実習費	200,000	200,000	200,000	200,000	—	—	200,000	200,000	200,000	200,000
	施設設備費	150,000	—	150,000	—	150,000	150,000	150,000	—	150,000	—
	合計	1,200,000	800,000	1,200,000	800,000	900,000	650,000	1,200,000	800,000	1,200,000	800,000

- 【注】 1 施設設備費は本学を卒業した者に限り免除とする。
2 本学の博士前期課程修了者が博士後期課程に入学した場合の入学金は免除する。

● 授業料の免除・徴収猶予

■ 麻布大学学則

第62条 経済的理由によって納付が困難であり、かつ学業が優秀と認める場合、その他やむを得ない事情があると認めた場合は、授業料・実験実習費・教育充実費及び施設設備費の全部若しくは一部を免除し、又は徴収を猶予することがある。

■ 麻布大学大学院学則

第19条の2 経済的理由によって学納金納付が困難であり、かつ学業が優秀と認めた場合又はその他やむを得ない事情があると認めた場合は、授業料・実験実習費及び施設設備費の全部若しくは一部を免除し、又は徴収を猶予することがある。

⑨ 学生支援と奨学金

● 学生支援体制（麻布大学・麻布大学大学院）

支援内容	支援組織等	場所	具体的な支援内容等
就職支援・進路相談	学生支援課	8号館1階	進路・就職についての相談、斡旋、就職相談室の受付、就職に必要な事務手続、キャリア形成支援、インターンシップ、就職活動関係講座等の開催、企業等説明会の開催など
	就職閲覧室	8号館1階	就職及び進学に関する資料の展示・配付、求人情報の提供、就職情報検索専用パソコンの設置など
	キャリア・就職相談室	本館2階	相談員による就職相談、提出書類の添削、模擬面接など
教育支援・履修支援	附属教育・推進センター	8号館1階	リメディアル授業の開講、チューターによる個別指導、履修相談、学生による授業評価の実施など
	学生支援課	8号館1階	入学前教育、教職課程、各種資格、単位互換、転学部・転学科、学外実習に関する事。その他、履修・成績に関する教務全般、履修相談、休学、退学、学生の個人情報の変更に関する事
研究支援	研究推進・支援本部 学術支援課	本館2階	知的財産権等研究成果及び競争的資金を含む外部資金（共同研究、受託研究など）に関する事等の研究活動支援全般
生活支援	学生支援課	8号館1階	学生生活相談、各種証明書の発行、自転車・ロッカーの登録、課外活動支援など
経済支援	学生支援課	8号館1階	各種奨学金の案内、学納金の徴収猶予・免除等の相談、アルバイト求人案内など
保健・衛生	健康管理センター	8号館1階	健康相談、応急処置、定期健康診断、健康診断証明書の発行、検査など
メンタルヘルス	学生相談室	本館2階	カウンセラー（学外の臨床心理士等）による相談
ハラスメント防止	ハラスメント防止委員会	—	セクシュアル・ハラスメント等の人権侵害の防止と被害からの救済・回復、啓発活動
	セクシュアル・ハラスメント等相談員	—	学内相談員（教職員）によるハラスメント相談
	ハラスメント相談室	本館2階	学外相談員によるハラスメント相談

◇ クラス担任 ◇

麻布大学では、学生の最も身近な相談相手として、各学科各年次に2～3人の「クラス担任」を置いている。クラス担任は、クラス全体の問題を始め、学生生活で直面する学習上の問題、健康、生活、経済面などの個人的な悩みについても相談に応じ、助言等を行っている。

● 奨学金

種類	貸与の種類	対象・条件	金額
麻布大学奨学金	無利子	なし	学納金相当額
麻布大学父母会奨学金	無利子	なし	学納金相当額
麻布大学同窓会奨学金	無利子	なし	学納金半期相当額
日本学生支援機構（JASSO）	第1種	学部学生	
		自宅通学者	54,000円又は30,000円より選択（月額）
		自宅外通学者	64,000円又は30,000円より選択（月額）
		大学院学生（修士・博士前期）	50,000円又は88,000円より選択（月額）
	大学院学生（博士後期）	80,000円又は122,000円より選択（月額）	
	第2種	有利子	学部学生
		大学院学生（修士・博士前期・博士後期）	50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円より選択（月額）

● 平成26年度 各種奨学金貸与状況

平成27年3月31日現在

■ 麻布大学

区分		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	小計	合計
麻布大学奨学金		2	1	1	4	0	0		8
麻布大学父母会奨学金		2	0	0	1	0	0		3
麻布大学同窓会奨学金		0	0	0	0	0	0		0
日本学生支援機構奨学金(JASSO)		240	217	233	243	63	65		1,061
獣医学科 (学生数893人)	第1種	26	13	34	27	25	19	144	385
	第2種	30	37	42	48	38	46	241	
	(併用者)	(11)	(4)	(12)	(16)	(10)	(7)	(60)	
動物応用科学科 (学生数559人)	第1種	15	17	17	19	-	-	68	208
	第2種	45	29	30	36	-	-	140	
	(併用者)	(8)	(4)	(2)	(6)	-	-	(20)	
臨床検査技術学科 (学生数366人)	第1種	11	10	6	7	-	-	34	159
	第2種	38	28	30	29	-	-	125	
	(併用者)	(4)	(2)	(4)	(1)	-	-	(11)	
食品生命科学科 (学生数361人)	第1種	10	10	9	8	-	-	37	137
	第2種	28	20	26	26	-	-	100	
	(併用者)	(1)	(3)	(3)	(2)	-	-	(9)	
環境科学科 (学生数428人)	第1種	8	13	8	11	-	-	40	172
	第2種	29	40	31	32	-	-	132	
	(併用者)	(1)	(4)	(4)	(2)	-	-	(11)	
合計		244	218	234	248	63	65	-	1,072

※ 日本学生支援機構奨学金(JASSO)の併用者は、内数

■ 麻布大学大学院

区分		1年次	2年次	3年次	4年次	小計	合計
日本学生支援機構奨学金(JASSO)							
獣医学専攻 博士課程	第1種	0	2	4	0	6	6
	第2種	0	0	0	0	0	
	(併用者)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
動物応用科学専攻 博士課程前期	第1種	10	10	-	-	20	22
	第2種	1	1	-	-	2	
	(併用者)	(1)	(1)	-	-	(2)	
動物応用科学専攻 博士課程後期	第1種	0	2	0	-	2	2
	第2種	0	0	0	-	0	
	(併用者)	(0)	(0)	(0)	-	(0)	
環境保健科学専攻 博士課程前期	第1種	1	0	-	-	1	1
	第2種	0	0	-	-	0	
	(併用者)	(0)	(0)	-	-	(0)	
環境保健科学専攻 博士課程後期	第1種	0	0	0	-	0	0
	第2種	0	0	0	-	0	
	(併用者)	(0)	(0)	(0)	-	(0)	
環境衛生政策専攻 修士課程	第1種	0	0	-	-	0	1
	第2種	0	1	-	-	1	
	(併用者)	(0)	(0)	-	-	(0)	
合計		12	16	4	0	-	32

※ 日本学生支援機構奨学金(JASSO)の併用者は、内数

⑩ 学生表彰制度

◆ 麻布大学

■ 学業成績優秀者

年度始めに、各学科から年次ごとに原則として3人(獣医学科及び動物応用科学科は4人)の学業成績及び人物の優秀な者を表彰する。表彰式は6月に行われ、賞状・副賞及び奨学金が授与される。なお、この賞は複数回受賞することができる。また、卒業認定時に、越智賞受賞者を除く各学科から原則として3人(獣医学科及び動物応用科学科は4人)の学業成績及び人物の優秀な者を表彰する。表彰式は卒業式に行われ、賞状及び副賞が授与される。

■ 越智賞

麻布獣医学園越智基金により、昭和63年度から設けられた制度で、毎年度の卒業生で最も学業成績及び人物が優秀な者に対して、各学科1人を表彰する。表彰は、卒業式に行われ、賞状と副賞が授与される。

■ 増井光子賞

麻布獣医学園増井光子基金により、平成24年度から設けられた制度で、学部学生及び大学院学生で、専門領域において、各種の受賞など学会等で高く評価され、今後の可能性が期待されると認められる者及び社会活動等で顕著な功績を上げた者を表彰する。表彰式は6月に行われ、賞状と副賞が授与される。(授与者数:若干名)

■ 学生功労賞

本学の学生及び団体が、スポーツ若しくは文化活動において、顕著な業績を上げ、又は社会に対して模範となることを行い、もって本学の名誉を著しく高めた場合に表彰する。表彰式は次年度6月に行われることとなり、賞状と副賞が授与される。(年間表彰予定数:個人5人, 3団体)

■ 日本獣医師会優等卒業生

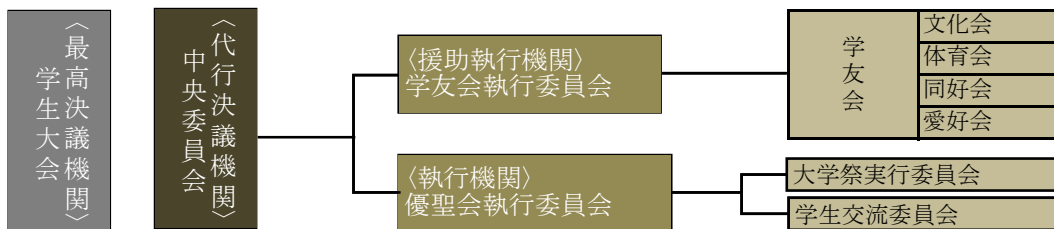
日本獣医師会より、獣医学教育の振興のため、獣医学科において最も優秀な卒業生1人に対し、優等卒業生の表彰をする。表彰式は卒業式に行われ、賞状と副賞が授与される。

⑪ 学生の課外活動の状況

● 学生団体・生徒会

■ 麻布大学全学学生自治会

麻布大学学部学生全員(獣医学科5, 6年次を除く。)で構成し、全員の民主的精神、自主的活動により、大学生生活の維持充実を図り、学生自治の健全化に努め、学風・環境の刷新に資することを目的に活動している。主な活動内容としては、学生大会等で学生から提案された要望などについて、大学と話し合いを行い、学生生活がより充実したものになるように努めているほか、「大学祭」や「学生交流週間」に際し、学生自治会中央委員会が中心になって実行委員会を組織して取り組んでいる。



■ 獣医学科5・6年生会

全学学生自治会とは独立した固有の自治団体として、獣医学科5・6年次の学生によって、中央委員会、国家試験対策委員会、アルバム委員会等を構成し、獣医師国家試験対策、獣医学科卒業記念アルバム作製等を中心とした活動を行っている。

■ 謝恩会実行委員会

獣医学科、動物応用科学科、生命・環境科学部の最終年次の学生で構成され、毎年3月に実施されるそれぞれの謝恩会の企画・運営を行う。

■ 卒業アルバム委員会

獣医学科、動物応用科学科、生命・環境科学部の最終年次の学生で構成され、卒業アルバムの発行に向けて外部業者と共同作業で作製・編集に関する活動を行う。

⑫ 国際交流

平成27年5月1日現在

● 学術交流協定校・機関

■ 学術交流協定校・機関一覧

	名称	国名	協定締結年	協定形態
1	アスンシオン大学	パラグアイ共和国	昭和61年	大学間
2	ペンシルヴァニア大学	アメリカ合衆国	平成2年	獣医学部間
3	国立中興大学	台湾	平成9年	大学間
4	全北大学校	大韓民国	平成16年	大学間
5	吉林農業大学	中華人民共和国	平成17年	大学間
6	北京農学院	中華人民共和国	平成18年	大学間
7	チェンマイ大学	タイ王国	平成19年	大学間
8	モンゴル大学	モンゴル国	平成20年	大学間
9	モンゴル科学アカデミー	モンゴル国	平成20年	機関間
10	フスタイ国立公園	モンゴル国	平成20年	機関間
11	モンゴル自然史博物館	モンゴル国	平成20年	機関間
12	国立台湾大学	台湾	平成25年	獣医学部間

■ 学術交流準協定校

	名称	国名	協定締結年	協定形態
1	エディンバラ大学	スコットランド(英国)	平成20年	大学—獣医学部間

● 海外派遣学生数（平成26年度）

(人)

学部・研究科等		海外派遣学生数
学部 医	獣医学科	18
	動物応用科学科	4
生命・ 科学・ 環境	臨床検査技術学科	0
	食品生命科学科	0
	環境科学科	0
学部計		22
研究 医 科学	獣医学専攻博士課程	0
	動物応用科学専攻博士前期課程	0
	動物応用科学専攻博士後期課程	0
環 境 研 究 保 健 学	環境保健科学専攻博士前期課程	0
	環境保健科学専攻博士後期課程	0
	環境衛生政策専攻修士課程	0
研究科計		0
合計		22

※ 学術交流協定校への派遣のみを対象としている。

⑬ 大学間等の連携

連携機関		連携内容	協定締結年	備考
1	放送大学	単位互換	平成6年	
—	首都圏西部大学単位互換協定会	単位互換	平成10年	平成26年3月1日付け廃止
2	神奈川県内の大学間における学術交流協定 (県内26の大学キャンパスにおける大学院単位互換)	単位互換	平成13年	
3	神奈川県教育委員会	部活動支援学生ボランティア事業	平成17年	
4	相模原市立図書館 (市内7大学・短期大学)	相互協力	平成17年	
5	東京都町田市(町田市学長懇談会)	包括協定	平成18年	
6	公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム	地域貢献・生涯学習	平成19年	
7	公益財団法人日本盲導犬協会	包括協定	平成20年	
8	一般財団法人C.W.ニコル・アフアの森財団	学術交流	平成22年	
9	かながわ産学公連携推進協議会	産学官連携	平成22年	
10	日本水産株式会社	寄附講座	平成23年	
11	神奈川県(県及び県内農学系4大学)	都市農業振興	平成24年	
12	相模原市教育委員会, 座間市教育委員会	市民大学	平成25年	
13	一般社団法人日本養豚協会	包括協定	平成25年	
14	一般財団法人生物科学安全研究所	包括協定	平成25年	
15	特定非営利活動法人 緑のダム北相模	包括協定	平成25年	
16	大学図書館協力契約 (全国大学図書館)	資料複写	平成25年	
17	独立行政法人地域医療機能推進機構相模野病院	包括協定	平成25年	
18	株式会社日本産業動物管理センター	包括協定	平成25年	
19	愛媛県	就職活動支援	平成26年	
20	相模原市	災害時の動物救護活動	平成26年	
21	神奈川県衛生研究所	連携協力	平成26年	
22	一般社団法人東京オリンピック・パラリンピック 競技大会組織委員会	連携協力	平成26年	平成32年12月31日まで
23	相模原市	包括協定	平成26年	
24	一般社団法人日本養豚開業獣医師協会	包括協定	平成26年	
25	横浜市教育委員会	教員養成の連携・協働	平成27年	

⑭ 高大連携協定校

協定校		連携内容	協定締結年	備考
1	神奈川県立座間高等学校	【大学側】 聴講生徒・研究室体験生徒の受入れ 大学教員による高校への出張講義 【高校側】 教育実習生の受入れ 【双方】 教育についての情報交換及び交流 その他双方が協議した合意事項	平成15年	
2	神奈川県立城山高等学校		平成15年	
3	神奈川県立麻溝台高等学校		平成16年	
4	神奈川県立相原高等学校		平成16年	
5	神奈川県立川崎工科高等学校		平成22年	
6	神奈川県立大和東高等学校		平成22年	
7	神奈川県立相模原高等学校		平成23年	

(3) 研究に関する情報

① 競争的資金等受入状況（平成26年度）

● 文部科学省及び厚生労働省 科学研究費補助金 ※

交付元	研究種目	件数(件)		交付金額(千円)			
				直接経費	間接経費	計	
文部科学省	新学術領域研究	新規	0	0	0	0	
		継続	2	17,000	5,100	22,100	
	基盤研究(A) 海外	新規	0	0	0	0	
		継続	0	0	0	0	
	基盤研究(A)	新規	0	0	0	0	
		継続	1	7,500	2,250	9,750	
	基盤研究(B)	新規	1	3,400	1,020	4,420	
		継続	1	2,600	780	3,380	
	基盤研究(C)	新規	5	7,700	2,310	10,010	
		継続	22	23,027	6,908	29,935	
	挑戦的萌芽研究	新規	0	0	0	0	
		継続	6	6,500	1,950	8,450	
	若手研究(A)	新規	0	0	0	0	
		継続	0	0	0	0	
	若手研究(B)	新規	1	700	210	910	
		継続	1	1,300	390	1,690	
	奨励研究	新規	0	0	0	0	
		継続	0	0	0	0	
	特別研究員奨励費	新規	0	0	0	0	
		継続	2	2,000	330	2,330	
小計		新規	7	11,800	3,540	15,340	
		継続	35	59,927	17,708	77,635	
厚生労働省	健康安全・危機管理 対策総合研究事業	新規	0	0	0	0	
		継続	0	0	0	0	
	小計		新規	0	0	0	0
			継続	0	0	0	0
合計			42	71,727	21,248	92,975	

※本学教員等が「研究代表者」となっているもの。

● その他の競争的資金等

交付元/研究種目		件数(件)		受入額(千円)
文部科学省 (独立行政法人科学技術振興機構含む)	獣医学部	1		9,151
	生命・環境科学部	2		
経済産業省	獣医学部	4		5,414
農林水産省	獣医学部	2		1,676
厚生労働省	獣医学部	1		10,100
	生命・環境科学部	2		
自治体	沖縄県 平成25年度 バイオ産業活性化支援事 業補助金	獣医学部	1	2,160
受入金額合計(千円)				28,501

② 学内競争的資金の状況（平成26年度）

学内競争的資金	件数	金額(千円)	
大学院整備重点化経費	獣医学研究科	16	10,600
	環境保健学研究科	5	3,200
知財展開研究経費	獣医学部	4	6,700
若手育成研究経費	獣医学部	2	3,000

③ 知的財産データ ※

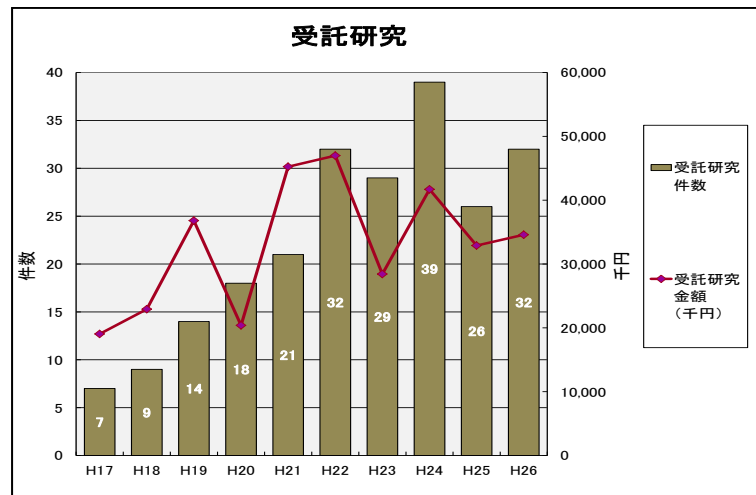
年度 出願・登録	平成26 年度	平成25 年度	平成24 年度	平成23 年度	平成22 年度	平成21 年度	平成20 年度	平成19 年度	平成18 年度	平成17 年度	合計
国内特許出願	5	7	4	9	3	3	5	4	2	6	48
海外特許出願	6	5	4	3	2	0	2	5	3	0	30
国内外審査請求	4	1	3	4	2	2	3	1	0	1	21
国内特許登録	3	0	1	0	0	0	0	0	1	0	5
特許登録	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
商標登録	1	0	0	0	0	0	2	0	1	2	6
技術移転(ライセンス, 譲渡等)	4	3	4	5	0	2	1	0	0	0	19

※ 平成17年度～平成26年度の職務発明を対象とする。

④ 受託研究等の受入状況 (平成17年度～平成26年度までの推移)

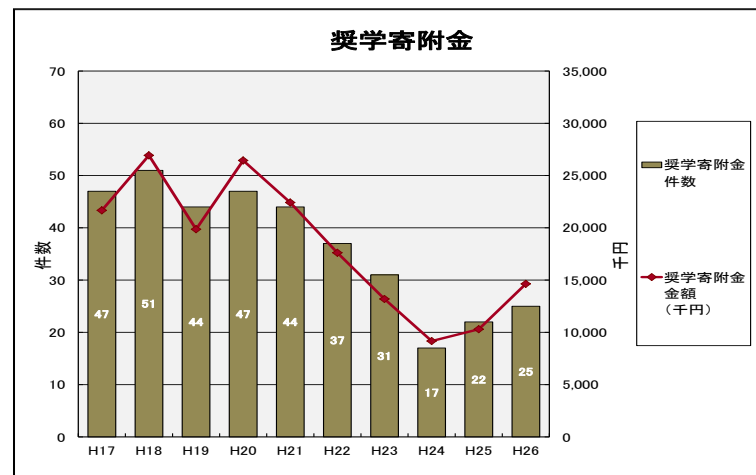
● 受託研究

年度	金額(千円)	件数
17	19,045	7
18	22,936	9
19	36,799	14
20	20,386	18
21	45,243	21
22	46,989	32
23	28,426	29
24	41,697	39
25	32,889	26
26	34,594	32



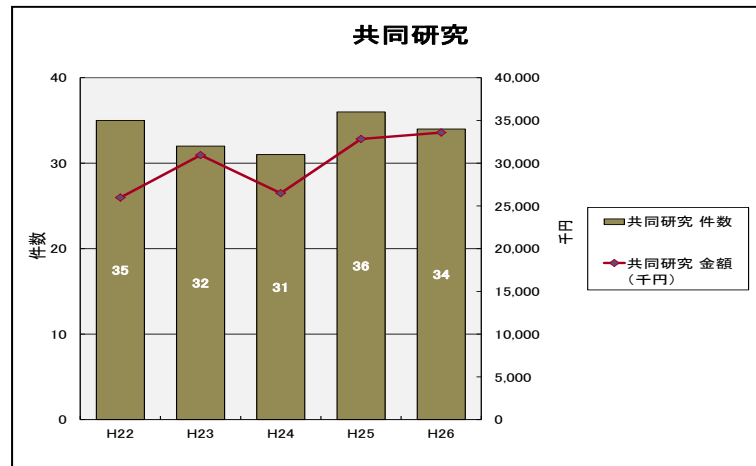
● 奨学寄附金

年度	金額(千円)	件数
17	21,665	47
18	26,932	51
19	19,864	44
20	26,445	47
21	22,421	44
22	17,612	37
23	13,192	31
24	9,165	17
25	10,295	22
26	14,639	25



● 共同研究

年度	金額(千円)	件数
22	25,979	35
23	30,947	32
24	26,489	31
25	32,830	36
26	33,583	34

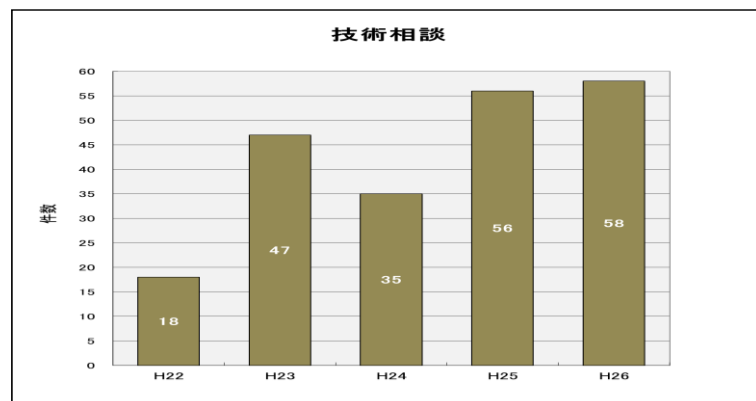


● 寄附講座

年度	金額(千円)	件数
25	20,000	1(継続)
26	10,500	1(継続)

● 技術相談

年度	件数
22	18
23	47
24	35
25	56
26	58



※件数及び金額は、契約した年度をもって記載した。

(4) 麻布大学附属高等学校に関する情報

(麻布大学附属瀧野辺高等学校は、平成26年4月1日から「麻布大学附属高等学校」に名称変更)

① 教育理念

夢を語り、学問を追究・実践し、誠実なる校風の基、平和社会建設に貢献する。

② 教育方針

「未来を拓く力の育成」

高校の3年間は、人生の中でも最も多感で、社会人として必要な人格形成に重要な意味をもつ期間と捉え、生徒は、誠実な校風のもと、学業、部活等とともに仲間と学びあうことを通じて、「自己を知り、自らを磨く」ことにより、「自身の未来を拓く力(自らの進路をみつめ、具現化する学力的、人格的素養)」を育む。

③ 学校教育目標

- 個性を伸ばし、生徒一人ひとりの進路に応じた確かな学力の定着(学力の向上)
- 基本的な生活習慣(あいさつ・時間厳守・マナーやルールの尊重)を育み、国際化の社会に対応できる能力(情報発信力、コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力など)の育成(生きる力)
- 自ら課題をみつけ、自ら考え解決をめざす能力の養成(生きる力)
- 多様な価値観を認め合い、他者を思いやる心の育成(命の大切さ)
- あらゆる生命や自然環境を尊重する精神の涵養(命の大切さ)

④ 教職員数

平成26年5月1日現在

	校長	教頭	教諭	契約講師	非常勤講師	専任職員	合計 (人)
教職員数	1	1	32	2	25	5	66

⑤ コース・クラス別生徒数及び必要単位修得数

平成26年5月1日現在

学年	コース・クラス	組	生徒数(人)	必修科目	選択必修科目	ホームルーム活動	単位数合計
1年	一般コース	-	-	32	0	1	33
	進学クラス	A	38				
		B	38				
		C	39				
		D	39				
		E	39				
		F	39				
		G	39				
	特進クラス	H	39				
	I	39					
	生徒数小計(人)		349				
2年	一般・理系コース	-	-	25	7	1	33
	特進クラス	A	35				
	進学クラス	B	33				
		C	34				
		D	34				
	一般・文系コース	-	-	21	11	1	31
	特進クラス	E	35				
	進学クラス	F	31				
		G	32				
体育系コース	H	21	28	2	1	31	
	生徒数小計(人)		255				
3年	一般・理系コース	-	-	15	15	1	31
	麻布大・進学クラス	A	37				
		B	37				
	理系クラス	C	29				
	一般・文系コース	-	-	22	8	1	29
	進学クラス	D	34				
	文系クラス	E	26				
体育系コース	F	26	26	2	1	29	
	生徒数小計(人)		189				
	生徒数合計(人)		793				

※平成24年度入学者から教育課程を変更。

⑥ 学納金

(単位 円)

年度		初年度	次年度以降
項目			
学納金	入学金	200,000	—
	授業料	396,000	396,000
	教材充実料	24,000	24,000
	施設設備資金	200,000	—
	合計	820,000	420,000

● 授業料の免除・徴収猶予

■ 麻布大学附属高等学校学則

第25条の2 本校は、体育系コースに有為な人材確保と育成に資することを目的として、優秀であると認められた場合は、授業料及び入学金を免除することがある。

■ 麻布大学附属高等学校普通科体育系コース規則

第7条 学則第25条の2により、本コースの奨学生として決定され、本校に入学する者について授業料及び入学金を免除することができる。

⑦ 奨学金

種類	貸与・給付の別	対象・条件	金額	
麻布大学附属高等学校普通科体育系コース奨学生	給付(免除)	普通科体育系コースに入学を希望する者で中学校在学中におけるクラブ活動で一定の成績を修めた者	授業料相当額(3年間) 入学金相当額	
麻布大学附属高等学校成績優秀者奨学金	給付	成績優良であり出席は常に品行方正で他の模範になる者	授業料相当額給付(全部又は一部)	
高等学校等就学支援金(国の制度)	給付	高等学校等在学者(2,3年生全員) 保護者の基準税額(年額)市区町村課税所属割額が304,200円未満の在学者(1年生)	月額9,900円(年額118,800円) 加算支給の場合あり	
神奈川県	私立高等学校等生徒学費補助金	給付	神奈川県内の私立の高等学校等在学者で、生徒・保護者が共に神奈川県在住であり、保護者の住民税の内、市町村民税所得割額が一定の基準を満たす場合	入学金 99,000円 授業料(年額) 74,400円～182,400円 (市町村民税所得割額等の基準により異なる。)
	私立学校生徒学費緊急支援補助金	給付	神奈川県内の私立の小・中学校、高等学校等在学者で、生徒・保護者が共に神奈川県在住であり、保護者の前年4月1日以降に生じた会社都合による退職、倒産、死亡、離婚等により、家計が急変して当年中の所得金額が一定の所得基準に該当する場合	高等学校等の授業料(年額) 59,400円又は118,800円(所得により異なる。)
	高等学校奨学金	貸与(無利子)	神奈川県在住で、県内の高等学校等在学者又は保護者が神奈川県在住で、高等学校等在学者収入要件及び成績要件を満たす者	私立 30,000円, 40,000円より選択(月額)
	神奈川県高校生等奨学給付金	給付	生活保護受給世帯及び保護者全員の前年度市町村民税所得割が非課税である者で保護者が神奈川県在住の在学者 高等学校等就学支援金の受給資格の認定を受けている者(1年生)	生活保護世帯 52,600円 市町村民税取得割非課税世帯 38,000円～138,000円 (世帯の家族構成により異なる。)
東京都私学財団	私立高等学校等授業料軽減助成	給付	生徒・保護者が共に東京都域外にある私立の高等学校等に在学する者で、所得等が一定の基準を満たす場合	授業料(年額) 88,000円～191,400円 (所得等の基準により異なる。)
	私立高等学校等奨学給付金	給付	保護者が東京都内に在住し、私立高等学校在学者生活保護受給世帯及び住民税が非課税又は均等割のみの世帯(1年生)	生活保護世帯 52,600円 住民税が非課税又は均等割のみの世帯 38,000円～138,000円 (世帯の家族構成により異なる。)
	東京都育英資金	貸与(無利子)	生徒・保護者が共に東京都域外に在学する者で、経済的理由により修学が困難であること等	私立高等学校 35,000円(月額)

● 奨学金貸与・給付者数

(人)

平成27年3月31日現在

区分	1年次	2年次	3年次	小計	合計
麻布大学附属高等学校普通科体育系コース奨学生	—	4	3	—	7
麻布大学附属高等学校成績優秀者奨学金	—	6	5	—	11
神奈川県					
私立高等学校等生徒学費補助金	130	65	55	250	294
私立学校生徒学費緊急支援補助金	1			1	
高等学校奨学金	6	5	7	18	
高校生奨学給付金	25			25	
東京都私学財団					
私立高等学校等授業料軽減助成	32	22	15	69	71
東京都育英資金	1	1		2	
合計	195	103	85	—	383

⑧ 生徒表彰

■ 成績優等賞

各学年で教科・科目の成績が優秀な者で、出席は常にして品行方正で他の模範たるものを表彰する。
特典として、2・3学年の生徒は、授業料が免除される。(学年で各3人)
また、卒業時には、越智賞(1人)及び竹岸・越智賞(6人程度)を授与することがある。

■ 1か年精勤賞

欠席1日以内の者で、欠課時数が7時間以内の者を表彰する。

■ 3か年精勤賞

各学年間で精皆勤の者を表彰する。

■ 皆勤賞(1か年・3か年)

各学年間欠席・遅刻・早退・欠課が皆無の者を、1・2学年にあつては学年末に、3学年は卒業式に表彰する。
なお、3か年皆勤者には、特典として卒業時に記念品が授与される。

■ 特別功労賞

学校の名譽を著しく高めた生徒に対して授与する。

- (1) 運動部・・・関東大会・全国大会・国体・国際試合等の代表となった個人及びチーム
- (2) 文化部・・・研究、作品、発表等で優秀であり本校の名譽を著しく高めた者
- (3) 読書感想文等のコンクールで優秀であり本校の名譽を著しく高めた者
- (4) 人命救助等で善行賞に相当する榮譽又は評価を受けた者
- (5) その他のもので、選考委員会で選出された者
尚、選考委員会の座長は教頭とし、メンバーは学年主任・生徒会指導部長・当該クラブ顧問・事務長・その他座長が特に必要と認めた人員を持って充てる。

⑨ 平成26年度卒業生数及び進路状況

平成27年5月1日現在

(人)

	卒業生数	就職	進学						その他 (浪人等)
			麻布大学	国立大学	私立大学	短期大学	専門学校・各種学校	その他(留学等)	
一般コース	162	0	38	1	80	6	24	1	12
体育系コース	26	1	0	0	22	0	3	0	0
合計	188	1	38	1	102	6	27	1	12

⑩ 平成26年度指定校実績

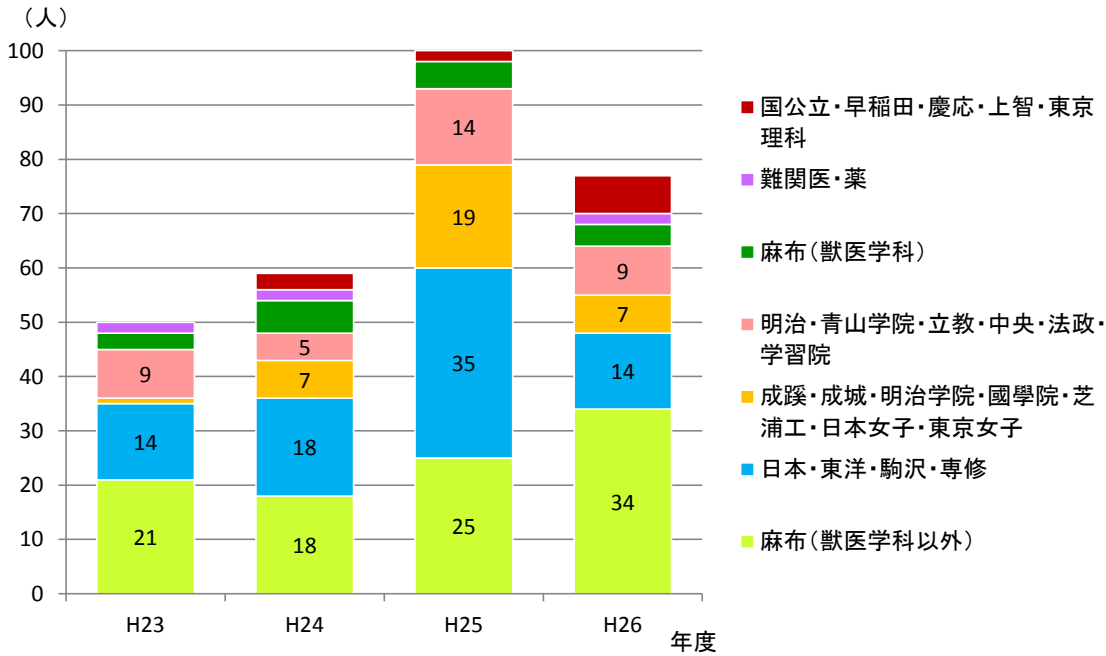
平成27年5月1日現在

(人)

	進学者数	指定校による 進学者
一般コース	149	50
体育系コース	25	8
合計	174	58

※ 東京理科大学、青山学院大学、成城大学、武蔵野大学、日本大学、日本獣医生命科学大学、北里大学、玉川大学、東京農業大学、東京都市大学、神奈川大学、その他100以上の大学の指定校推薦を実施。

⑪ 難関大学合格人数の推移



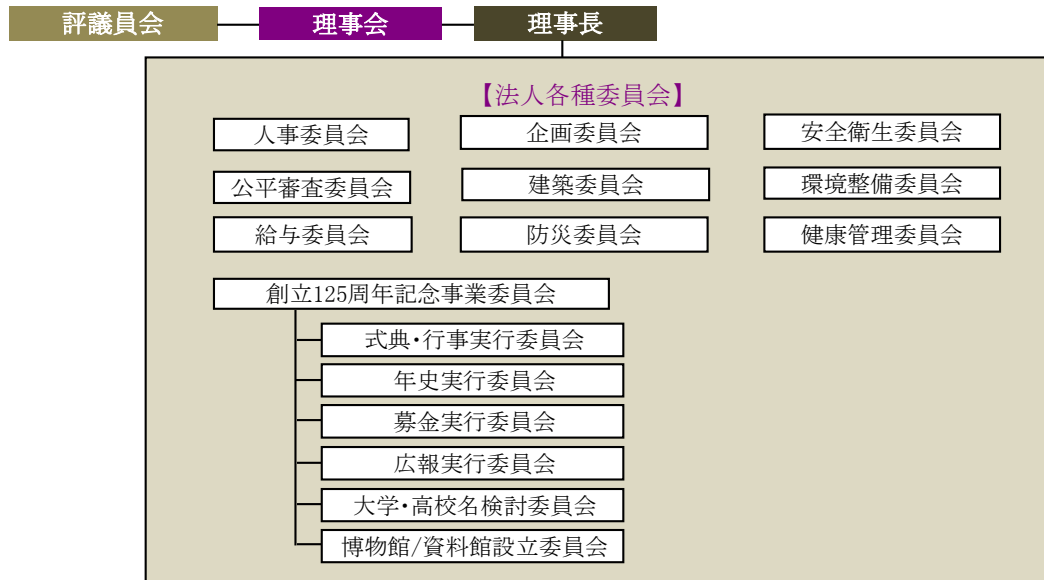
⑫ 平成27年度入学者選抜結果

平成27年5月1日現在
(人)

課程等	区分	募集人員	平成27年度									平成26年度			平成25年度			
			志願者			受験者			合格者			入学者			志願者	入学者		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	計	計		
全 日 制	推薦入試	70	82	57	139	82	57	139	82	57	139	82	57	139	121	121	113	113
	一般入試 A	単願	78	24	102	78	24	102	78	24	102	78	24	102	82	82	88	88
		併願	388	424	812	388	423	811	388	423	811	84	101	185	873	131	554	50
		一般 (オープン)	20	8	28	20	8	28	0	1	1	0	0	0	22	11	17	8
普 通 科	入一 試般 併願 B	234	346	580	234	346	580	234	346	580	37	42	79	-	-	-	-	
	二次試験(オープン)	若干名	3	4	7	3	4	7	2	1	3	2	1	3	5	4	4	2
	一般・二次計		723	806	1,529	723	805	1,528	702	795	1,497	201	168	369	982	228	663	148
	合計	258	805	863	1,668	805	862	1,667	784	852	1,636	283	225	508	1,103	349	776	261

3. 管理運営の概要

(1) 学園運営に係る会議等



(2) 会議等の開催状況

① 理事会

月 日	会議等	議 事 内 容
4月22日	第1回 理事会	<p>I 審議事項</p> <p>1) 麻布大学長の任命について</p> <p>2) その他</p> <p>II 報告事項</p> <p>1) 職員の人事異動について</p> <p>2) 麻布大学附属高等学校長の人事について</p> <p>3) 平成 25 年度麻布大学・大学院及び附属淵野辺高等学校の卒業生数及び修了者数について</p> <p>4) 平成 26 年度麻布大学・大学院及び附属高等学校の入学生数について</p> <p>5) 創立 125 周年記念事業 実行委員会報告について</p> <p>6) 「麻布大学(仮称)新 5 号館・新食堂等建築工事」の進捗状況について</p> <p>7) 平成 26 年度法人各種委員会委員について</p> <p>8) 第 60 回臨床検査技師国家試験結果について</p> <p>9) 大学評議会報告について</p> <p>10) 高等学校報告について</p> <p>11) 私立学校法の一部を改正する法律の施行について</p> <p>III その他</p> <p>1) その他</p> <p>①臨時理事会等の開催について</p>

月 日	会議等	議 事 内 容
5月27日	第2回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教員の人事(案)について 2) 麻布大学長の給与格付け(案)について 3) 寄附行為第18条第1号評議員の不補充について 4) 平成25年度事業の実績及び決算について <ol style="list-style-type: none"> (1) 事業報告書 (2) 資金収支計算書及び消費収支計算書 (3) 貸借対照表 (4) 財産目録 (5) 監事監査報告書 5) その他 <ol style="list-style-type: none"> ①獣医学部及び生命・環境科学部における平成26年度退職者に伴う教員の補充について ②麻布大学附属高等学校長からの辞任願い取下げの申出について <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 事務職員の人事について 2) 創立125周年記念事業 実行委員会報告について 3) 競争的資金等(公的機関)の獲得状況について 4) 「麻布大学(仮称)新5号館・新食堂等建築工事」の進捗状況について 5) (仮称)高等学校運営会議報告について 6) 麻布大学附属高等学校長に関する検討委員会報告について 7) 大学評議会報告について 8) 高等学校報告について 9) その他 <ol style="list-style-type: none"> ①信濃研修場処分の進捗状況について
6月24日	第3回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教員の人事(案)について 2) 麻布大学附属高等学校運営規程の制定(案)について 3) (公財)大学基準協会の平成22年度麻布大学に対する認証評価に基づく提言に対する改善報告書(案)の提出について 4) 豚実習場の建築に係る設計業者及び施工業者の決定について(案) 5) 麻布大学(仮称)新5号館の建物名称(案)について 6) 麻布大学附属高等学校における教育体制及び施設整備等の要望について <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成25年度財務計算書類の一部訂正について 2) 創立125周年記念事業 実行委員会報告について 3) 「麻布大学(仮称)新5号館・新食堂等建築工事」の進捗状況について 4) 大学評議会報告について 5) 高等学校報告について 6) その他 <ol style="list-style-type: none"> ①地域枠産業動物獣医師育成特別入学試験について
6月25日	1回 臨時理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 理事長の選任について 2) 退任役員の表彰について 3) 理事の事務執行について 4) 理事長の代理・代行について 5) 日本私立大学協会評議員の選定について <p>II 報告事項</p> <p>なし</p> <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成26年度役員研修会について 2) その他 <ol style="list-style-type: none"> ①理事懇談会について ②創立125周年記念事業委員会の特別顧問について

II 事業の概要

月 日	会議等	議 事 内 容
7月22日	第4回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教員の人事(案)について 2) 麻布大学附属高等学校における教育体制及び施設整備等の要望への対応について 3) その他 <ol style="list-style-type: none"> ①麻布大学附属高等学校サッカー部の全国高等学校総合体育大会出場に伴う支援について <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教員の人事について 2) 長期海外出張者の期間延長について 3) 日本私立学校振興・共済事業団からの借入金に係る連帯保証人の変更について 4) 平成26年度法人各種委員会委員について 5) 創立125周年記念事業委員会等の委員体制について 6) 創立125周年記念募金状況報告について 7) 第1・四半期の財務状況等報告について <ol style="list-style-type: none"> (1) 資金収支報告 (2) 資金残高及び資産運用報告 (3) 麻布大学附属動物病院の運営状況報告 8) 「麻布大学(仮称)新5号館・新食堂等建築工事」の進捗状況について 9) 学校教育法及び国立大学法人法の一部を改正する法律について 10) 大学ポータルへの参加について 11) 平成26年度東日本大震災被災学生への支援について 12) 信濃研修場処分に係る経緯及び現況報告について 13) 大学評議会報告について 14) 高等学校報告について 15) 有限責任監査法人トーマツ「平成25年度監査覚書」について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 理事長及び学長の所信表明について 2) 臨時理事会の開催について 3) 麻布大学生協同組合との懇談会の開催について
8月27日	第2回 臨時理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教員の人事(案)について 2) 豚実習場建築工事及び周辺工事の予算措置等について(案) 3) 「(仮称)AZABU Pig Research Center」構想について <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 麻布大学附属高等学校の2号棟改修工事及び収支見通しについて 2) 「産業動物臨床教育センター」の竣工について 3) 信濃研修場処分に係る経緯及び現況報告について 4) その他 <ol style="list-style-type: none"> ① 創立125周年記念ポスターの掲示について ② 役員懇談会の開催について
9月30日	第5回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「非常勤職員の手当に係る取扱いについて」の一部改正(案)について 2) 平成27年度予算編成大綱(案)について <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教員の人事について 2) 創立125周年記念事業 実行委員会報告について 3) 「麻布大学(仮称)新5号館・新食堂等建築工事」の進捗状況について 4) 学校教育法及び国立大学法人法の一部を改正する法律及び学校教育法施行規則及び国立大学法人法施行規則の一部を改正する省令について 5) 麻布大学附属高等学校長に関する検討委員会報告について 6) 大学評議会報告について 7) 高等学校報告について 8) その他 <ol style="list-style-type: none"> ① 公益社団法人私学経営研究会特別セミナー出席報告について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 第3期中期目標・中期計画の策定に向けた今後の取組について 2) 平成23年度評議員選挙に係る懸念事項等への対応について 3) その他 <ol style="list-style-type: none"> ① 懲戒処分を受けた学生又は教職員の氏名の公表について

月 日	会議等	議 事 内 容
10月31日	第6回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成 23 年度評議員選挙に係る懸念事項等への対応について 2) 9号館外装修繕・塗装工事について 3) 麻布大学附属高等学校長の選任について <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 第2・四半期の財務状況等報告について <ol style="list-style-type: none"> (1) 資金収支報告 (2) 資金残高及び資産運用報告 (3) 麻布大学附属動物病院の運営状況報告 2) 創立 125 周年記念事業 実行委員会報告について 3) 「麻布大学(仮称)新5号館・新食堂等建築工事」等の進捗状況について 4) 信濃研修場処分に係る経緯及び現況報告について 5) 平成 26 年度麻布大学東日本大震災被災特別措置の採択状況について 6) 麻布大学と相模原市との包括連携に関する協定の締結について 7) 高等学校運営会議報告について 8) 大学評議会報告について 9) 高等学校報告について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 学校教育法の一部改正に伴う今後の取り進め方について 2) その他 <ol style="list-style-type: none"> ①生命・環境科学部の教員選考に基づく教員の4月採用時期に係る理事会承認月について
11月25日	第7回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教員の人事(案)について 2) 学校法人麻布獣医学園給与委員会規程の一部改正(案)について 3) 学園の情報システムのリプレースについて <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 職員の人事について 2) 創立 125 周年記念事業 実行委員会報告について 3) 学校教育法の一部改正への検討状況について 4) 「麻布大学(仮称)新5号館・新食堂等建築工事」等の進捗状況について 5) 9号館外装修繕・塗装工事における入札結果について 6) 信濃研修場処分に係る経緯及び現況報告について 7) 横浜市教育委員会と麻布大学との連携・協働に関する協定の締結について 8) 日本養豚開業獣医師協会と麻布大学との連携協力に関する包括協定の締結について 9) 高等学校運営会議報告について 10) 大学評議会報告について 11) 高等学校報告について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 麻布大学附属高等学校長の選任について 2) その他 <ol style="list-style-type: none"> ①研究費の不正使用について

II 事業の概要

月 日	会議等	議 事 内 容
12月22日	第8回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教員の人事（案）について 2) 信濃研修場の処分（案）について 3) （仮称）ドッグラン・ドッグカフェについて 4) 学校教育法の一部改正への対応（案）について 5) 「（仮称）AZABU Pig Research Center」構想について <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教員の人事について 2) 平成27年度麻布大学推薦等入学試験・編入学試験結果について 3) 創立125周年記念事業 実行委員会報告について 4) 「麻布大学（仮称）新5号館・新食堂等建築工事」等の進捗状況について 5) 第3期中期目標・中期計画の策定に係る教育研究方針等について 6) 麻布獣医学園職員会からの要望書に対する回答について 7) 大学評議会報告について 8) 高等学校報告について 9) 情報システムの全体構想検討の取組状況について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 公的研究資金の不正使用について 2) その他 <ol style="list-style-type: none"> ①附属高等学校における教室増築に係る要望について
1月27日	第9回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教員の人事（案）について 2) 平成27年度予算要望（人員）（案）について 3) 「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」改正に伴う麻布大学競争的資金の運営・管理に関する規程及び学校法人麻布獣医学園内部監査規程の一部改正（案）について 4) 学校法人麻布獣医学園経理規程の一部改正（案）について <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教員の人事について 2) 平成27年度麻布大学一般入学試験等の志願者状況について 3) 学校教育法の一部改正への対応状況について 4) 第3・四半期の財務状況報告について <ol style="list-style-type: none"> (1) 資金収支報告 (2) 資金残高及び資産運用報告 (3) 麻布大学附属動物病院の運営状況報告 5) 創立125周年記念事業 実行委員会報告について 6) 「麻布大学（仮称）新5号館・新食堂等建築工事」等の進捗状況について 7) 信濃研修場の処分報告について 8) 高等学校運営会議報告について 9) 文部科学省中央教育審議会答申「新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育，大学教育，大学入学者選抜の一体的改革について（答申）」 10) 文部科学省中央教育審議会答申「子供の発達や学習者の意欲・能力等に応じた柔軟かつ効果的な教育システムの構築について（答申）」 11) 大学評議会報告について 12) 高等学校報告について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成27年度予算概要について 2) 「（仮称）AZABU Pig Research Center」構想について 3) その他 <ol style="list-style-type: none"> ①公的研究資金の不正使用に係る調査の進捗状況について ②平成22年度卒業者の卒業式について

月 日	会議等	議 事 内 容
2月24日	第10回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教員の人事(案)について 2) 契約職員の採用(案)について 3) 平成27年度事業計画(案)について 4) 平成27年度予算(案)について 5) 麻布大学附属高等学校学則の一部改正(案)について 6) 麻布大学附属高等学校副校長職の設置に伴う関係諸規程の制定及び一部改正(案)について 7) 麻布大学附属高等学校褒賞規程の制定及び同制定に伴う表彰内規の廃止(案)について 8) 学校教育法の一部改正への対応(一部修正案)について 9) 麻布大学いのちの博物館設置に係る百十周年記念会館改修工事の入札指名業者選定(案)について <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 職員の人事について 2) 平成27年度麻布大学入学試験結果について 3) 平成27年度麻布大学附属高等学校入学試験結果について 4) 評議員選任規程等改正検討委員会答申について 5) 創立125周年記念事業委員会及び実行委員会報告について 6) 「麻布大学(仮称)新5号館・新食堂等建築工事」等の進捗状況について 7) 高等学校運営会議報告について 8) 大学評議会報告について 9) 高等学校報告について 10) その他 <ul style="list-style-type: none"> ①次期麻布大学附属高等学校長について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成27年度理事会・評議員会開催予定(案)について 2) 平成27年3月度理事会当日の予定について
2月24日	第11回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成27年度事業計画(案)について 2) 平成27年度予算(案)について <p>II その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 有嶋高等学校長の特別表彰について
3月17日	第12回 理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 麻布大学附属高等学校長の人事(案)について 2) 契約職員の採用(案)について ※当日の緊急動議により議題追加 3) 学校教育法の一部を改正する法律及び省令の施行に伴う関係規程の制定及び一部改廃(案)について 4) 麻布大学学則の一部改正(案)について 5) 麻布大学における研究活動上の不正行為の防止及び対応に関する規程の制定(案)について <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 職員の人事について 2) 平成27年度麻布大学入学試験等結果について 3) 平成27年度麻布大学附属高等学校入学試験結果について 4) 平成27年度麻布大学附属高等学校入学者の対応について 5) 創立125周年記念事業 実行委員会報告について 6) 百十周年記念会館改修工事の入札結果について 7) 「麻布大学(仮称)新5号館・新食堂等建築工事」等の進捗状況について 8) 第66回獣医師国家試験結果について 9) 大学評議会報告について 10) 高等学校報告について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 動物病院の管理・運営について 2) 評議員選任規程等改正検討委員会答申の取扱いについて 3) 平成27年度 麻布大学・麻布大学附属高等学校の行事予定について 4) その他 <ul style="list-style-type: none"> ①附属高等学校入試関連収支について ②建築免震ゴムについて

II 事業の概要

② 評議員会

月日	行事	議事内容
5月27日	第1回 評議員会	<p>I 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 麻布大学長の任命について 2) 寄附行為第18条第1号評議員の不補充について 3) 創立125周年記念事業 実行委員会報告について 4) 「麻布大学(仮称)新5号館・新食堂等建築工事」の進捗状況について 5) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会答申に基づく改革の取組状況について 6) 平成23年度評議員選挙に係る懸念事項について <p>II 協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成25年度事業の実績及び決算について <ol style="list-style-type: none"> (1) 事業報告書 (2) 資金収支計算書及び消費収支計算書 (3) 貸借対照表 (4) 財産目録 (5) 監事監査報告書
10月31日	第1回 臨時評議員会	<p>I 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成23年度評議員選挙に係る懸念事項等への対応について 2) 創立125周年記念事業 実行委員会報告について 3) 平成27年度予算編成大綱について 4) 第3期中期目標・中期計画の策定について 5) 「麻布大学(仮称)新5号館・新食堂等建築工事」等の進捗状況について 6) 信濃研修場処分に係る経緯及び現況報告について 7) 学校教育法の一部改正に伴う今後の取り組み方について <p>II 協議事項</p> <p>なし</p> <p>III その他</p> <p>その他</p>
2月24日	第2回 評議員会	<p>I 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成27年度麻布大学入学試験結果について 2) 平成27年度麻布大学附属高等学校入学試験結果について 3) 学校教育法の一部改正への対応について 4) 評議員選任規程等改正検討委員会答申について 5) 創立125周年記念事業委員会及び実行委員会報告について 6) 信濃研修場の処分について 7) 「麻布大学(仮称)新5号館・新食堂等建築工事」等の進捗状況について <p>II 協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成27年度事業計画(案)について 2) 平成27年度予算(案)について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成27年度評議員会開催予定(案)について 2) 評議員選挙管理委員会委員について 1) その他

③ 創立125周年記念事業委員会

月日	行事	議事内容
2月17日	第1回(通算第4回) 創立125周年記念 事業委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 創立125周年記念事業の検討及び実施経過について <ol style="list-style-type: none"> (1) 式典・行事实行委員会 (2) 年史実行委員会 (3) 募金実行委員会 (4) 広報実行委員会 (5) 博物館/資料館設立委員会 2. 記念式典・祝賀会における出席者(招待状送付対象者)及び記念品の配付対象者の確認について <ol style="list-style-type: none"> (1) 記念式典・祝賀会における出席者(招待状送付対象者)の確認について (2) 記念品の配付対象者の確認について 3. その他

④ 式典・行事実行委員会

月日	行事	議事内容
5月28日	第1回(通算第3回) 式典・行事 実行委員会	1. 創立125周年記念行事・イベントについて 2. 記念式典出席者への配布物(記念品)について 3. その他
9月29日	第2回(通算第4回) 式典・行事 実行委員会	1. 創立125周年記念行事・イベントについて 2. 記念式典出席者への配付物(記念品)について 3. その他
3月26日	第3回(通算第5回) 式典・行事 実行委員会	1. 記念式典・祝賀会のプログラムについて 2. 記念式典出席者への招待者について 3. 記念講演について 4. 大学同窓会による創立125周年記念行事・共催イベントについて 5. 招待者以外の方が来校した場合の対応について 6. その他

⑤ 募金実行委員会

月日	行事	議事内容
9月29日	第1回(通算第4回) 募金実行委員会	1. 銘板の設置について 2. 募金パンフレットの作成について 3. 募金サイトの更新について 4. その他

⑥ 博物館設立委員会

月日	行事	議事内容
6月5日	第1回(通算第2回) 博物館設立委員会	1. 「麻布大学いのちの博物館」基本構想(案) 2. 現状の問題点と整理 3. 今後のスケジュール(案)
2月10日	第2回(通算第3回) 博物館設立委員会	1. 「麻布大学いのちの博物館」設立の予算結果について 2. 「麻布大学いのちの博物館」運営規則等について 3. 展示にかけられる費用について

⑦ 博物館設立委員会 ワーキング・グループ(W.G.)

月日	行事	議事内容
7月8日	第1回(通算第4回) 博物館設立委員会 ワーキング・グループ(W.G.)	1. 報告 2. 大型動物展示の発注 3. 収蔵場所について 4. 今後のスケジュールについて 5. 寄贈品收受について 6. 獣医資料の評価ボランティア
8月8日	第2回(通算第5回) 博物館設立委員会 ワーキング・グループ(W.G.)	1. 報告 2. 有限会社ニヶ崎剥製標本社への見積等について 3. 収納場所及びスケジュールについて 4. 博物館の仕様、展示について

⑧ 学校法人麻布獣医学園評議員選任規程等改正検討委員会

月日	行事	議事内容
11月25日	第1回 学校法人麻布獣医学園 評議員選任規程等改正 検討委員会	1. 委員長の選出について 2. 平成23年度評議員選挙に係る懸念事項等の検討について
12月22日	第2回 学校法人麻布獣医学園 評議員選任規程等改正 検討委員会	1. 平成23年度評議員選挙に係る懸念事項等の検討について
1月29日	第3回 学校法人麻布獣医学園 評議員選任規程等改正 検討委員会 (持ち回り)	1. 平成23年度評議員選挙に係る懸念事項等の検討について(答申)(案)

II 事業の概要

⑨ 給与委員会

月 日	行 事	議 事 内 容
9月17日	第1回 給与委員会	1. 委員長及び副委員長の選出について 2. 平成26年10月1日付け採用者及び平成27年4月1日付け採用者の格付について
1月27日	第2回 給与委員会	1. 給与委員会規程の一部改正について 2. 平成27年4月1日付け採用者の格付について
3月10日	第3回 給与委員会	1. 平成27年4月1日付け採用者の格付について

⑩ 安全衛生委員会

月 日	行 事	議 事 内 容
4月25日	第1回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成26年3月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
5月26日	第2回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成26年4月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
6月30日	第3回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成26年5月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
7月28日	第4回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成26年6月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
8月25日	第5回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成26年7月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
9月26日	第6回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成26年8月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
10月27日	第7回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成26年9月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
11月24日	第8回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成26年10月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
12月19日	第9回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成26年11月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
1月19日	第10回 安全衛生委員会	1. 平成27年度安全衛生委員会開催日程及び職場巡視日程(案)について 2. 平成27年度安全衛生管理活動計画表(案)について 3. 長時間にわたる時間外・休日労働を行った労働者に対する面接指導等の実施基準(案)について 4. 学内巡視の状況について 5. その他
2月23日	第11回 安全衛生委員会	1. 平成27年1月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
3月30日	第12回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成27年2月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他

⑪ 健康管理委員会

月 日	行 事	議 事 内 容
10月20日	第1回 健康管理委員会 (持ち回り)	1. 平成27年度事業計画について 2. 平成27年度予算について

(3) 平成26年度 行事報告

	麻布獣医学園	麻 布 大 学				麻布大学附属 高校	
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院		
4 月	17日 第1回学園広報委員会	1日 入学式	7日 教授会	2日 学部教務委員会 (持ち回り)	3日 在学者ガイダンス	7日 始業式	
	22日 第1回理事会	1日 学生健康診断 (～4日)	9日 情報システム 基礎講習会	8日 教授会	3日 入学者オリエン テーション	8日 入学式	
	25日 第1回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1日 教職課程委員会 (持ち回り)	21日 学部教務委員会	8日 情報システム 基礎講習会	4日 情報システム 基礎講習会	9日 オリエンテーション①	
		2日 入学者オリエンテーション (～4日)		30日 学部教務委員会	9日 環境保健学 研究科委員会	9日 在校生授業開始	
		2日 生涯学習委員会 (持ち回り)			21日 獣医学研究科 委員会	10日 分掌会議	
		4日 在学者、編入学者 ガイダンス				10日 オリエンテーション②	
		4日 職務発明審査委員会				11日 健康診断	
		7日 授業開始				12日 後援会役員会	
		15日 生物研運営委員会				14日 入学者授業開始	
		16日 評議会				15日 部長会議	
		17日 学生委員会				17日 職員会議	
		18日 研究推進・支援 本部会				22日 部長会議	
		21日 動物病院運営会議				24日 学年会議	
		21日 教務委員会					
		23日 学芸員課程委員会					
		25日 合同地方自治体等 (公務員)説明会 (就職)					
		28日 キャリア・就職支援 対策委員会					
	5 月	15日 平成25年度決算に 係る学内監査	7日 就職活動対策 講座(～6/11 毎週水曜日)	7日 教授会	12日 教授会	14日 環境保健学 研究科委員会	1日 部会議
		26日 第2回 安全衛生委員会 (持ち回り)	8日 教職課程委員会	26日 学部教務委員会		15日 獣医学研究科 FD委員会	8日 学年会議
27日 第2回理事会		10日 父母会理事会			26日 獣医学研究科 委員会	10日 後援会総会	
27日 第1回評議員会		10日 卒業生子女対象 大学説明会				13日 部長会議	
28日 第1回 式典・行事実行委員会		12日 生物研運営委員会				15日 職員会議	
		12日 教育推進センター FD講演会				20日 部長会議	
		15日 高大連携推進委員会				21日 中間試験 (～24日)	
		15日 学術情報委員会				24日 麻布見学会	
		16日 公務員対策 直前講座(～6/20 毎週金曜日)				27日 体育祭	
		19日 動物病院運営会議				28日 部長会議	
		20日 高大一貫推進委員会				29日 運営委員会	
					31日 後援会役員会		

II 事業の概要

	麻布獣医学園	麻 布 大 学			麻布大学附属 高校	
		全学	獣医学部	生命・環境科学部		大学院
5月		20日 学生の修学・生活指導の 在り方についての懇談会 21日 評議会 22日 情報システム委員会 22日 学術情報センター 運営委員会 24日 附属高校生対象 大学説明会 26日 キャリア・就職支援 対策委員会 26日 国際交流委員会 28日 国際交流委員会 (持ち回り) 29日 研究推進・支援本部会 29日 バイオセキュリティ 教育講演				
6月	5日 第1回 博物館設立委員会 24日 第3回理事会 25日 第1回臨時理事会 30日 第3回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1日 オープンセミナー 6日 合同NOSAI説明会 (就職) 6日 職務発明審査委員会 9日 生物研運営委員会 11日 麻布大学奨学生 選考委員会 12日 学業成績優秀者・ 学生功労賞・ 増井光子賞 表彰式 14日 父母会定期 総会・代議員会 16日 合同採用説明会 (就職) 16日 動物病院運営会議 17日 教育推進センター 運営委員会 18日 評議会 18日 SPI対策講座 (～7/16 毎週水曜日) (就職) 19日 研究推進・支援本部会 23日 臨時学生委員会 23日 キャリア・就職支援 対策委員会 25日 臨時評議会 30日 合同動物病院 説明会(就職)	2日 教授会 2日 四大連携事業 学内実行委員会 23日 学部教務委員会 25日 学部教務委員会 (持ち回り)	9日 教授会 24日 学部教務委員会	11日 環境保健学 研究科委員会 11日 中間発表会 (環境保健学研究科) 23日 獣医学研究科 委員会	3日 部長会議 5日 部会議 10日 部長会議 12日 職員会議 17日 部長会議 19日 学年会議 20日 一般コース 修学旅行 (～25日)1班 (～26日)2班 20日 社会見学 テーブルマナー 24日 部長会議

	麻布獣医学園	麻 布 大 学				麻布大学附属 高校	
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院		
7 月	8日 第1回 博物館設立委員会 ワーキング・グループ(W.G.)	3日 教職員健康診断 6日 オープンセミナー	7日 教授会 29日 学部教務委員会	14日 教授会 25日 学部教務委員会	11日 環境保健学 研究科委員会 (持ち回り)	1日 部長会議 3日 部会議	
	22日 役員研修会(～23日)	8日 第1回生物研ワークショップ			28日 獣医学研究科 委員会	3日 期末試験 (～9日)	
	22日 第4回理事会	14日 生物研運営委員会				8日 部長会議	
	28日 第4回 安全衛生委員会 (持ち回り)	14日 職務発明審査委員会				10日 運営委員会	
		15日 教務委員会				15日 部長会議	
		16日 評議会				16日 学年会議	
		18日 研究推進・支援本部 セミナー				17日 職員会議	
		24日 研究推進・支援本部会				18日 前期終業式	
		24日 国際交流委員会				19日 後援会役員会	
		24日 学生委員会				21日 夏期休業 (～8月31日)	
		28日 前期定期試験 (～8/1)					
		28日 動物病院運営会議					
		28日 キャリア・就職支援 対策委員会					
	30日 高大一貫推進委員会						
	30日 高大连携推進委員会						
	30日 市民大学 (～9/3, 毎週水曜全5回)						
31日 市民大学 (～9/4, 毎週木曜全5回)							
8 月	8日 第2回 博物館設立委員会 ワーキング・グループ(W.G.)	2日 オープンキャンパス (～3日)	4日 教授会	5日 教授会	5日 課程論文発表会 (獣医学研究科)	3日 後援会役員会	
	25日 第5回 安全衛生委員会 (持ち回り)	7日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り)			6日 課程論文中間 発表会 (獣医学研究科)	8日 公私合同説明会	
	27日 第2回臨時理事会	8日 夏期休業(～9/12)				6日 環境保健学 研究科入学 試験(第1期)	23日 学校説明会
		23日 父母会仙台会場 地区懇談会				6日 環境保健学研究科 入学試験(10月期)	
		24日 父母会さいたま 会場地区懇談会				7日 環境保健学 研究科委員会	
		25日 動物病院運営会議				28日 獣医学研究 科獣医学専 攻入学試験 (10月期・第1期)	
		30日 父母会広島会場 地区懇談会				28日 獣医学研究 科動物応用 科学専攻入 学試験(～29日) (第1期)	
		30日 プレ入試				28日 獣医学研究科 動物応用科学 専攻入学試験 (～29日)(10月期)	
		31日 父母会名古屋会場 地区懇談会					

II 事業の概要

	麻布獣医学園	麻 布 大 学				麻布大学附属 高校
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院	
9 月	17日 第1回給与委員会	2日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り)	6日 AO入試 (2次講義レポート)	1日 教授会 (持ち回り)	5日 獣医学研究科 委員会	2日 授業開始
	26日 第6回 安全衛生委員会 (持ち回り)	4日 職務発明審査委員会	20日 AO入試 (2次面接) (～24日)	17日 学部教務委員会 (持ち回り)	5日 獣医学研究科 FD委員会	2日 部長会議 4日 部会議
	29日 第2回 式典・行事実行委員会	16日 麻布大学奨学生 選考委員会	26日 学部教務委員会 (持ち回り)		17日 大学院学位記 授与式	6日 文化祭 (～7日)
	29日 第1回募金実行委員会	16日 臨時学生委員会			30日 環境保健学研究科 FD委員会	9日 部長会議
	30日 第5回理事会	16日 高大一貫教育情報 交換協議会			30日 大学院学位記 授与式	16日 部長会議 18日 職員会議
		16日 前期追再試験 (～22日)				22日 修学旅行 (体育系コース) (～26日)
		17日 評議会				
		17日 研究推進・支援 本部取扱補助金 パネル報告会				25日 学年会議
		18日 教務委員会 (持ち回り)				30日 部長会議
		22日 キャリア・就職支援 対策委員会				
	25日 後期授業開始					
	29日 就職サイト(マイナビ) 就活講座					
	29日 動物病院運営会議					
10 月	7日 第2回 学園広報委員会	1日 就職活動実践 講座(～12/10 毎週水曜日)(就職)	6日 教授会	3日 学部教務委員会	8日 環境保健学 研究科委員会	2日 部長会議
	20日 健康管理委員会 (持ち回り)	2日 研究推進・支援本部会	11日 附属高特別入試	11日 附属高特別入試	27日 獣医学研究科 委員会	4日 後援会役員会 7日 部長会議
	27日 第7回 安全衛生委員会 (持ち回り)	3日 消防訓練	11日 獣医学科 卒業生後継者 特別入学試験	13日 教授会	29日 環境保健学研究科 FD講演会	9日 運営委員会
	31日 第6回理事会	4日 麻布環境科学研究会	16日 臨時教授会			11日 麻布大特別入試
	31日 第1回臨時評議会	4日 グループ・ディスカッション 対策実習(就職)	27日 学部教務委員会			14日 中間試験A (～17日)
		5日 オープンセミナー				18日 学校説明会
		8日 研究推進・支援本部 セミナー				21日 部長会議
		13日 生物研運営委員会				23日 職員会議
		14日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り)				28日 部長会議
		14日 国際交流委員会				30日 学年会議
		15日 評議会				30日 芸術鑑賞会
		17日 業界セミナー:製薬 業界編 (就職)				
		18日 父母会関東甲信 越地区個人面談				
	20日 動物病院運営会議					
	20日 学術情報委員会					

	麻布獣医学園	麻 布 大 学			麻布大学附属 高校	
		全学	獣医学部	生命・環境科学部		大学院
10月		21日 研究推進・支援本部 セミナー 21日 研究推進・支援本部会 22日 教職課程委員会 22日 学芸員課程委員会 (持ち回り) 22日 情報システム委員会 22日 教育推進センター 部門長会議 22日 国際交流委員会 23日 学生委員会 24日 教育推進センター 運営委員会 (持ち回り) 24日 学術情報センター 運営委員会 24日 業界セミナー:治験 業界編 (就職) 27日 キャリア・就職支援 対策委員会 31日 動物慰霊祭				
11月	12日 予算ヒアリング (~12/10) 24日 第8回 安全衛生委員会 (持ち回り) 25日 第7回理事会 25日 第1回 評議員選任規程等 改正検討委員会	1日 大学祭(~3日) 2日 ホームカミングデー 8日 麻布獣医学会 10日 女子学生リクルート メイクセミナー (就職) 10日 生物研運営委員会 12日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り) 17日 学生リクルート ファッションセミナー (就職) 17日 動物病院運営 会議 18日 研究推進・支援本部会 19日 研究倫理啓発セミナー 19日 評議会 21日 業界セミナー:製薬 業界編 (就職) 23日 模擬面接対策 実習(就職) 24日 キャリア・就職支援 対策委員会	4日 教授会 9日 獣医学科編入学 試験(1次選抜) 15日 獣医学部 推薦・特別 入学試験 15日 地域産産業動物 獣医師育成特別 入学試験 24日 学部教務委員会 29日 獣医学部 編入学試験	6日 学部教務委員会 8日 指定校特別 推薦入学試験 8日 環境特別入学試験 10日 教授会 15日 生命・環境科学部 推薦・特別入学 試験, 編入学試験 20日 臨時教授会	12日 環境保健学 研究科委員会 19日 大学院学位記 授与式 19日 獣医学研究科 環境保健学研究科 研究倫理啓発セミナー 24日 獣医学研究科 委員会	6日 部長会議 8日 後援会もつ煮会 11日 部長会議 13日 部会議 18日 部長会議 19日 球技大会 20日 職員会議 22日 学校説明会 25日 部長会議 27日 学年会議

II 事業の概要

	麻布獣医学園	麻 布 大 学				麻布大学附属 高校
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院	
12 月	19日 第9回 安全衛生委員会 (持ち回り)	5日 業界セミナー:農薬 業界編 (就職)	1日 教授会 10日 臨時教授会	4日 学部教務委員会 8日 教授会	3日 環境保健学 研究科委員会 15日 獣医学研究科 委員会	3日 部長会議 3日 中間試験B (~9日) 12日 避難訓練 16日 1回内選会議 19日 全校集会 25日 冬季休業 (~1/7)
	22日 第8回理事会	8日 生物研運営委員会				
	22日 第2回 評議員選任規程等 改正検討委員会	10日 学術情報センター 運営委員会 10日 大学院奨学金 返還免除候補者 選考委員会 (持ち回り) 10日 教務委員会 (持ち回り) 12日 生物研ワークショップ 講演会 13日 父母会理事会 15日 動物病院運営会議 15日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り) 16日 高大一貫推進委員会 16日 研究推進・支援本部会 17日 評議会 18日 麻布大学父母会 奨学生選考委員会 18日 全学基礎・教養に係る 科目担当者懇談会 19日 業界セミナー:食品 業界編 (就職) 22日 国際交流委員会 (持ち回り) 22日 教職課程委員会 (持ち回り) 26日 冬期休業 (~1/8)				
	19日 第10回 安全衛生委員会	9日 授業開始	8日 教授会	13日 教授会	14日 環境保健学 研究科委員会	8日 授業開始
	27日 第2回給与委員会	9日 生涯学習委員会	26日 学部教務委員会		14日 獣医学研究科 FD研修会	8日 部会議 10日 後援会役員会
	27日 第9回理事会	10日 模擬選考実習 (就職)			26日 獣医学研究科 委員会	13日 部長会議 15日 職員会議
	29日 第3回 評議員選任規程等 改正検討委員会 (持ち回り)	12日 生物研運営委員会 17日 大学入試センター 試験(~18日) 20日 研究推進・支援本部会 21日 評議会 21日 高大一貫情報交換 協議会 21日 学生委員会 22日 就活サイト(マイナビ) 活用セミナー (就職)			30日 環境保健学研究科 FD講演会	20日 部長会議 22日 推薦入学試験 27日 部長会議 28日 卒業認定会議 29日 学年会議

	麻布獣医学園	麻 布 大 学				麻布大学附属 高校
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院	
1月		26日 キャリア・就職支援 対策委員会 26日 動物病院運営会議				
2月	10日 第2回 博物館設立委員会 17日 第1回 創立125周年記念 事業委員会 23日 第11回 安全衛生委員会 (持ち回り) 24日 第10回理事会 24日 第11回理事会 24日 第2回評議員会	2日 国際交流委員会 4日 臨時学生委員会 (持ち回り) 9日 後期定期試験 (～13日) 9日 生物研運営委員会 15・ 模擬選考実習 (就職) 17日 16日 公務員ガイダンス (就職) 16日 動物病院運営会議 18日 評議会 19日 教職課程委員会 (持ち回り) 22日 グループ・ディスカッション 対策実習(就職) 23日 教務委員会 23日 キャリア・就職支援 対策委員会 23日 後期追再試験 (～27日) 25日 研究推進・支援本部会 25日 動物病院運営会議 (持ち回り) 26日 学生委員会	3日 獣医学科 一般入学試験 4日 動物応用科 学科一般入学 試験 6日 教授会 10日 臨時教授会 21日 動物応用科学科 センター試験利 用入試(Ⅱ期) 23日 学部教務委員会	5日 生命・環境科学部 一般入学試験 (A日程) 6日 生命・環境科学部 一般入学試験 (B日程) 7日 生命・環境科学部 一般入学試験 (C日程) 9日 教授会 13日 臨時教授会 26日 学部教務委員会 27日 臨床検査技術学科 大学入試センター 試験利用入試 (Ⅱ期) 27日 食品生命科学科 一般入学試験 (第Ⅱ) 27日 環境科学科 一般入学試験 (第Ⅱ)	12日 環境保健学 研究科委員会 12日 課程論文発表 会(環境保健学 研究科)(～13日) 13日 課程論文審査 会(環境保健学 研究科) 13日 課程論文中間 発表会 (獣医学研究科) 23日 獣医学研究科 委員会 25日 環境保健学 研究科入学 試験(第2期) 26日 環境保健学 研究科委員会 (持ち回り)	5日 部会議 10日 一般入学試験 11日 入試判定会議 12日 一般入学試験 合格発表 12日 学年会議 14日 後援会役員会 17日 部長会議 19日 職員会議 24日 部長会議 26日 運営会議
3月	10日 第3回給与委員会 17日 第12回理事会 26日 第3回 式典・行事実行委員会 27日 第3回 学園広報委員会 (持ち回り) 30日 第12回 安全衛生委員会 (持ち回り)	2日 公務員対策集中 講座(～10日) (就職) 4日 評議会 6日 大学院奨学金 返還免除候補者 選考委員会 9日 生物研運営委員会 11日 動物病院運営会議 (持ち回り) 11日 教職課程委員会 (持ち回り) 15日 卒業式 16日 動物病院運営会議 18日 学術情報委員会 (持ち回り)	2日 教授会 3日 獣医学部転 学部・転学 科試験 16日 臨時教授会 23日 学部教務委員会 27日 学部教務委員会 (持ち回り)	3日 教授会 6日 生命・環境科学部 転学部・転学 科試験 16日 臨時教授会 31日 学部教務委員会	5日 環境保健学 研究科委員会 7日 獣医学研究 科入学試験 (第2期) 10日 獣医学研究科 委員会 11日 大学院学位記 授与式 23日 獣医学研究科 委員会 (持ち回り)	1日 卒業式 3日 一般入学試験 (二次) 3日 部長会議 4日 学年末試験 (～10日) 8日 新入生召集日 10日 部長会議 16日 学年会議 17日 部長会議 18日 進級会議 20日 終了式・離任式 23日 新年度準備会議 23日 春季休業

II 事業の概要

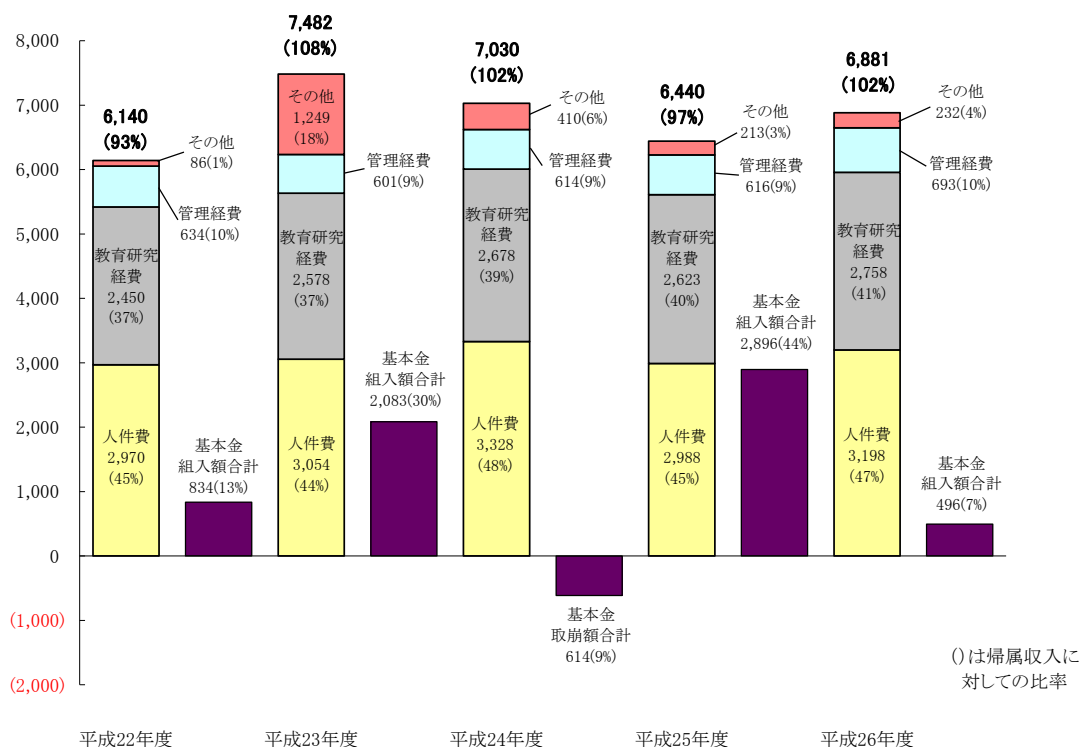
	麻布獣医学園	麻 布 大 学			麻布大学附属 高校
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	
3 月		19日 新クラス担任連絡会			
		19日 合同企業説明会 直前対策講座 (就職)			
		20日 公務員全国公開 模擬試験(就職)			
		20日 学術情報センター 運営委員会 (持ち回り)			
		20日 職務発明審査委員会			
		23日 合同企業説明会 (～25日)(就職)			
		24日 研究推進・支援本部会			
		25日 国際交流委員会			
		25日 春期休業(～31日)			
		26日 国際交流委員会 (持ち回り)			
		29日 ミニ・オープンキャンパス			
		30日 キャリア・就職支援 対策委員会			
		31日 卒延者対象卒業式			

Ⅲ 財務の概要

1. 財務状況の推移

消費支出及び基本金組入額

(単位百万円)



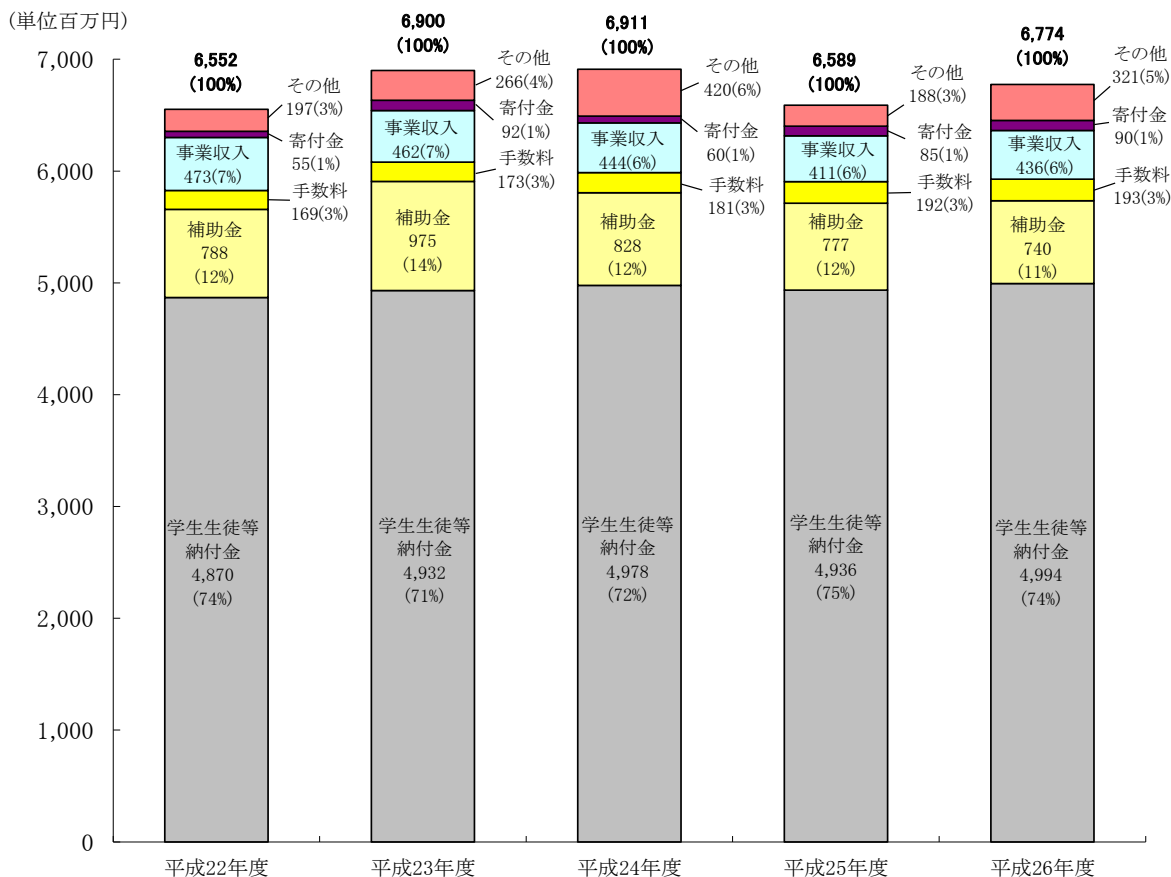
●消費支出とは、教育研究その他の諸活動に対応して消費した財貨と用役の額を示したもので、以下のようなものがある。

- 人件費
教員人件費，職員人件費，退職給与引当繰入額など
- 教育研究経費
消耗品費，光熱水費，業務委託費，減価償却費など
- 管理経費
消耗品費，光熱水費，業務委託費，減価償却費など
- その他
資産処分差額など上記各科目に該当しないもの

●基本金組入額とは、「学校法人の永続的維持に必要な資産を継続的に保持するため，維持すべきものとして帰属収入のうちから組み入れた金額」で，組み入れるべき金額としては，教育の用に供される固定資産額で，以下のようなものがある。

- 基本金組入額合計
建物，構築物，教育研究用機器備品，図書などの取得価額の合計

帰属収入



()は帰属収入に
対しての比率

●帰属収入とは、学校法人の負債とならない収入で、以下のようなものがある。

- 学生生徒等納付金
入学金，授業料，実験実習料など
- 補助金
国庫補助金，地方公共団体補助金など
- 手数料
入学検定料，試験料，証明手数料など
- 事業収入
附属病院収入，受託事業収入など
- 寄付金
特別寄付金，一般寄付金，現物寄付金
- その他
受取利息配当金，施設設備利用料，雑収入など

2. 財務比率の推移

消費収支計算書関係		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
人件費比率	人件費	52.2	42.9	40.6	41.7	43.9	44.4	45.3	44.3	48.2	45.4	47.2
	／ 帰属収入	(52.2)	(51.3)	(52.0)	(51.4)	(52.8)	(52.6)	(52.9)	(54.0)	(52.8)	(52.4)	(52.4)
人件費依存率	人件費	68.1	55.6	54.6	57.9	61.1	60.1	61.0	61.9	66.9	60.5	64.0
	／ 学生生徒等納付金	(70.2)	(70.7)	(71.3)	(71.7)	(72.3)	(72.4)	(72.0)	(74.4)	(71.9)	(72.4)	(72.4)
教育研究経費比率	教育研究経費	35.4	33.2	42.2	42.2	38.3	37.4	37.4	37.4	38.8	39.8	40.7
	／ 帰属収入	(28.3)	(28.5)	(29.3)	(29.7)	(31.0)	(30.9)	(30.9)	(30.9)	(31.2)	(31.5)	(31.5)
管理経費比率	管理経費	7.9	9.0	10.0	9.9	9.2	9.1	9.7	8.7	8.9	9.3	10.2
	／ 帰属収入	(8.5)	(8.5)	(8.5)	(8.7)	(9.9)	(10.3)	(8.8)	(8.7)	(9.2)	(8.8)	(8.8)
借入金等利息比率	借入金等利息	0.1	0.3	0.6	0.6	0.6	0.6	0.7	1.0	1.0	2.8	0.5
	／ 帰属収入	(0.5)	(0.5)	(0.5)	(0.5)	(0.4)	(0.4)	(0.4)	(0.4)	(0.3)	(0.3)	(0.3)
消費収支比率	消費支出	100.8	93.1	132.5	96.7	100.7	116.0	107.4	155.3	101.7	174.4	109.6
	／ 消費収入	(107.2)	(107.5)	(107.8)	(108.3)	(115.0)	(110.8)	(110.5)	(109.2)	(107.9)	(107.8)	(107.8)
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金	76.6	77.2	74.4	71.9	71.8	73.9	74.3	71.5	72.0	74.9	73.7
	／ 帰属収入	(74.4)	(72.6)	(72.9)	(71.6)	(73.0)	(72.7)	(73.4)	(72.7)	(73.4)	(72.4)	(72.4)
寄付金比率	寄付金	1.1	0.9	1.4	1.1	1.0	0.9	0.8	1.3	0.9	1.3	1.3
	／ 帰属収入	(1.9)	(3.4)	(2.3)	(3.0)	(2.4)	(2.5)	(2.6)	(2.3)	(2.0)	(2.2)	(2.2)
補助金比率	補助金	12.5	12.5	13.2	14.3	13.9	12.9	12.0	14.1	12.0	11.8	10.9
	／ 帰属収入	(12.7)	(12.5)	(12.3)	(12.1)	(12.5)	(12.9)	(12.4)	(12.4)	(12.6)	(12.8)	(12.8)
基本金組入率	基本金組入額	-8.7	7.7	27.9	0.0	8.0	20.8	12.7	30.2	0.0	43.9	7.3
	／ 帰属収入	(15.2)	(15.9)	(14.6)	(14.5)	(13.2)	(13.1)	(13.4)	(11.6)	(11.7)	(12.1)	(12.1)
帰属収支差額率	帰属収入－消費支出	-9.6	14.1	4.5	3.3	7.3	8.2	6.3	-8.4	-1.7	2.3	-1.6
	／ 帰属収入	(9.1)	(9.6)	(8.0)	(7.4)	(0.2)	(3.7)	(4.4)	(3.4)	(4.8)	(5.2)	(5.2)
貸借対照表関係												
固定比率	固定資産	103.4	110.4	110.5	112.2	110.8	109.6	118.5	114.6	112.2	105.8	105.7
	／ 自己資金	(98.5)	(98.7)	(98.7)	(98.5)	(99.4)	(100.0)	(99.8)	(100.1)	(99.5)	(99.2)	(99.2)
固定長期適合率	固定資産	95.9	94.7	94.9	96.9	96.5	96.1	96.3	93.1	92.5	92.2	92.5
	／ 自己資金＋固定負債	(90.0)	(90.5)	(90.8)	(91.0)	(91.8)	(92.0)	(92.1)	(92.2)	(91.9)	(91.7)	(91.7)
流動比率	流動資産	182.0	222.8	210.1	163.1	173.0	181.7	179.9	232.7	206.4	229.9	202.2
	／ 流動負債	(257.7)	(253.0)	(247.6)	(251.2)	(238.6)	(232.7)	(236.6)	(230.3)	(237.1)	(245.9)	(245.9)
総負債比率	総負債	11.7	17.7	17.8	17.6	16.9	16.4	22.3	22.8	23.0	17.8	18.5
	／ 総資産	(14.1)	(13.6)	(13.4)	(12.8)	(12.7)	(13.2)	(12.8)	(13.1)	(12.8)	(12.6)	(12.6)
負債比率	総負債	13.3	21.5	21.7	21.4	20.4	19.6	28.7	29.5	29.9	21.7	22.7
	／ 自己資金	(16.4)	(15.8)	(15.5)	(14.7)	(14.6)	(15.2)	(14.7)	(15.1)	(14.7)	(14.4)	(14.4)
自己資金構成比率	自己資金	88.3	82.3	82.2	82.4	83.1	83.6	77.7	77.2	77.0	82.2	81.5
	／ 総資産	(85.9)	(86.4)	(86.6)	(87.2)	(87.3)	(86.8)	(87.2)	(86.9)	(87.2)	(87.4)	(87.4)
消費収支差額構成比率	消費収支差額	-6.8	-4.6	-10.2	-9.0	-9.0	-11.9	-12.2	-21.4	-19.7	-30.7	-32.7
	／ 総資産	(-2.3)	(-2.6)	(-3.6)	(-4.6)	(-6.8)	(-8.1)	(-9.3)	(-10.5)	(-11.2)	(-12.2)	(-12.2)

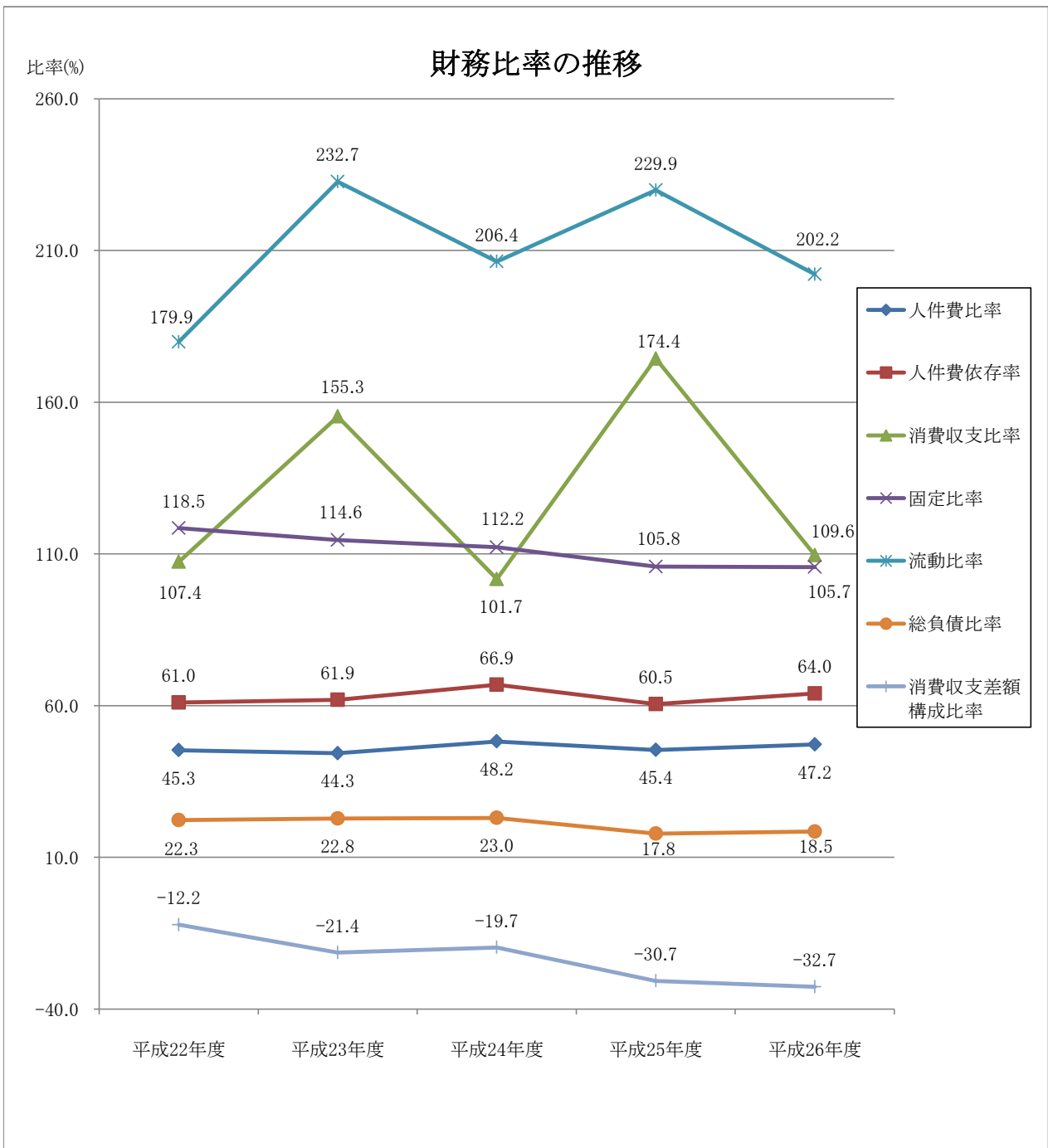
【注】1. ()内の数字は「今日の私学財政(大学・短期大学編)」「日本私立学校振興・共済事業団編」に記載されている医歯系法人を除く大学法人の平均値を示す。

2. 総資金＝負債＋基本金＋消費収支差額 自己資金＝基本金＋消費収支差額

3. ↑:高い値がよい。↓:低い値がよい。～:どちらともいえない。

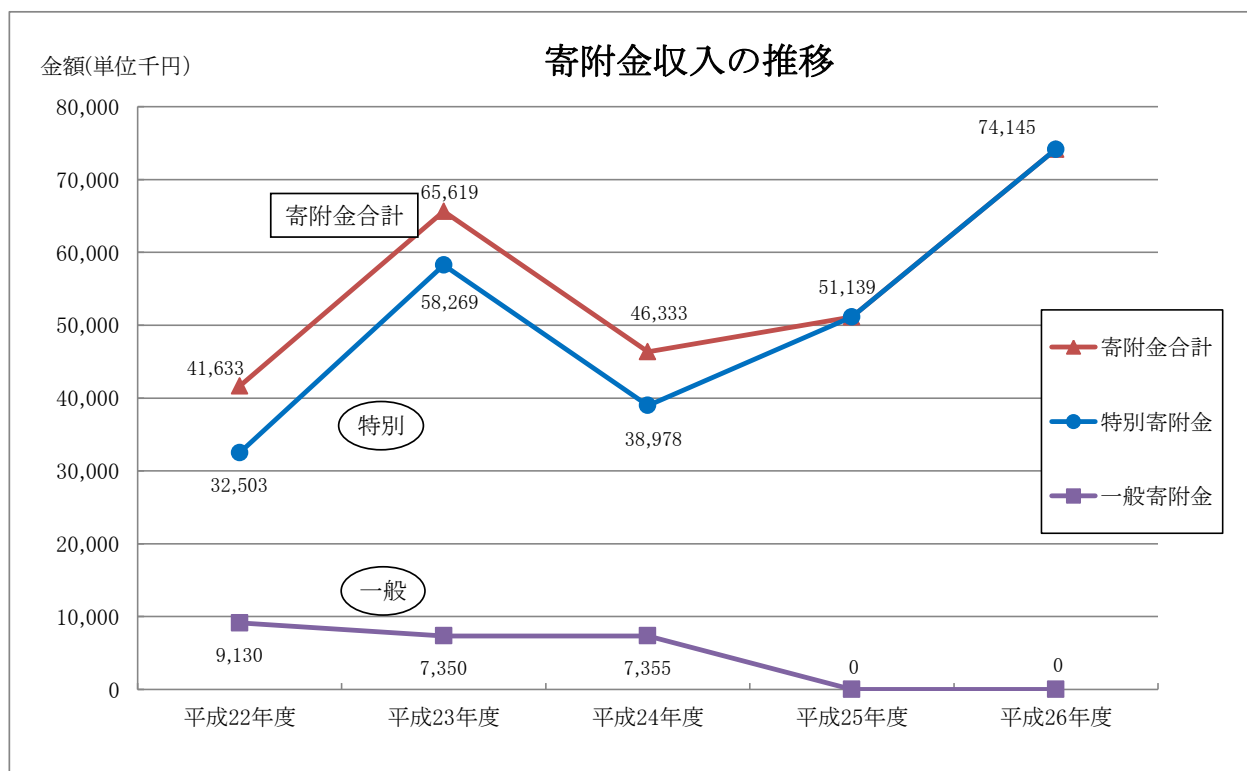
● 財務比率の推移

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
人件費比率	人件費/帰属収入	45.3	44.3	48.2	45.4	47.2
人件費依存率	人件費/学生生徒等納付金	61.0	61.9	66.9	60.5	64.0
消費収支比率	消費支出/消費収入	107.4	155.3	101.7	174.4	109.6
固定比率	固定資産/自己資金	118.5	114.6	112.2	105.8	105.7
流動比率	流動資産/流動負債	179.9	232.7	206.4	229.9	202.2
総負債比率	総負債/総資産	22.3	22.8	23.0	17.8	18.5
消費収支差額構成比率	消費収支差額/総資金	-12.2	-21.4	-19.7	-30.7	-32.7



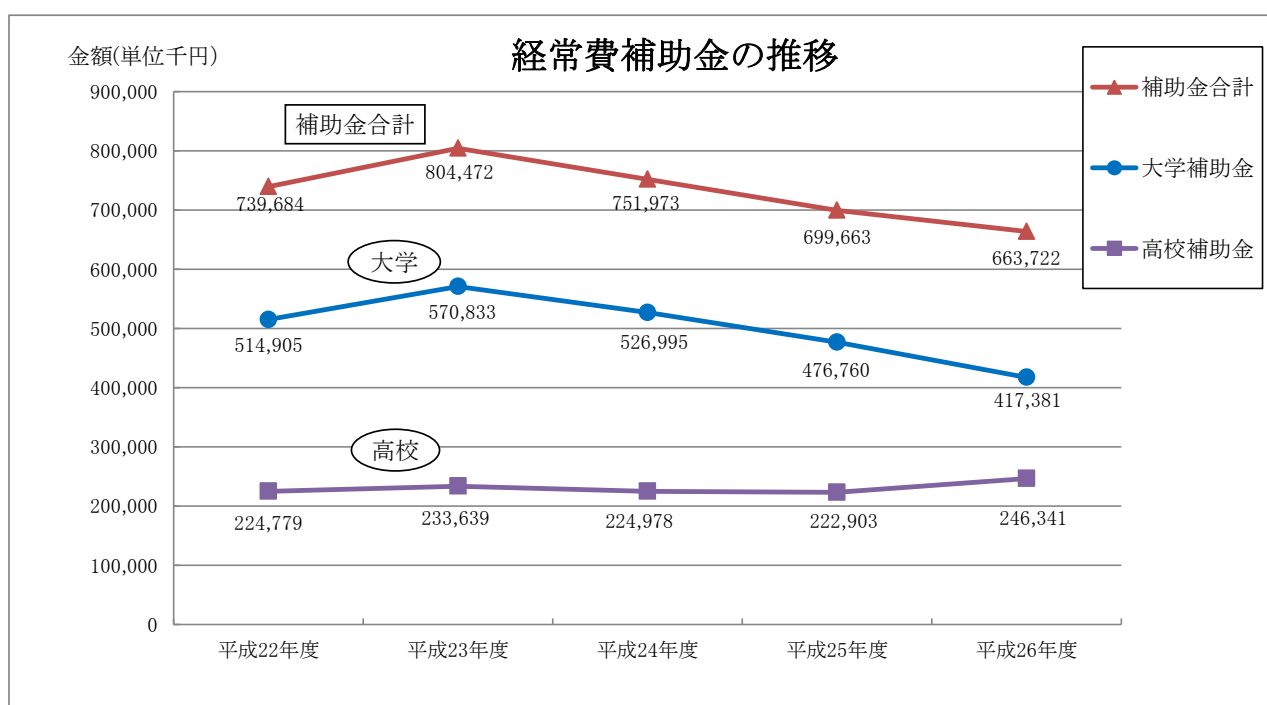
3. 寄附金収入の推移

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
一般寄附金	9,130,000	7,350,000	7,355,000	0	0
特別寄附金	32,502,955	58,269,310	38,977,662	51,138,600	74,145,323
寄附金合計	41,632,955	65,619,310	46,332,662	51,138,600	74,145,323

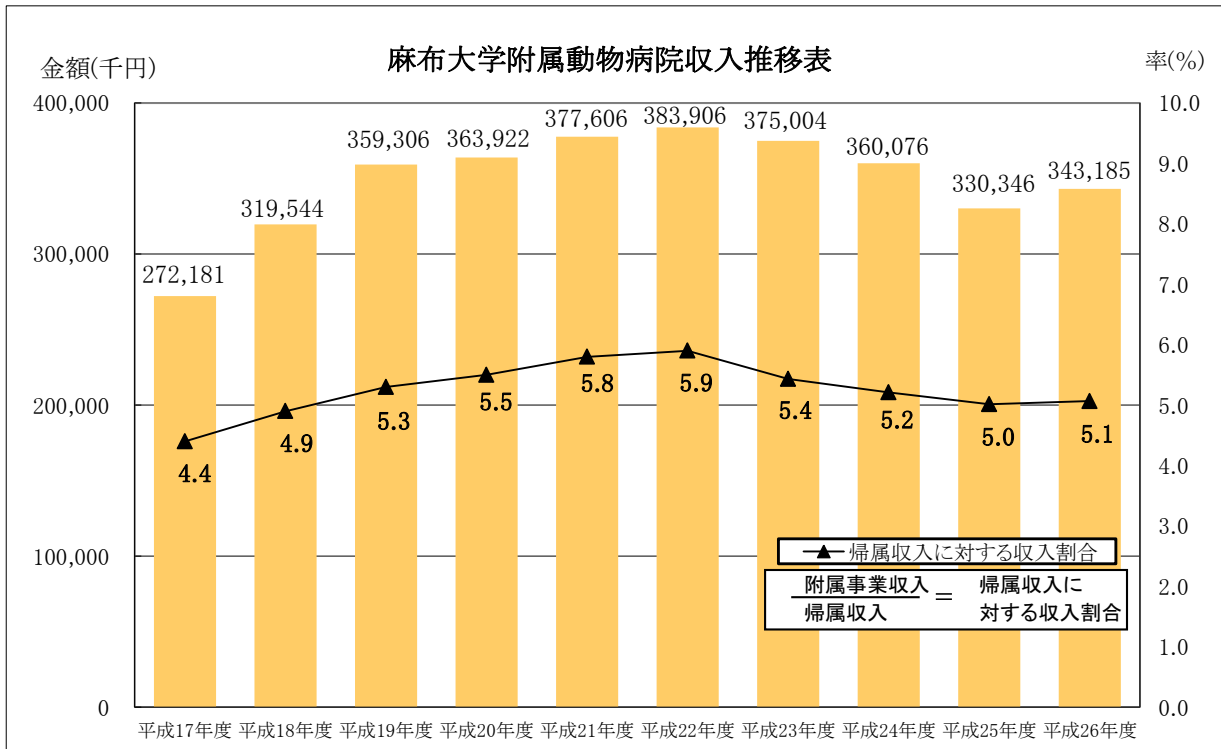


4. 経常費補助金の推移

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
大学補助金	514,905,000	570,833,000	526,995,000	476,760,000	417,381,000
高校補助金	224,779,000	233,639,000	224,978,000	222,903,000	246,341,000
補助金合計	739,684,000	804,472,000	751,973,000	699,663,000	663,722,000



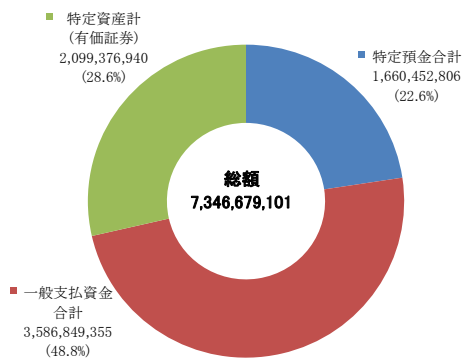
5. 動物病院収入の推移



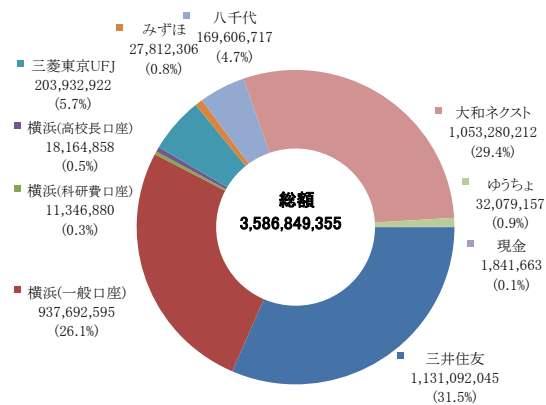
* 動物病院は、平成19年4月に獣医学部附属から麻布大学附属動物病院に組織及び名称変更

6. 資金残高

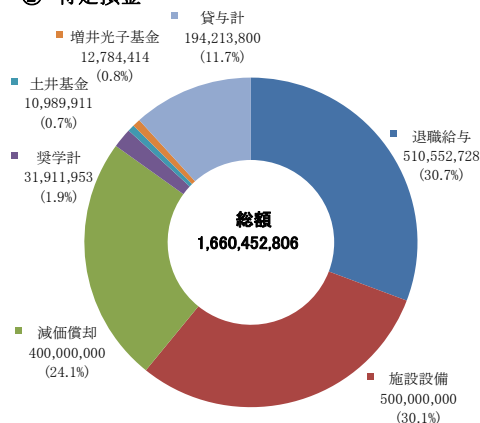
平成26年度末 資金残高表 (単位 円)



① 一般支払資金明細



② 特定預金



③ 有価証券(商品別割合)

